

安全にお使いいただくために.....

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。
ほこりがたまり、火災の原因となります。

 警 告



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

⚠ 注 意



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。
落下してけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因になることがあります。

目次

重要安全情報

安全にお使いいただくために

目次

ご使用前に	1
製品構成	2
各部の名称とはたらき	3
表示器のみかた	5
設定、集計、登録/ 確認カードについて	8
MX-100の概要	12
MX-100でできること	12
設定のながれ	13
解説	14
1日の時間数計算	14
社員モードの時間帯	21
パートモードの時間帯	28
共通設定カード①、②での設定... ..	32
締日1の変更	32
締日2の変更	34
印字段切換モード/ 印字段切換時刻の変更	36
計算モードの変更	37
曜日印字モードの変更	38
徹夜退勤の検知の変更	39
時計表示モードの変更	40
出勤人数のカウント設定の変更... ..	41
ブザーの変更	42
パスワードの設定	43
共通設定カード③、 時計設定カードでの設定	45
1日の時間数印字の設定	45
累計時間数印字の設定	47
早出時間の計算の設定	48
バックライト消灯時刻の設定	49
設定内容の印字のしかた	50
設定の初期化のしかた	51
初期値（工場出荷設定値）	52
個人実績データの消去のしかた... ..	53
全データの消去のしかた	54
時分（時計）のあわせかた	56
日付のあわせかた	57
サマータイムの設定	58

時間計算設定カード①、

②での設定

まるめ方式/まるめ単位時間の設定 ..	60
始業時刻・終業時刻の変更	62
深夜残業帯/B帯、 C帯開始時刻の設定	64
休憩1開始時間/終了時間の設定	66
休憩2～5開始時間/ 終了時間の設定	67

設定内容エラー

日常の操作

日常のお手入れ	73
出勤・退勤の操作（計算モードの場合） ..	74
出勤・退勤の操作 （打刻のみモードの場合）	75
徹夜勤務時の操作（退勤打刻時）	76
「特別日」勤務時の操作（出勤時） ..	78

日々の便利機能

日ごとの集計印字	79
時刻が改ざんされた場合の印字 ..	80
社員総残業時間・パート総労働 時間の表示（表示のみ）	81

毎月の操作

締日2のカード登録のしかた	83
締日2のカード削除のしかた	84
締日2のカード参照のしかた	85
前月集計印字のしかた	86
当月集計印字のしかた	89

集計カードを紛失した場合

こんな使い方もできます

打刻のみモードの設定のしかた ..	94
-------------------	----

こんなときには

エラー表示と対処のしかた	96
--------------------	----

印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)

設置のしかた

設置場所のご注意	102
設置のしかた	102
壁掛けのしかた	103
電源について	106
使用するカード	108

付録

MX-100 設定シート	110
マーク印字一覧	113
設定内容の印字	114
用語集	115

仕様

保証とアフターサービス	117
-------------------	-----

ご使用前に

本機「ご注意」「製品構成」「各部の名称とはたらき」について説明します。

このたびは、電子タイムレコーダー MX-100をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。MX-100を安全に正しくご使用いただくために、本書を必ずお読みください。

取扱説明書は大切に保管してください。

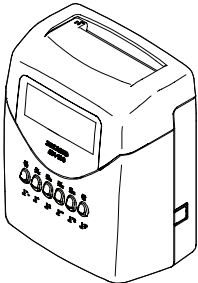



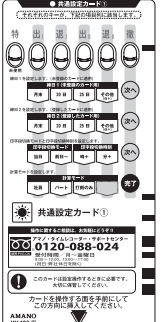
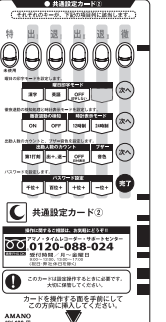
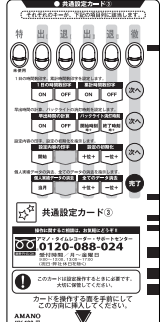
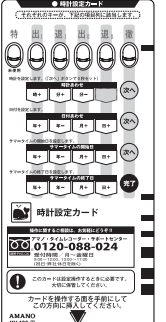
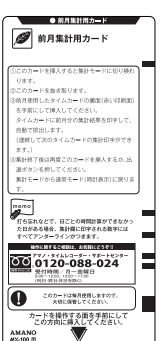
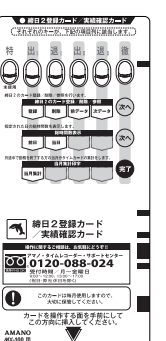
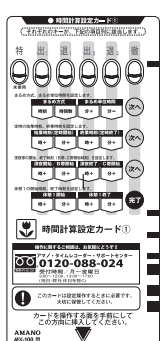
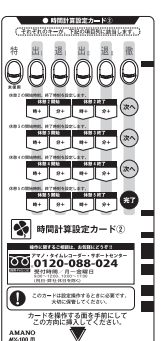
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡ください。

ご注意

- MX-100は設置環境が悪いと正常に使えなくなることがあります。屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。
- アフターサービス
各種お問合せは、弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでお電話ください。出張して作業を行う場合は原則として当社規定の「作業料金」「交通費」などをご請求申し上げます。

製品構成

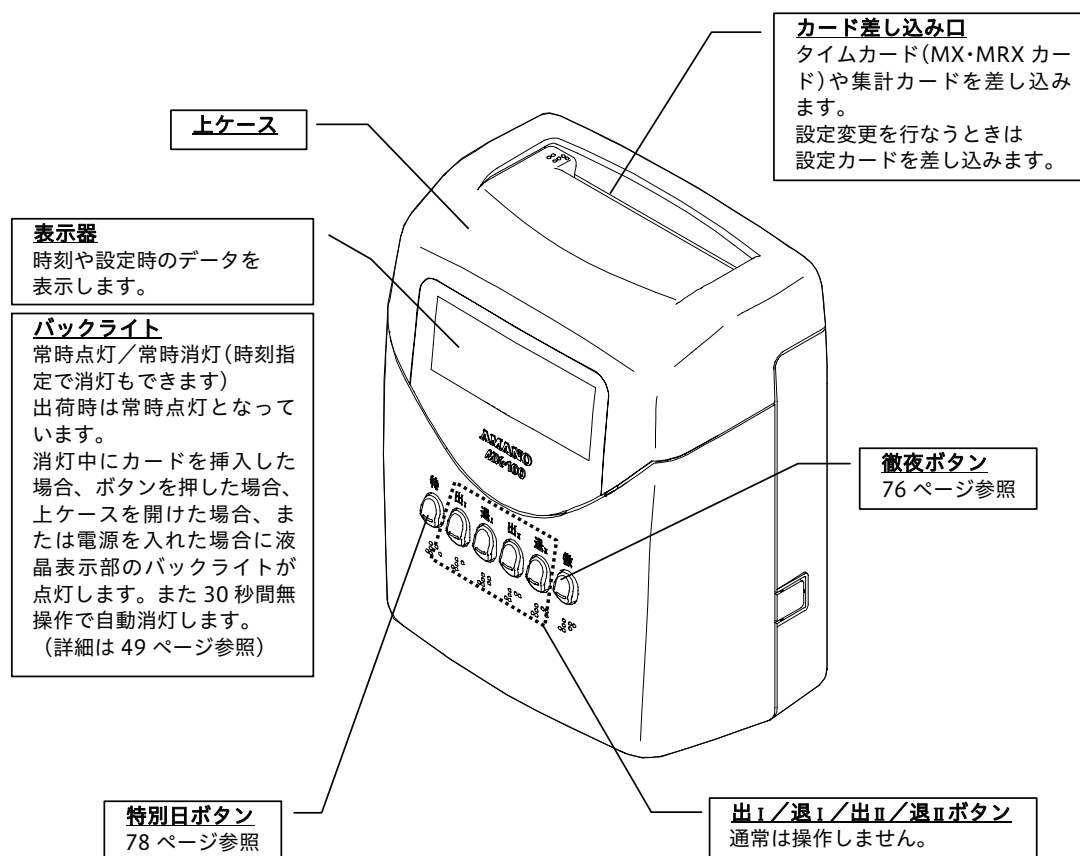
本機の構成品は次のとおりです。本機を開梱しましたら、ご使用前にすべての構成品があることを確認してください。

<p>MX-100 本体・・・1 台</p> 	<p>製品保証書 (お客様登録用紙) 3 枚綴り・・・1 部</p> 	<p>取扱説明書 (本書) ・・・1 冊</p> 	<p>サポートセンター 案内シール・・・1 枚</p> 
<p>設定カード・・・4 枚 (セット)</p>			
<p>共通設定カード①・共通設定カード②・・・1 枚</p>		<p>共通設定カード③・時計設定カード・・・1 枚</p>	
			
<p>おもて面</p>	<p>うら面</p>	<p>おもて面</p>	<p>うら面</p>
<p>前月集計用カード・締日 2 登録/実績確認カード ・・・1 枚</p>		<p>時間計算設定カード①・時間計算設定カード② ・・・1 枚</p>	
			
<p>おもて面</p>	<p>うら面</p>	<p>おもて面</p>	<p>うら面</p>

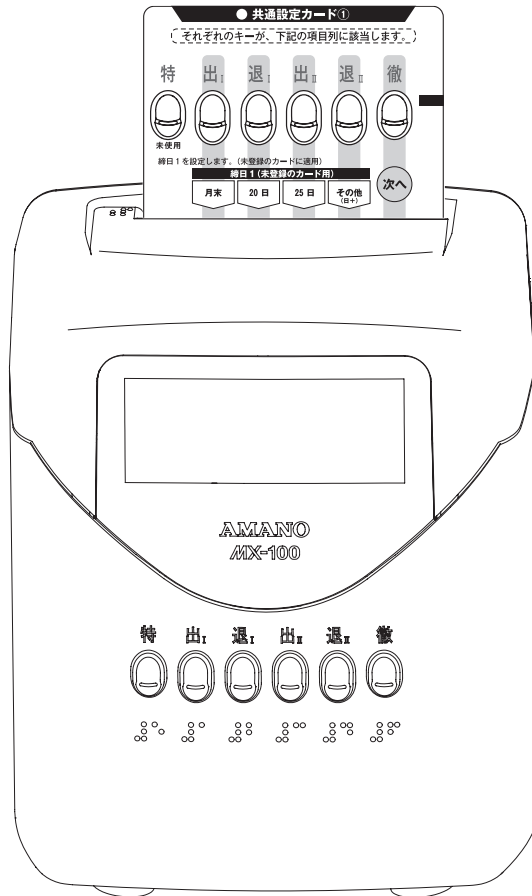
各部の名称とはたらき

本機の各部の「名称」と「はたらき」について説明します。

前面部



ボタンの機能



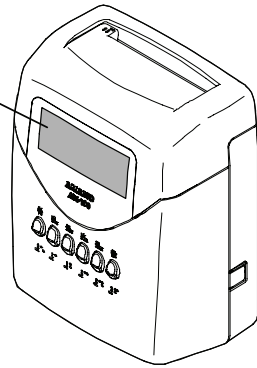
設定カード・集計カードの見出しの各設定項目と本機の特(特)出Ⅰ(出Ⅰ)退Ⅰ(退Ⅰ)出Ⅱ(出Ⅱ)退Ⅱ(退Ⅱ)徹(徹)ボタンは対応しています。本書では設定操作中のボタン名称は、各種設定カードの見出しに印刷された項目の名称で説明します。

「共通設定カード①」の“締日1”設定を例に説明します。(32 ページ参照)

押すボタン	本書の記述	機能
(特)ボタン	(使用しません)	(設定カードでは使用しません)
(出Ⅰ)ボタン	[月末] (出Ⅰ)ボタン	ボタンを押すと、月末締めを設定されます。
(退Ⅰ)ボタン	[20日] (退Ⅰ)ボタン	ボタンを押すと、20日締めを設定されます。
(出Ⅱ)ボタン	[25日] (出Ⅱ)ボタン	ボタンを押すと、25日締めを設定されます。
(退Ⅱ)ボタン	[その他] (退Ⅱ)ボタン	ボタンを押す毎に1~31を繰り返し表示します。
(徹)ボタン	[次へ] (徹)ボタン	入力値を確定し、次の設定項目に移動させます。

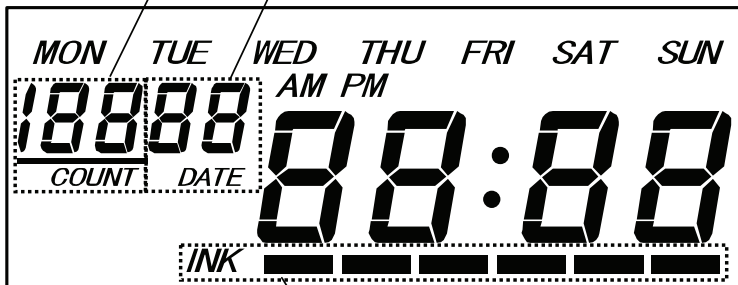
表示器のみかた

ここに表示されます。



出勤人数を表示します。(0~150)
(41 ページ参照)

出勤人数表示の場合に現在の日付を
表示します。(1~31)



リボンカセットのインク残量を表示します。

INK	████████████████████	← 0%~19%消費
INK	██████████████████	← 20%~39%
INK	████████████████	← 40%~59%
INK	██████████████	← 60%~79%
INK	██████████	← 80%~89%
INK	██████	← 90%~99%
INK	(ブリンク(点滅)します)	インク残量なし

※打刻のみモードでご使用の場合、24,000 打刻が交換の目安となります。

■通常時の表示

通常時は、日付・時刻（12 時間または 24 時間表示、時：分）および計算モードを表示します。



日付表示の場合の待機画面

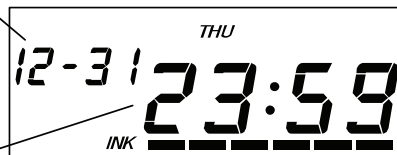


出勤人数表示で 19 人の場合の待機画面

■社員モード タイムカード(MX・MRX カード)打刻中の表示

月日表示
現在の月日を表示します。

時刻表示
現在の時刻を表示します。



■パートモード タイムカード(MX・MRX カード)打刻中の表示

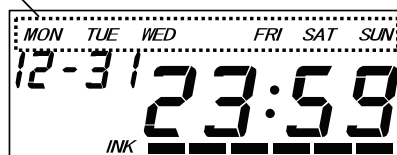
日付表示
現在の日付を表示します。

パートモードの場合
PA と表示されます。



■打刻のみモード タイムカード(MX・MRX カード)打刻中の表示

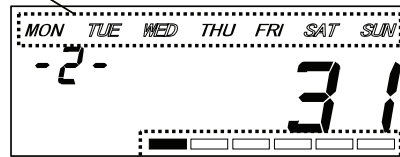
計算モード表示
打刻のみモードの場合は現在の曜日以外が点灯します。



■設定カード、登録・確認／前月集計カード使用時の表示

〈共通設定カード 1、締日 2 の場合〉

項目の種類を表示します



カードの種類を表示します

■上ケースを開けた時の表示

(→99 ページ)

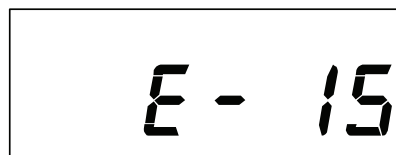
《Open の表示が点滅》



■エラー発生時の表示

(エラーコード→96 ページ)

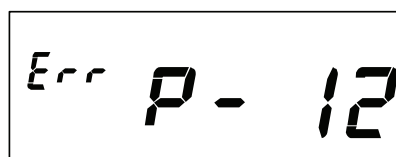
《E-15 エラーの場合》



■設定内容に矛盾がある場合 (パラメータエラー) の表示

(エラーコード→98 ページ)

《P-12 エラーの場合》



設定、集計、登録／確認カードについて

「共通設定カード①、②」「共通設定カード③、時計設定カード」「時間計算設定カード①、②」「前月集計用カード、締日2登録／実績確認カード」を使用すると、以下の処理を行うことができます。

■「共通設定カード①、②」■

共通設定カード①（おもて面）

● 共通設定カード①

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特	出 _I	退 _I	出 _{II}	退 _{II}	徹
未使用					

締日1を設定します。(未登録のカードに適用)

締日1 (未登録のカード用)			
月末	20日	25日	その他 (日+)

次へ

締日2を設定します。(登録したカードに適用)

締日2 (登録したカード用)			
月末	20日	25日	その他 (日+)

次へ

印字段切換モードと印字段切換時刻を設定します。

印字段切換モード		印字段切換時刻	
当日	前日～	時+	分+

次へ

計算モードを設定します。

計算モード		
社員	パート	打刻のみ

完了

共通設定カード①

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

! このカードは設定操作するときが必要です。大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

共通設定カード②（うら面）

● 共通設定カード②

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特	出 _I	退 _I	出 _{II}	退 _{II}	徹
未使用					

曜日の印字モードを設定します。

曜日印字モード		
漢字	英語	OFF 印字しない

次へ

徹夜退勤の検知処理と時計表示モードを設定します。

徹夜退勤の検知		時計表示モード	
ON	OFF	12時制	24時制

次へ

出勤人数のカウントと、ブザー音色を設定します。

出勤人数のカウント		ブザー	
第1打刻	出+, 退-	OFF 日付表示	音色

次へ

パスワードを設定します。

パスワード設定			
千位+	百位+	十位+	一位+

完了

共通設定カード②

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

! このカードは設定操作するときが必要です。大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

設定・変更できる項目は

- 「共通設定カード①」 ①締日1 ②締日2 ③印字段切換モード ④印字段切換時刻
 ⑤計算モード
- 「共通設定カード②」 ①曜日印字モード ②徹夜退勤の検知 ③時計表示モード
 ④出勤人数のカウント ⑤ブザー ⑥パスワード設定

■「共通設定カード③、時計設定カード」■

共通設定カード③（おもて面）

● 共通設定カード③

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特 出_I 退_I 出_{II} 退_{II} 徹

未使用

1日の時間数印字、累計時間数印字を設定します。

1日の時間数印字		累計時間数印字		次へ
ON	OFF	ON	OFF	

早出時間の計算、バックライトの消灯時刻を設定します。

早出時間の計算		バックライト消灯時刻		次へ
ON	OFF	開始時刻 時+	終了時刻 時+	

設定内容の印字、設定の初期化を指示します。

設定内容の印字		設定の初期化		次へ
開始		十位+	一位+	

個人実績データの消去、全てのデータの消去を指示します。

個人実績データの消去		全てのデータ消去		完了
当月		十位+	一位+	

☆☆ 共通設定カード③

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

このカードは設定操作するときが必要です。
大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にして
この方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

時計設定カード（うら面）

● 時計設定カード

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特 出_I 退_I 出_{II} 退_{II} 徹

未使用

時計を設定します。(「次へ」ボタンで0秒セット)

時計あわせ				次へ
時+	分+	分-		

日付を設定します。

日付あわせ				次へ
年+	年-	月+	日+	

サマータイムの開始日を設定します。

サマータイムの開始日				次へ
年+	年-	月+	日+	

サマータイムの終了日を設定します。

サマータイムの終了日				完了
年+	年-	月+	日+	

🍏 時計設定カード

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

このカードは設定操作するときが必要です。
大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にして
この方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

設定・変更できる項目は

- 「共通設定カード③」 ①1日の時間数印字 ②累計時間数印字 ③早出時間の計算
④バックライト消灯時刻 ⑤設定内容の印字 ⑥設定の初期化
⑦個人実績データの消去 ⑧全てのデータ消去
- 「時計設定カード」 ①時計あわせ ②日付あわせ ③サマータイムの開始日
④サマータイムの終了日

■「時間計算設定カード①、②」■

時間計算設定カード①（おもて面）

● 時間計算設定カード①

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特	出 _I	退 _I	出 _{II}	退 _{II}	徹
---	----------------	----------------	-----------------	-----------------	---

未使用

まるめ方式、まるめ単位時間を設定します。

まるめ方式		まるめ単位時間		次へ
時刻	時間数	分+	分-	

定時の始業時刻、終業時刻を設定します。

始業時刻(定時開始)		終業時刻(定時終了)		次へ
時+	分+	時+	分+	

深夜帯の開始、終了時刻（B帯、C帯開始時刻）を設定します。

深夜開始/B帯開始		深夜終了/C帯開始		次へ
時+	分+	時+	分+	

休憩1の開始時刻、終了時刻を設定します。

休憩1開始		休憩1終了		完了
時+	分+	時+	分+	

AMANO MX-100 用

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

このカードは設定操作するときが必要です。大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

時間計算設定カード②（うら面）

● 時間計算設定カード②

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特	出 _I	退 _I	出 _{II}	退 _{II}	徹
---	----------------	----------------	-----------------	-----------------	---

未使用

休憩2の開始時刻、終了時刻を設定します。

休憩2開始		休憩2終了		次へ
時+	分+	時+	分+	

休憩3の開始時刻、終了時刻を設定します。

休憩3開始		休憩3終了		次へ
時+	分+	時+	分+	

休憩4の開始時刻、終了時刻を設定します。

休憩4開始		休憩4終了		次へ
時+	分+	時+	分+	

休憩5の開始時刻、終了時刻を設定します。

休憩5開始		休憩5終了		完了
時+	分+	時+	分+	

AMANO MX-100 用

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024
受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

このカードは設定操作するときが必要です。大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

設定・変更できる項目は

- 「時間計算設定カード①」 ①まるめ方式 ②まるめ単位時間 ③始業時刻 ④終業時刻
⑤深夜開始/B帯開始 ⑥深夜終了/C帯開始 ⑦休憩1開始
⑧休憩1終了
- 「時間計算設定カード②」 ①休憩2開始 ②休憩2終了 ③休憩3開始 ④休憩3終了
⑤休憩4開始 ⑥休憩4終了 ⑦休憩5開始 ⑧休憩5終了

■「前月集計用カード、締日2登録/実績確認カード」■

前月集計用カード（おもて面）

● 前月集計用カード

前月集計用カード

①このカードを挿入すると集計モードに切り換わります。

②このカードを抜き取ります。

③前月使用したタイムカードの裏面(赤い印刷面)を手前にして挿入してください。
タイムカードに前月分の集計結果を印字して、自動で排出します。
(連続して次のタイムカードの集計印字ができます。)

④集計終了後は再度このカードを挿入するか、出退ボタンを押してください。
集計モードから通常モード(時計表示)に戻ります。

memo

打ち忘れなどで、日ごとの時間計算ができなかった日がある場合、集計欄に印字される数字にはすべてアンダーラインが付きまます。

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024

受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

! このカードは毎月使用しますので、大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

締日2登録/実績確認カード（うら面）

● 締日2登録カード/実績確認カード

それぞれのキーが下記の項目列に該当します。

特

出_I

退_I

出_{II}

退_{II}

徹

未使用

締日2のカード登録 / 削除 / 参照を行います。

次へ

登録

削除

前データ

次データ

次へ

指定された日の総時間数を表示します。

前日

当日

次へ

月中で勤務を終了する方の当月分タイムカードの集計をします。

当月集計

当月集計印字

完了

締日2登録カード / 実績確認カード

操作に関するご相談は、お気軽にどうぞ!!

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
0120-088-024

受付時間 / 月～金曜日
9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・弊社休日を除く)

! このカードは毎月使用しますので、大切に保管してください。

カードを操作する面を手前にしてこの方向に挿入してください。

AMANO
MX-100 用

設定・変更できる項目は

「前月集計用カード」

①前月集計

「締日2登録/実績確認カード」

①締日2のカード登録/削除/参照 ②総時間数表示

③当月集計印字

11

MX-100の概要

MX-100でできること

専用のタイムカード(MX・MRX カード)で、打刻記録印字専用と時間数集計機能印字ができます。

1. タイムカードはMX・MRX カードを使用します。(108 ページを参照)
専用カード以外のご使用いただけません。(エラーとなります)
2. 計算の方法は3つから1つを選択することができます。(37 ページを参照)
何れの計算モードも使用するタイムカードはMX・MRX カードになります。

通常打刻

- ①計算モード(社員)：2 打刻(出Ⅰ、退Ⅰ) / 日で時間数計算をします。(14 ページを参照)
- ②計算モード(パート)：2 打刻(出Ⅰ、退Ⅰ) / 日で時間数計算をします。(14 ページを参照)
- ③打刻のみモード(非計算)^{*}：4 打刻印字(出Ⅰ、退Ⅰ、出Ⅱ、退Ⅱ) / 日(15 ページを参照)
※出荷時は「打刻のみモード」の設定になっています。

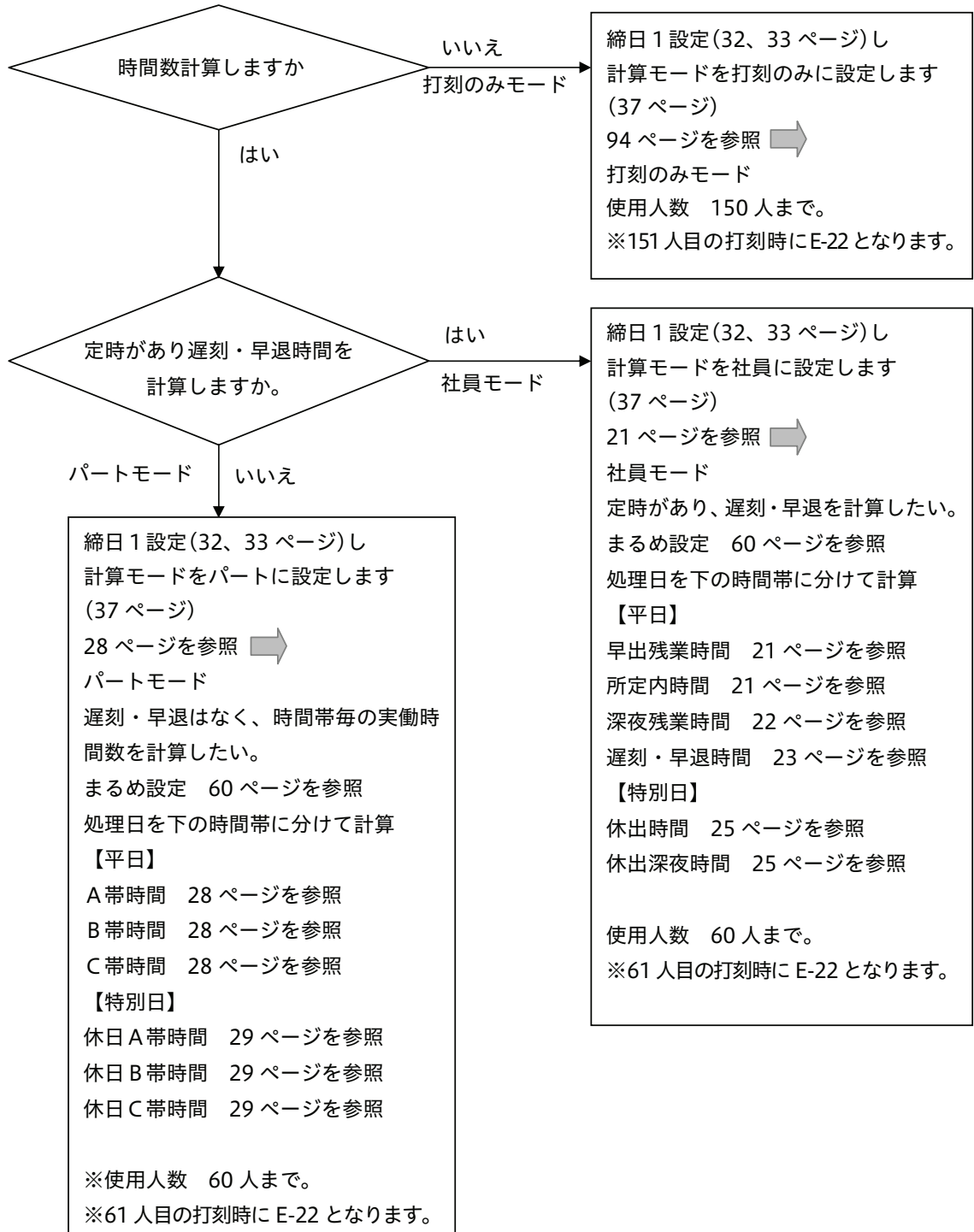
3 つの計算モードでの設定内容とタイムカード(MX・MRX カード)への印字については、下表を参照してください。

設定変更			タイムカード(MX・MRX カード)の印字内容				使用人数
計算モード	日次集計	累積集計	第 1 欄	第 2 欄	第 3 欄	第 4 欄	上限
① 社員	ON	ON	打刻印字	打刻印字	集計印字	累積集計印字	60
② パート	ON	OFF	打刻印字	打刻印字	集計印字	無し	
	OFF	ON	打刻印字	打刻印字	無し	累積集計印字	
	OFF	OFF	打刻印字	打刻印字	無し	無し	
③ 打刻のみ	(無効)	(無効)	打刻印字	打刻印字	打刻印字	打刻印字	150

3. 1 日の時間集計(45 ページを参照)
退勤打刻で第 3 欄の印字を、計算モードが①社員では 1 日の残業時間数、②パートでは 1 日の実働時間数印字「する / しない」を設定選択できます。
4. 累計時間計算機能(47 ページを参照)
退勤打刻で第 4 欄は、累計残業時間(社員) / 累計実働時間(パート)の印字をする / しないの選択ができます。
5. 2 種類の締日に対応できます。(83 ページを参照)
「締日 2」を使う場合はカードの登録が必要です。計算モード①社員②パートでご使用になる場合は、最大 60 枚、③打刻のみモードでご使用になる場合は最大 75 枚までの登録ができます。※登録人数を超えると E-22 となります。
6. 出勤人数を表示する機能(41 ページを参照)
通常待機状態で、液晶表示器に出勤人数または日付表示を設定することができます。
7. 徹夜退勤の自動検知機能(39 ページを参照)
①社員②パート③打刻のみで出勤Ⅰ、または③打刻のみで出勤Ⅱの打刻後に徹夜ボタンを押さずに印字段切換時刻をまたいだ場合、エラーとして警告(一旦タイムカード(MX・MRX カード)排出^{*})する機能の設定ができます。(※印字段切換時刻は 0:00~23:59 の範囲で設定ができます)

設定のながれ

本機で以下の設定を行なうには、付属の設定カード(MX-100 専用、8～11 ページ参照)が必要となります。



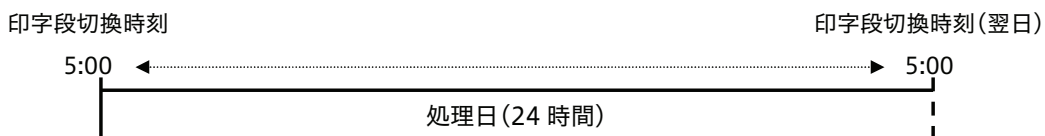
1 日の時間数計算

時間数計算の基本

本機は 1 日 2 打刻の時間数計算を行います。本機の 1 日の判断は印字段切替時刻(設定項目で On Time を含む)～翌日の印字段切替時刻直前までの 24 時間の範囲で計算します。

これを処理日といい、出勤 I・退勤 I・出勤 II・退勤 II の各打刻はタイムカード(MX・MRX カード)上の同じ印字段(1 行)に印字します。

計算モードは社員モードとパートモードと打刻のみモードの選択となります。1 台のタイムレコーダーで 2 種類の計算モードを扱うことは出来ないの、ご注意ください。(計算モードについては下記を参照)



計算モード

社員モード・パートモード・打刻のみモードの 3 種類のうち何れか 1 つを選択して運用します。

■-1 社員モード(2 打刻/日)

出勤 I・退勤 I の 2 打刻から時間数計算を行い、1 日の残業時間数の印字及び月初め(締日翌日)からの累計時間数の 2 種類の印字が可能です。

タイムカード(MX・MRX カード)の打刻は、本体の出勤 I・退勤 I ボタンの指定なしで打刻できます。自動的に処理日の最初の打刻を出勤 I、2 番目の打刻を退勤 I とみなし、自動で移動して印字をします。

集計操作で、前月または当月の所定内と残業・深夜時間帯の時間数を集計してタイムカード(MX・MRX カード)の集計欄に印字します。(集計印字説明 79 ページを参照)

■-2 パートモード(2 打刻/日)

出勤 I ・退勤 I の 2 打刻から時間数計算を行い、1 日の実働時間数の印字及び月初め(締日翌日)からの累計時間数の 2 種類の印字が可能です。

タイムカード(MX・MRX カード)の打刻は、本体の出勤 I ・退勤 I ボタンの指定なしで打刻できます。自動的に処理日の最初の打刻を出勤 I、2 番目の打刻を退勤 I とみなし、自動で移動して印字をします。

集計操作で、前月または当月での時間帯別での実働時間数を集計してタイムカード(MX・MRX カード)の集計欄に印字します。(集計印字説明 79 ページを参照)

■-3 打刻のみモード(4 打刻/日)

出勤 I ・退勤 I ・出勤 II ・退勤 II の 4 打刻することが出来ます。このモードでは時間数の計算は行わずに打刻の日時のみを印字します。出勤 I ・退勤 I ・出勤 II ・退勤 II の指定をしないで打刻した場合は、処理日においてその日の最初、2 番目、3 番目、4 番目の打刻をそれぞれ、出勤 I ・退勤 I ・出勤 II ・退勤 II とみなし、自動で移動して印字します。

締日

本機では締日を 2 つ扱うことができます。

タイムカード(MX・MRX カード)の出退勤の印字において、1 ヶ月の給与計算期間の最終日を締日と呼びます。締日と現在日時から、タイムカード(MX・MRX カード)上の印字段(上下方向の位置)が決定されます。締日 1 と締日 2 の 2 種類を 1 ～ 31 の範囲の値で設定パラメータとして持ち、締日 2 を適用したいタイムカード(MX・MRX カード)については登録操作を行います。登録されていないタイムカード(MX・MRX カード)は、締日 1 が適用されます。締日 1 と締日 2 は、社員モード・パートモード・打刻のみモードの全てに共通です。

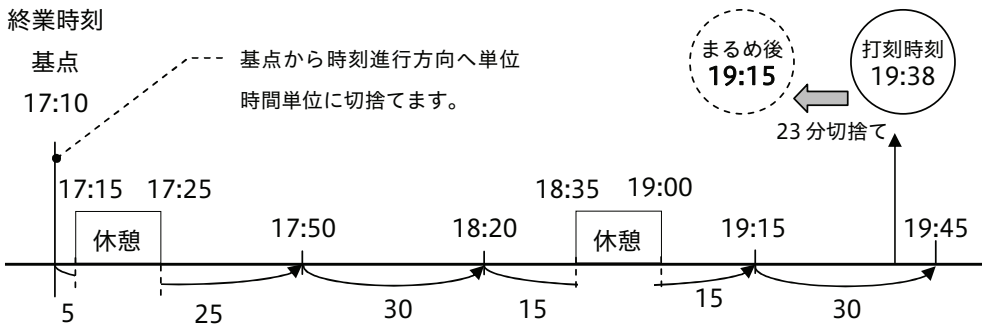
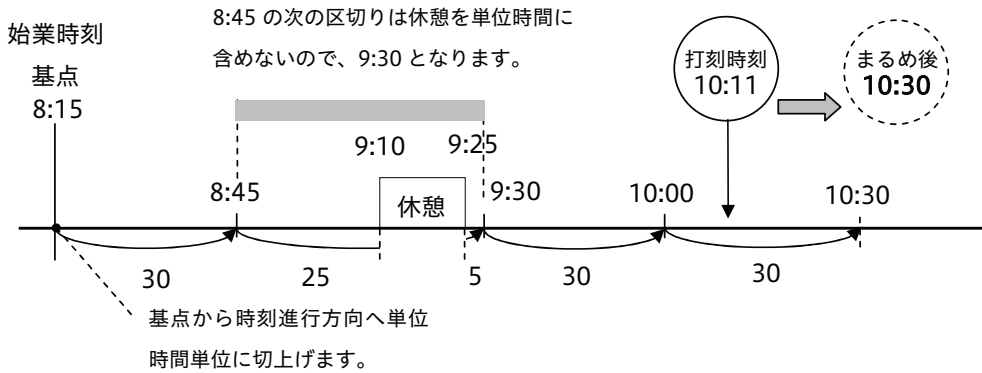
計算モード	締日 2 最大使用枚数(1 ヶ月)	備考
社員モード	60 枚	60 枚登録した場合は、全数が締日 2 となります。
パートモード	60 枚	60 枚登録した場合は、全数が締日 2 となります。
打刻のみモード	75 枚	残り 75 枚は締日 1 となります。

※上のカード登録は、1 ヶ月範囲での制限数となります。締日 2 カード登録時は当月/翌月の区別がありません。事前登録を含めた(2 ヶ月分)登録制限枚数は下表となります。

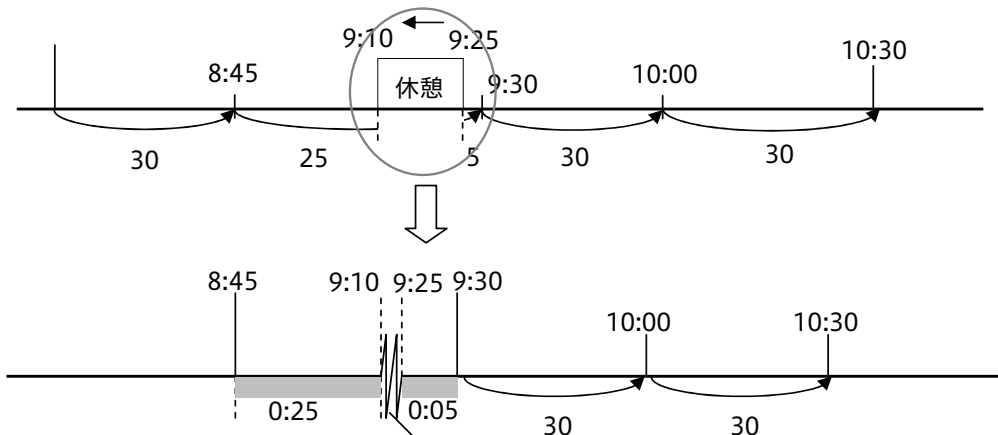
計算モード	締日 2 登録可能枚数	備考
社員モード	120 枚	翌月使用する 60 枚も締日 2 となります。
パートモード	120 枚	翌月使用する 60 枚も締日 2 となります。
打刻のみモード	150 枚	翌月使用する 75 枚も締日 2 となります。

時刻まるめ

基点から休憩時間を差し引いた時間数が、単位時間の倍数となるように打刻時刻をずらします。ずらす方向は、出勤では時刻が進むように、退勤では時刻が遡るように計算します。社員モードの平日での例(単位時間 30分)を以下に示します。



時刻まるめで休憩のある場合の考え方



※休憩時間 15分は単位時間に含まず残り
5分は休憩終了の9:25から5分の9:30
が区切りとなります。

時間数まるめ

出勤の実際の打刻時刻から退勤の実際の打刻時刻までの時間差について、休憩時間を差し引いた後、各時間帯毎にそれぞれの実績時間数がまるめ単位の倍数となるよう切り捨てる計算を行います。

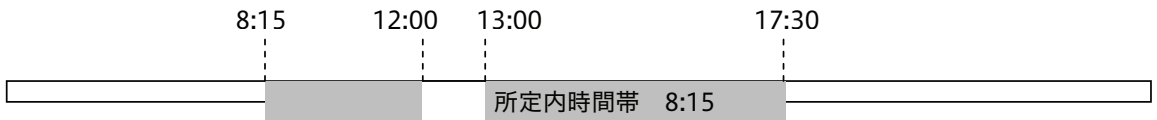
なお、打刻が無かった時間帯に関しても、その時間帯での実績時間数がまるめ単位の倍数となるよう、余りは必ず切り捨てます。但し、遅刻時間数と早退時間数については切り上げます。

徹夜退勤した場合は、各時間帯毎にまず出勤から印字段切換と印字段切換から退勤の時間数を合計し、次にそれがまるめ単位の倍数となるよう切り捨てたものを、その時間帯の実績時間数とします。

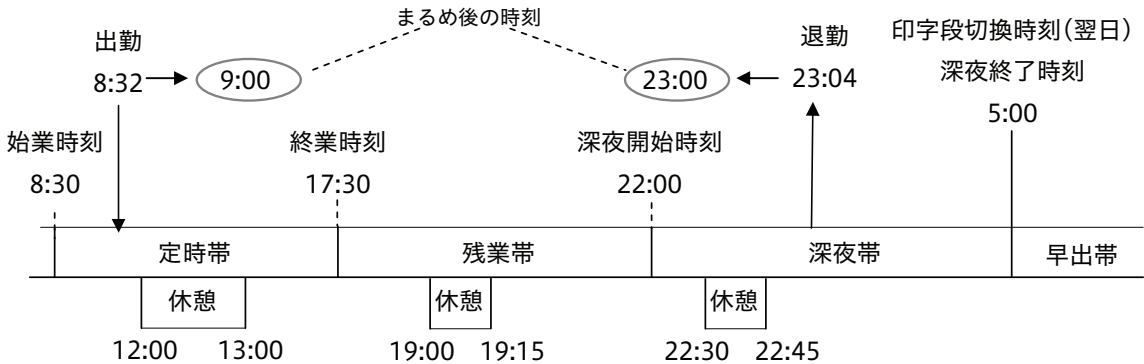
注意！

計算モード「社員モード」でお使い頂く場合、所定内時間数が時間数まるめ単位時間で割切れない場合(下の例を参照)設定した所定内時間数と異なる時間数結果となります。社員モードで時間数まるめを設定する場合には、単位時間は所定内時間数を割り切れる単位で設定してください。

時間数まるめ 単位時間 30 分で設定した場合、所定内時間数 8:15 は単位時間 30 分で端数処理されるので、所定内時間数は 8:00 となります。(0:15 少なくなります)



社員モードで時刻まるめと時間数まるめの違い



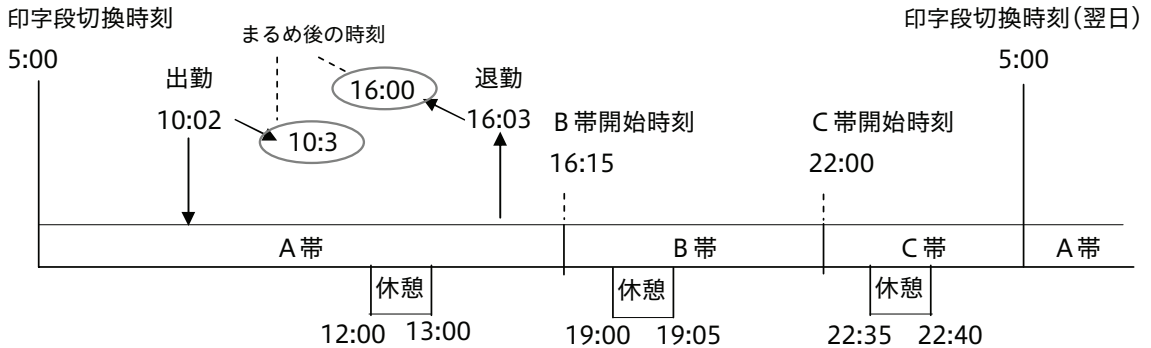
- ① 時刻まるめの場合：まるめ単位30分、出勤の基点は始業時刻、退勤の基点は終業時刻
 これにより、出勤打刻 8:32 は時刻まるめ処理で 9:00 となります。
 これにより、退勤打刻 23:04 は時刻まるめ処理で 23:00 となります。

遅刻時間数 : $9:00 - 8:30 = 0:30$
 所定内時間数 : $17:30 - 9:00 - (13:00 - 12:00) = 7:30$
 普通残業時間数 : $22:00 - 17:30 - (19:15 - 19:00) = 4:15$
 深夜残業時間数 : $23:00 - 22:00 - (22:45 - 22:30) = 0:45$
 [残業合計] : $4:15 + 0:45 = 5:00$

- ② 時間数まるめの場合：まるめ単位30分

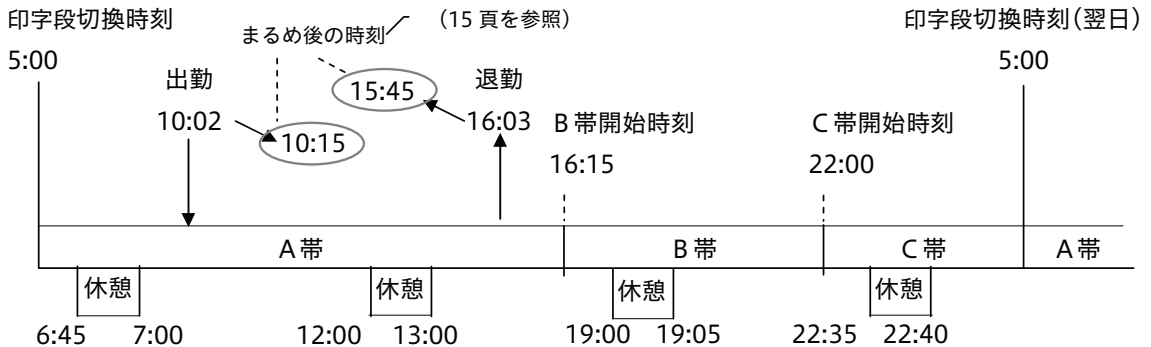
遅刻時間数 : $8:32 - 8:30 = 0:02$
 これにより、まるめ後時間数 = 0:30 (30分に切上)
 所定内時間数 : $17:30 - 8:32 - (13:00 - 12:00) = 7:58$
 これにより、まるめ後時間数 = 7:30 (28分が切捨て)
 普通残業時間数 : $22:00 - 17:30 - (19:15 - 19:00) = 4:15$
 これにより、まるめ後時間数 = 4:00 (15分が切捨て)
 深夜残業時間数 : $23:04 - 22:00 - (22:45 - 22:30) = 0:49$
 これにより、まるめ後時間数 = 0:30 (19分が切捨て)
 [残業合計] : $4:00 + 0:30 = 4:30$

パートモードで時刻まるめと時間数まるめの違い



- ① 時刻まるめの場合：まるめ単位 30 分、A 帯での基点は印字段切替時刻
 これにより、出勤打刻 10:02 は時刻まるめ処理で、10:30 となります。
 これにより、退勤打刻 16:03 は時刻まるめ処理で、16:00 となります。
 A 帯時間数 : $16:00 - 10:30 - (13:00 - 12:00) = 4:30$
- ② 時間数まるめの場合：まるめ単位 30 分
 A 帯時間数 : $16:03 - 10:02 - (13:00 - 12:00) = 5:01$
 これにより、まるめ後時間数 = 5:00

まるめ単位時間と異なる休憩がある場合

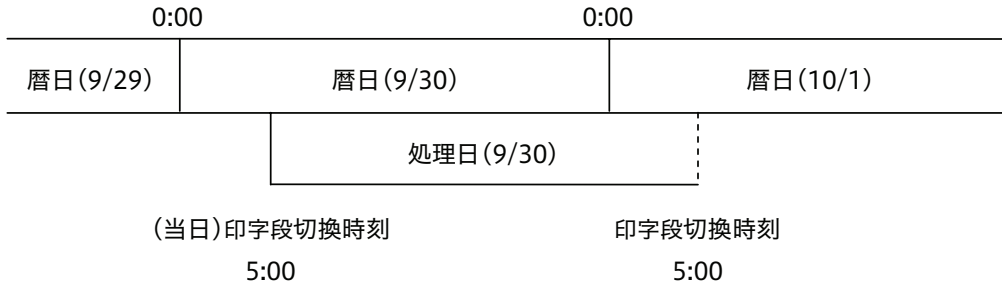


- ① 時刻まるめの場合：まるめ単位 30 分、A 帯での基点は印字段切替時刻(15 頁参照)
 これにより、出勤打刻 10:02 は時刻まるめ処理で、10:15 となります。
 これにより、退勤打刻 16:03 は時刻まるめ処理で、15:45 となります。
 A 帯時間数 : $15:45 - 10:15 - (13:00 - 12:00) = 4:30$
- ② 時間数まるめの場合：まるめ単位 30 分
 A 帯時間数 : $16:03 - 10:02 - (13:00 - 12:00) = 5:01$
 これにより、まるめ後時間数 = 5:00

印字段切換モード

(a) 印字段切換モード0

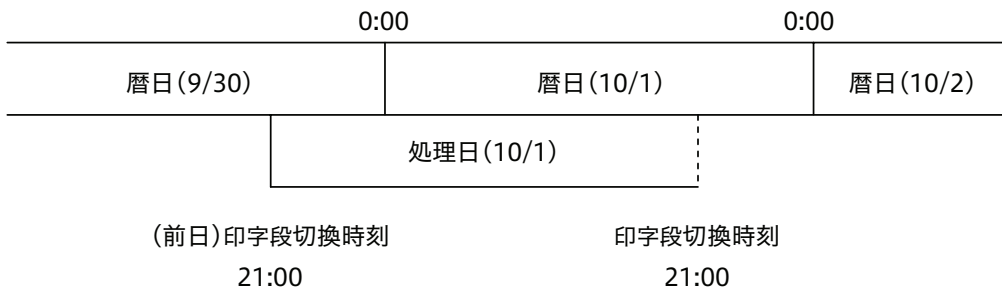
モード0は、当日の印字段切換時刻から処理日(当日)が始まるモードです。



(b) 印字段切換モード1

モード1は、前日の印字段切換時刻から処理日(当日)が始まるモードです。

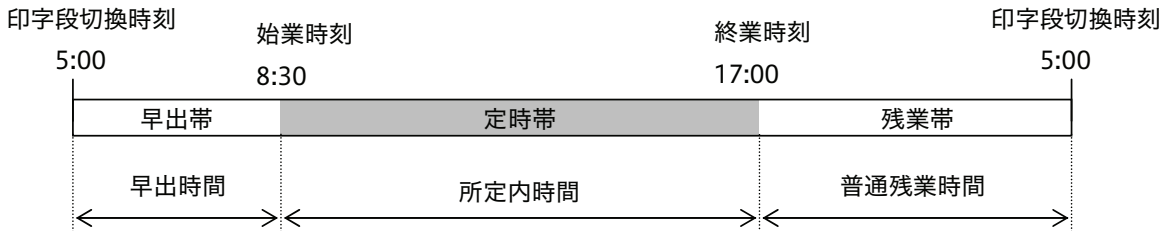
例えば下図では、締日の設定が月末となっている場合に、暦日 9/30 23:45 の打刻は来月分(10月分)として処理されます。



社員モードの時間帯

定時帯と早出帯・残業帯

始業時刻と終業時刻を設定すると、その時間帯を定時帯として扱い、始業時刻以降の出勤打刻は遅刻、終了時刻以前の退勤打刻は早退として計算します。但し特別日の場合は遅刻・早退カウントと時間数は扱いません。



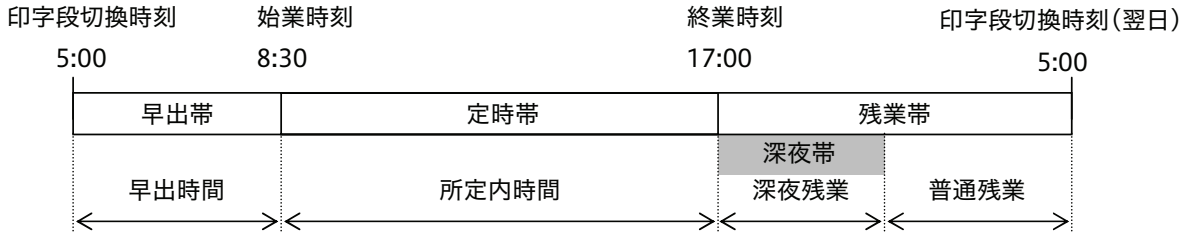
- ・ 印字段切換時刻～始業時刻の間は**早出帯**とします。
- ・ 終業時刻～印字段切換時刻(翌日)の間を**残業帯**とします。

早出帯については、早出計算ありと設定された場合のみ時間計算をします。但し、早出計算が無しと設定されていたとしても、徹夜の場合は、退勤打刻を含む2日目の早出帯のみ時間計算をします。

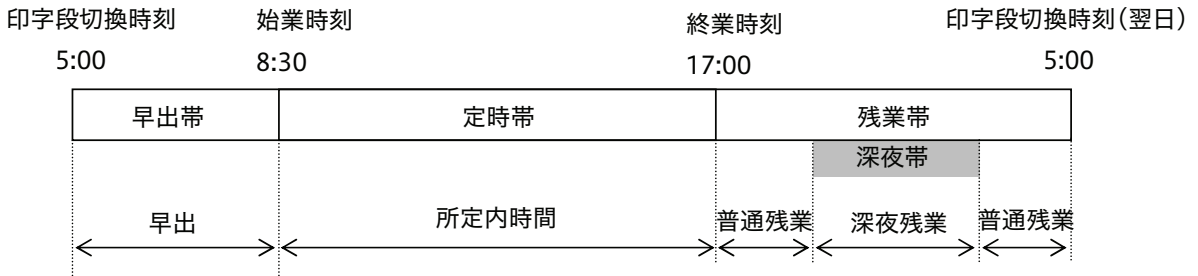
深夜帯

残業帯に、つまり終業時刻～印字段切換時刻(翌日)の間に、深夜帯を設定することができます。
これ以外の範囲には設定できません。

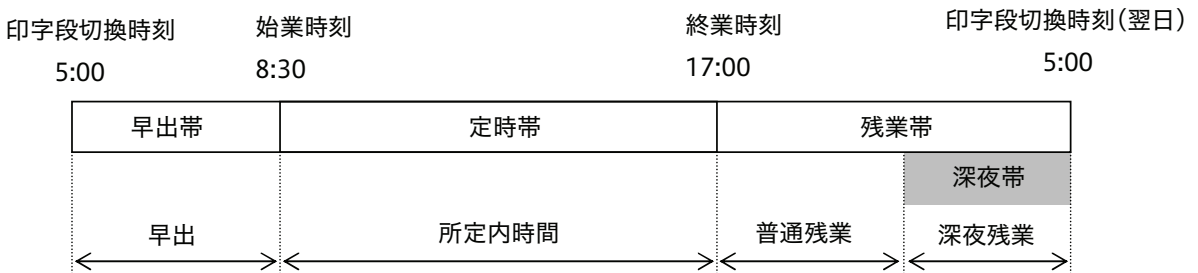
例 1



例 2

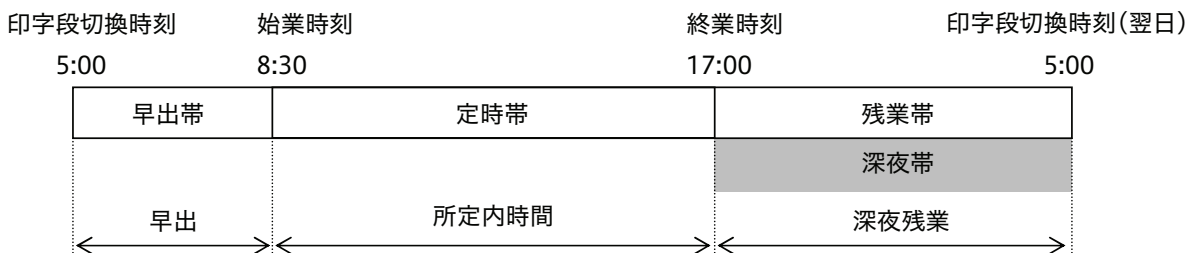


例 3



例 4

終業時刻から印字段切換時刻まで全てを深夜時間とした場合(残業時間帯 = 深夜時間帯)



遅刻と早退

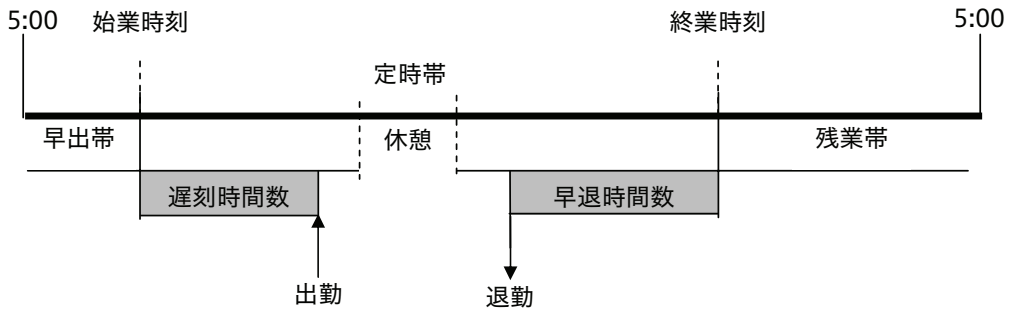
社員モードで平日の場合、遅刻と早退の計算した合計時間数と合計回数を集計します。

1ヶ月の集計時間数は遅刻と早退の合計時間数となります。

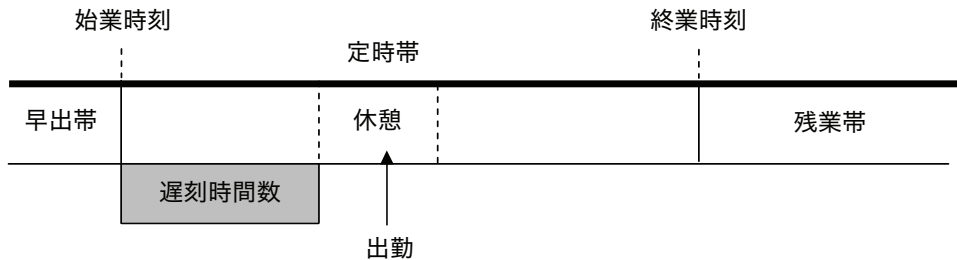
- ・ 始業時刻～出勤打刻までの時間を遅刻時間数とします。(始業時刻の出勤は除く)
- ・ 退勤打刻～終業時刻までの時間を早退時間数とします。(終業時刻の退勤は除く)
- ・ 休憩帯を含む場合、休憩時間は遅刻/早退時間数として計算しません。

印字段切替時刻

印字段切替時刻(翌日)

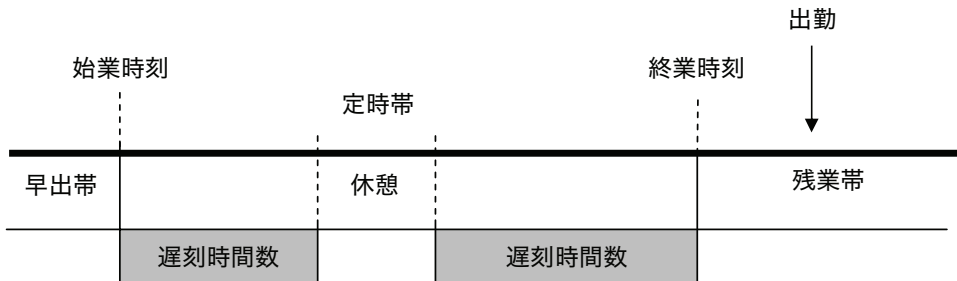


① 遅刻(例1) 休憩時間に出勤した場合

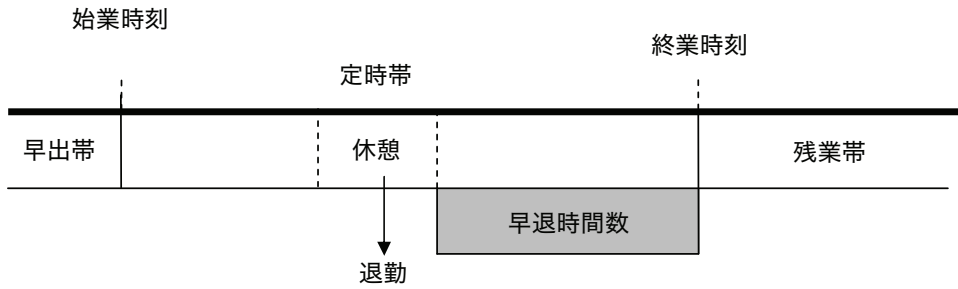


② 遅刻(例2) 終業時刻後に出勤した場合

※終業時刻以降の時間に関しては遅刻時間数として計算しません。



③ 早退（例1）休憩時間に退勤した場合



休憩終了から終業時刻までが早退時間となります。

④ 早退（例2）始業時間前に出勤・退勤した場合

※始業時刻以前の時間に関しては早退時間数として計算しません。

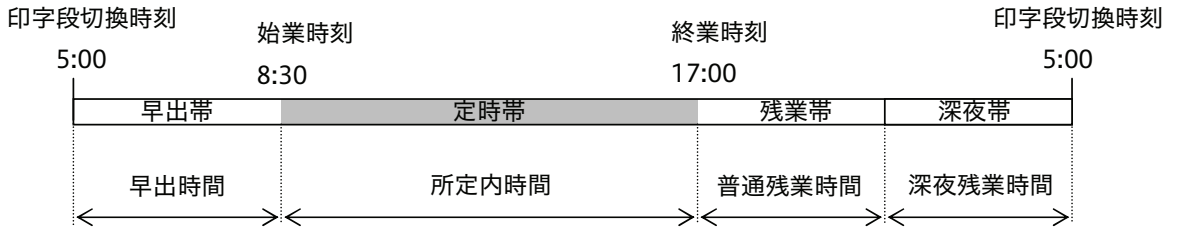


所定内時間全てが早退時間となります。

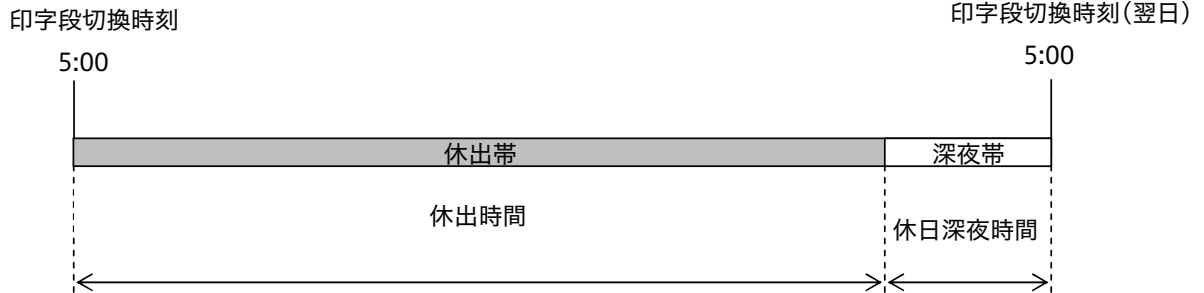
特別日の時間帯(社員モード)

特別日ボタンを指定して打刻した場合、その日は特別日として時間計算します。特別日ボタンの指定は、出勤時または退勤時のどちらかでボタンを押します。平日と特別日の時間計算の違いを以下に示します。

平日



特別日



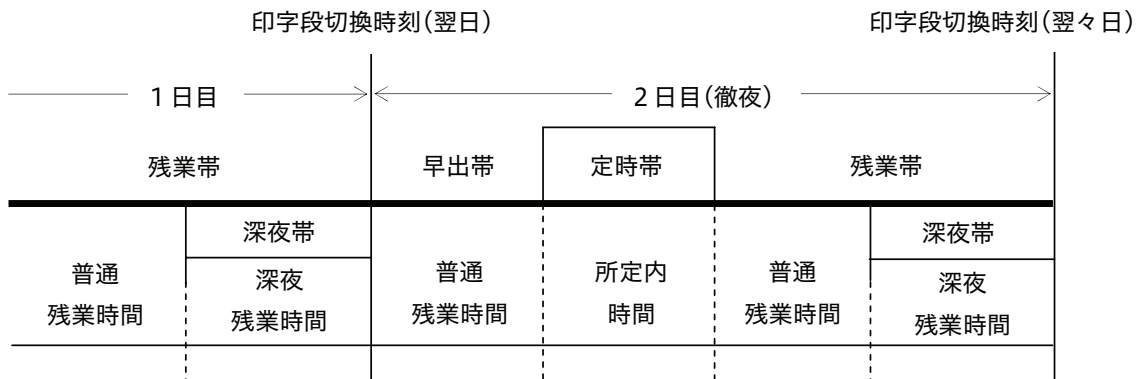
- ・ 深夜帯の始業/終了時刻は、平日と同じ設定値になります。
- ・ 休憩帯の始業/終了時刻は、平日と同じ設定値になります。
- ・ 出勤が平日であっても徹夜退勤で特別日ボタンを押した場合は、出勤した日も特別日になります。

徹夜(社員モード)

印字段切換時刻を越えて退勤することを徹夜といいます。徹夜ボタンを押して退勤打刻をした場合、2日目の各時間帯は1日目の時間帯と同じになります。

出勤Ⅰ・出勤Ⅱ・退勤Ⅱの打刻時に、徹夜ボタンを指定した場合はエラーとする。

① 平日の場合

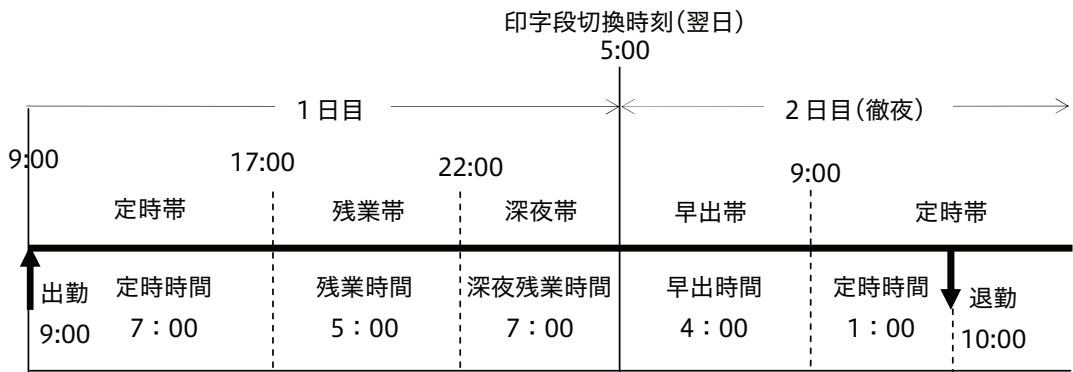


計算例 設定条件 定時帯 9:00-17:00 深夜 22:00-5:00 固定休憩 12:00-13:00

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
木	9:00	10:00	16:00

時間	1日目	2日目	合計
8:00	07.03	10.56	17.59
9:00	00.00	00.00	00.00
7:00	00.00	00.00	00.00
0:00	00.00	00.00	00.00

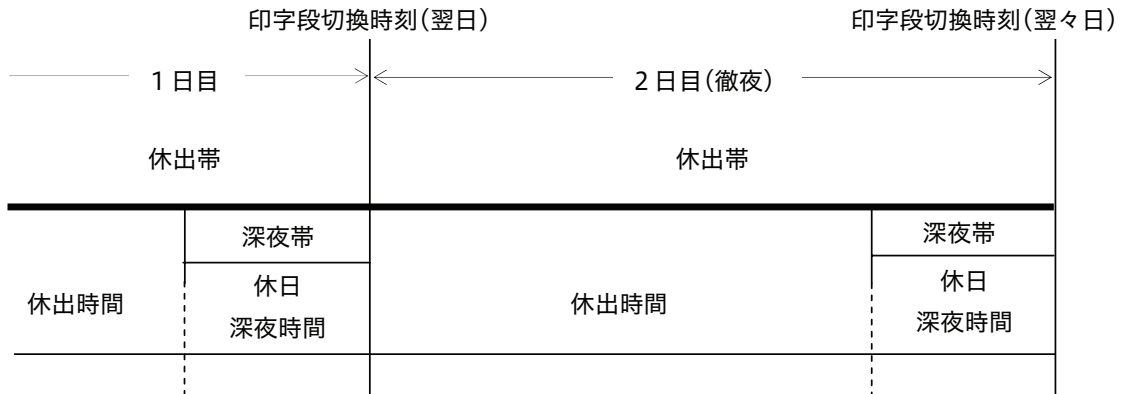
※1 8:00 = 1日目の7:00 + 2日目の1:00
 ※2 9:00 = 1日目の残業時間5:00 + 2日目の早出時間4:00



※1 8:00 = 1日目の7:00 + 2日目の1:00 で 8:00 と計算されます。

※2 9:00 = 1日目の残業時間5:00 + 2日目の早出時間4:00 で 9:00 と計算されます。

② 特別日の場合



計算例

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
木 9:00	10:01	24:01	24:01

	シフト	07:03	10:57	トクダ
就業	0:00	0	0	深夜/C
退勤	0:00	0	0	休日深夜/休B
私外	17:01	0	7:00	1

※1 points to the 17:01 value in the '私外' row.
 ※2 points to the 7:00 value in the '私外' row.



※1 トクダ = 1日目の休出時間 12:00 + 2日目の休出時間 5:01 で 17:01 と計算されます。

※2 トクダ = 1日目の休日深夜 7:00 と計算されます。

- ・退勤打刻は前日の印字段(1行)に印字します。
- ・徹夜分の各時間数は、出勤時刻を含む前日の処理日の時間数にそれぞれ加算して記録します。
- ・徹夜は印字段切替時刻を1回しか越えられません。2日連続の徹夜は不可となり、その場合は前日に打刻無しと同一処理とします。
- ・退勤時に特別日ボタンを押した場合は、出勤した日も特別日となります。

パートモードの時間帯

時間帯の開始時刻

本機のパートモードでは、時間帯をA帯、B帯、C帯の3つに分類することができます。

各時刻の設定パラメータは、パートモードと社員モード共通です。

A帯の開始時刻 = 印字段切換時刻

B帯の開始時刻 = 深夜開始時刻

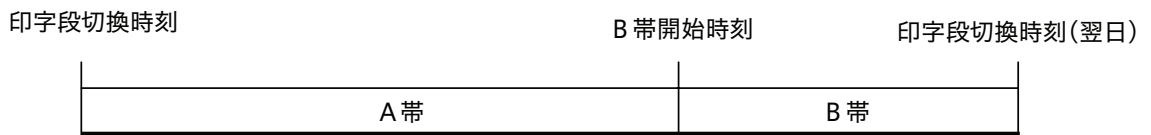
C帯の開始時刻 = 深夜終了時刻

時間帯の設定例

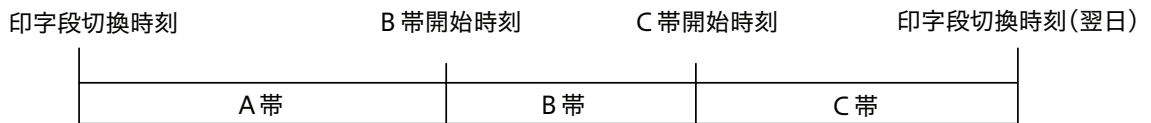
① A帯のみ



② A帯とB帯のみ



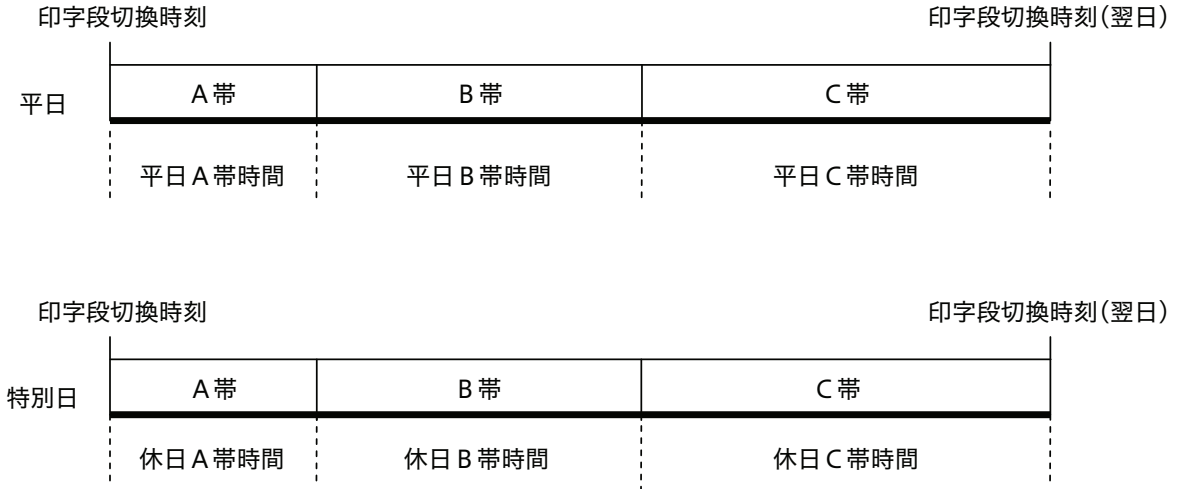
③ A帯とB帯とC帯



特別日の時間帯(パートモード)

特別日ボタンを指定して打刻した場合、その日は特別日として時間計算します。特別日ボタンの指定は、出勤時または退勤時のどちらかでボタンを押します。

以下に平日と特別日の時間計算の違いを記載します。

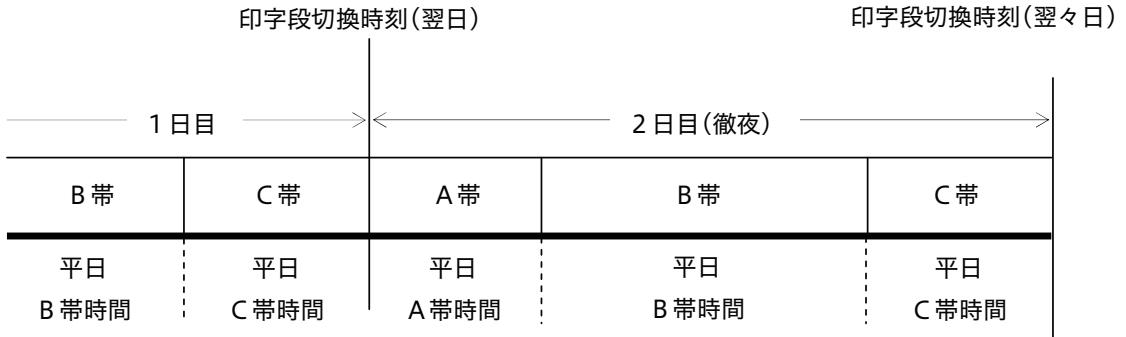


- ・ B帯の開始時刻は、平日と同じ設定値になります。
- ・ C帯の開始時刻は、平日と同じ設定値になります。
- ・ 休憩帯の開始/終了時刻は、平日と同じ設定値になります。
- ・ 出勤が平日であっても徹夜退勤で特別日ボタンを押した場合は、出勤した日も特別日とします。

徹夜(パートモード)

徹夜ボタンを指定して退勤打刻した場合、印字段切換時刻(翌日)～退勤打刻までを徹夜として時間計算します。平日と特別日の時間計算の違いを以下に示します。

① 平日の場合



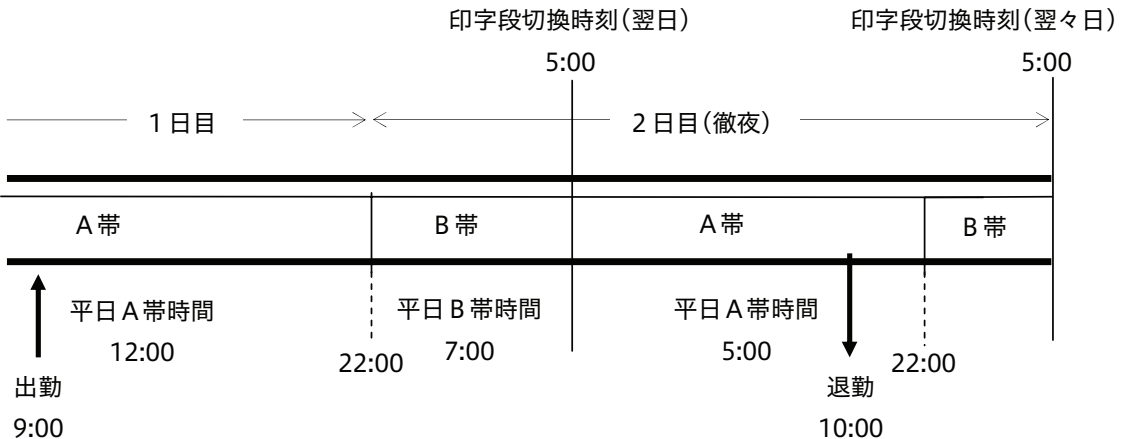
計算例 A帯 5:00-22:00 B帯 22:00-5:00 休憩 1 12:00-13:00

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
木 9:00	10:00	12:00	24:00

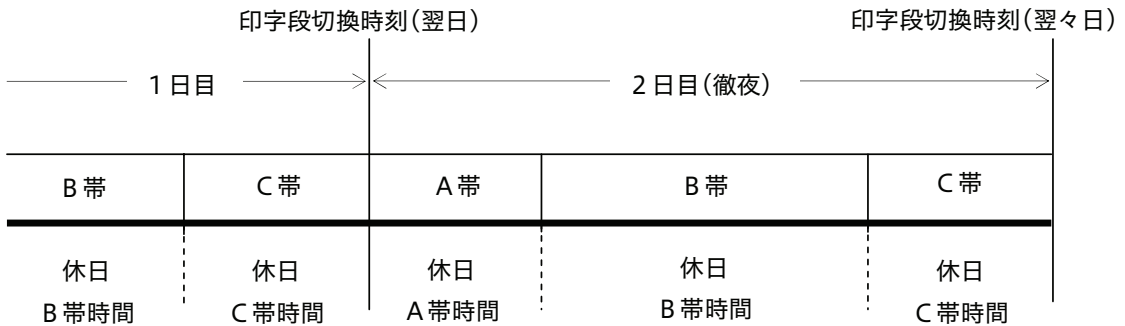
1日の実働時間数

	印-ト	07.03	10:57	11	1日
就業	A	17:00	1	B	7:00
遅早	C	0:00	0	休出	0:00
私外	C	0:00	0	徹夜	0:00

※1 A=1日目のA帯時間 12:00+2日目の5:00で17:00となります。
 ※2 B=1日目のB帯時間 7:00となります。



② 特別日の場合



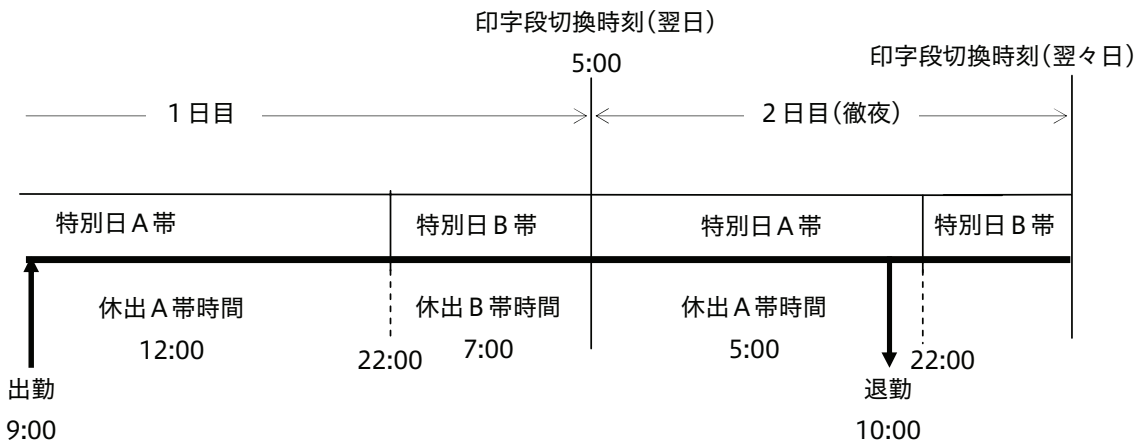
計算例 A帯 5:00-22:00 B帯 22:00-5:00 休憩 1 12:00-13:00

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
木 9:00	10:00	24:00	24:00

	印	ト	07.03	10:57	ト	7 18
就業	A	0:00	0	B	0:00	0
遅早	C	0:00	0	休出	17:00	1
私外	B	7:00	1	徹夜	0:00	0

※1 トA = 1日目のA帯 12:00 + 2日目のA帯 5:00 で 17:00 となります。

※2 トB = 1日目のB帯の 7:00 となります。



- ・退勤打刻は前日の印字段(1行)に印字します。
- ・徹夜は印字段切換時刻を1回しか越えられません。2日連続の徹夜はできません、その場合は前日に打刻無しとして処理します。
- ・A帯のみの時間帯構成の場合、徹夜した2日目のA帯は1日目のA帯とは別の時間帯とみなします。従って、時刻まるめの基点は、徹夜した2日目の場合、2日目の印字段切換時刻(A帯開始時刻)となります。

共通設定カード①、②での設定.....

「共通設定カード①、②」を使用すると、以下の処理を行うことができます。

締日1の変更

締日1を変更する方法です。(締日の詳細は15ページを参照)

メモ 初期値は「31日(月末)締め」になっています。

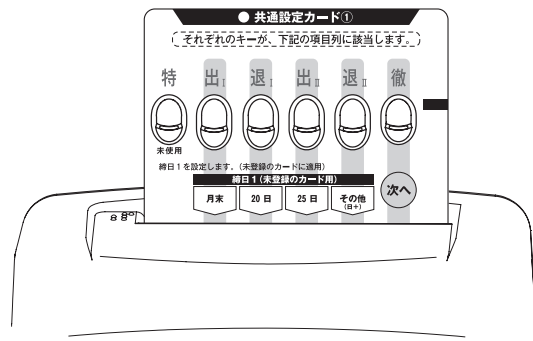
重要

ご使用中に誤った手順で締日を変更すると、打刻データは正しく集計されません。
ご使用中の締日の変更は、次の手順で行なってください。

- ①現在打刻中のタイムカード(MX・MRXカード)を集計する
(当月集計印字→89ページを参照)
 - ②前月打刻して集計していないタイムカード(MX・MRXカード)がある場合は集計する
(前月集計印字→86ページを参照)
 - ③個人データをクリアする(個人実績データ削除のしかた→53ページを参照)
(締日2を使用していない場合は、全データ消去のしかた→54ページを参照)
- 注意! 締日1の登録データ削除時のパスワードは「33」です。
- ④締日を変更する(下記 **1** ~ **4**)

1 「共通設定カード①」を差し込みます

- ・「締日1」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の締日を表示します。



2 締日を変更します

- ・ [月末] (出Ⅰ) ボタンを押すと、月末締め (初期値) に設定されます。
- ・ [20日] (退Ⅰ) ボタンを押すと、20日締めに設定されます。
- ・ [25日] (出Ⅱ) ボタンを押すと、25日締めに設定されます。
- ・ [その他] (退Ⅱ) ボタンを押すごとに、1 から 31 の数字を繰り返し表示します。
表示が締日の数字になるまで [その他] (退Ⅱ) ボタンを押してください。

※ [その他] ボタンのみ、ボタンを押しつづけると数値を早送りできます。

例：月末締めに設定した場合
(表示は“31”となります)



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定した締日が登録され、「締日 2」の設定に進みます。

4 終了する場合は [次へ] (徹) ボタンを 2 回押し、最後に [完了] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

締日 2 の変更

締日 2 を変更する方法です。(締日の詳細は 15 ページを参照)

2 種類の締日でタイムレコーダーをお使いいただくお客様が必要な設定になります。

メモ 初期値は「20 日締め」になっています。

重要

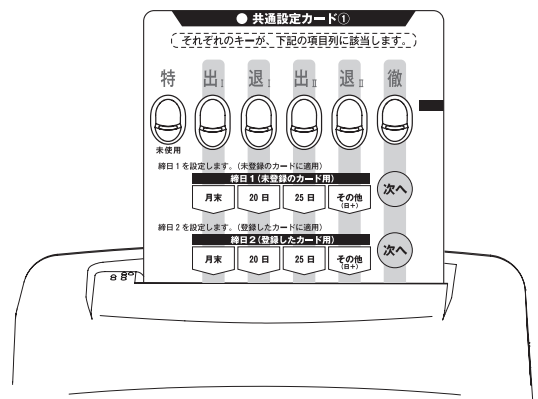
ご使用中に誤った手順で締日を変更すると、打刻データは正しく集計されません。
ご使用中の締日の変更は、次の手順で行なってください。

- ①現在打刻中のタイムカード(MX・MRX カード)を集計する
(当月集計印字→89 ページを参照)
- ②前月打刻して集計していないタイムカード(MX・MRX カード)がある場合は集計する
(前月集計印字→86 ページを参照)
- ③個人データをクリアする (全データ消去のしかた→54 ページを参照)
注意！締日 2 の登録データ削除時のパスワードは「55」です。
- ④締日を変更する (下記 **1** ~ **5**)

1

「共通設定カード①」の見出しを「締日 2」に合わせます

- ・「共通設定カード①」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを 1 回押します。



2

締日を変更します

- ・ [月末] (出 I) ボタンを押すと、月末締めに設定されます。
- ・ [20 日] (退 I) ボタンを押すと、20 日締め (初期値) に設定されます。
- ・ [25 日] (出 II) ボタンを押すと、25 日締めに設定されます。
- ・ [その他] (退 II) ボタンを押すごとに、1 から 3 1 の数字を繰り返し表示します。
表示が締日の数字になるまで [その他] (退 II) ボタンを押してください。

※ [その他] ボタンのみ、ボタンを押しつづけると数値を早送りできます。

例：月末締めに設定した場合
(表示は「31」となります)



3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「印字段切換モード／印字段切換時刻」の設定に進みます。

4 終了する場合は[次へ](徹)ボタンを押し、最後に[完了](徹)ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

5 締日2カードを登録します

締日2カード登録のしかたは 83 ページを参照

印字段切換モード／印字段切換時刻の変更

印字段切換モード／印字段切換時刻を変更します。

タイムレコーダー上の1日の開始時刻のことで、初期値では午前5:00に設定されています。この場合、午前5:00から翌日の午前4:59までの勤務は同じ日の勤務として、タイムカード(MX・MRXカード)の同じ日の段に印字することができます。

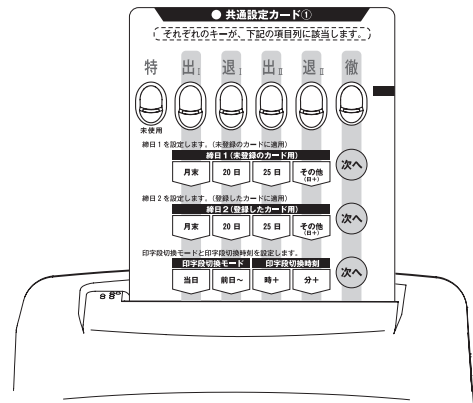
- ・退勤時に〔徹〕ボタンを押した場合は、この時刻以降であっても、前日と同じ段に印字できます。(印字段切換モードの詳細は20ページを参照)

計算モードがパートモードの場合、印字切換時刻はA帯開始時刻になります。

(A帯の詳細は28ページを参照)

1 「共通設定カード①」の見出しを「印字段切換モード／印字段切換時刻」に合わせます

- ・「共通設定カード①」を差し込み、
〔次へ〕(徹)ボタンを2回押します。

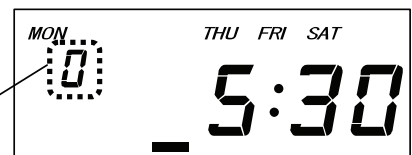


2 印字段切換モード／印字段切換時刻を変更します

- ・〔当日〕(出I)ボタンを押すと、印字段切換モードが当日にセットされます。
- ・〔前日～〕(退I)ボタンを押すと、印字段切換モードが前日からにセットされます。
- ・〔時+〕(出II)ボタンを押すと、印字段切換時刻の「時」が1時間進みます。
- ・〔分+〕(退II)ボタンを押すと、印字段切換時刻の「分」が1分進みます。

例：当日の午前5:30に設定した場合

印字段切換モード
0 = 当日
1 = 前日～



3 〔次へ〕(徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「計算モード」の設定に進みます。

4 終了する場合は〔完了〕(徹)ボタンを押します

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

計算モードの変更

計算モードの設定を変更できます。

社員、パートモードの場合は、60人までの集計ができます。

打刻のみモードの場合は、150人まで打刻時刻のみ印字します。印字欄は自動判定します。

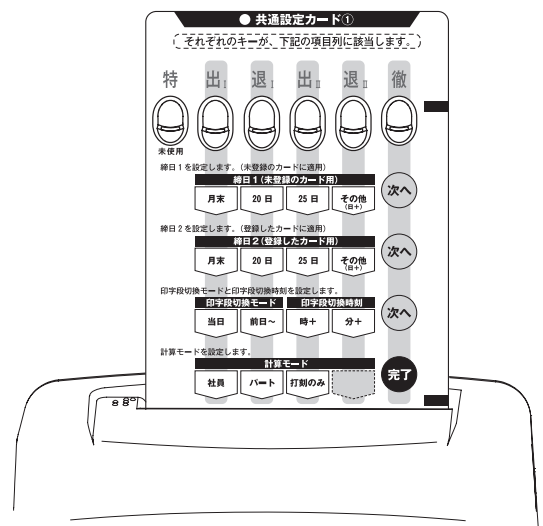
(社員モード、パートモード、打刻のみモードの詳細は14ページを参照)

※タイムカード(MX・MRXカード)への打刻後に計算モードを変更すると、使用していたタイムカード(MX・MRXカード)は使用できなくなります。(E-18)

メモ 初期値は「打刻のみモード」になっています。

1 「共通設定カード①」の見出しを「計算モード」に合わせます

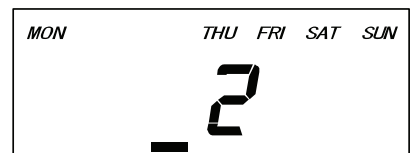
- ・「共通設定カード①」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを3回押します。



2 計算モードを選択します

- ・[社員] (出I) ボタンを押すと、計算モードが社員モードに設定されます。(表示は 1)
- ・[パート] (退I) ボタンを押すと、計算モードがパートモードに設定されます。(表示は 2)
- ・[打刻のみ] (出II) ボタンを押すと、計算モードが打刻モードに設定されます。
(表示は OFF)

例：パートモードに設定した場合



3 [完了] (徹) ボタンを押します

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

曜日印字モードの変更

曜日の印字を変更する方法です。

メモ 初期値は「漢字」になっています。

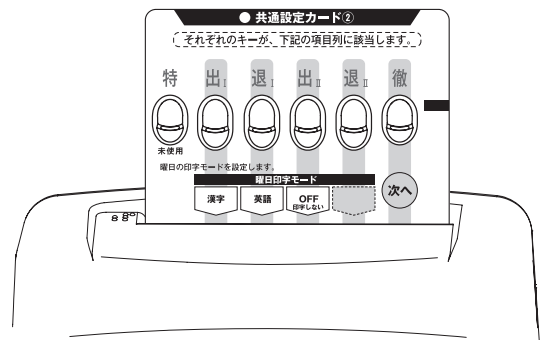
印字が「漢字」の場合

23 木	9:00	6:00	13:00	42:01
24 金	9:00	6:00	20:00	62:01

曜日印字

1 「共通設定カード②」を差し込みます

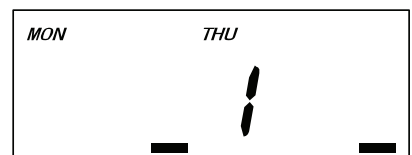
- ・「曜日印字モード」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



2 曜日印字モードを変更します

- ・[漢字] (出Ⅰ) ボタンを押すと、曜日印字モードを漢字に変更します。(表示は 1)
- ・[英語] (退Ⅰ) ボタンを押すと、曜日印字モードを英語に変更します。(表示は 2)
- ・[OFF] (出Ⅱ) ボタンを押すと、曜日印字モードを印字しない(OFF)設定に変更します。(表示は OFF)

例：漢字モードに設定した場合



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・設定が登録され、「徹夜退勤の検知/時計表示モード」の設定に進みます。

4 設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを 2 回押し、最後に[完了] (徹) ボタンを押します

- ・設定カードは排出されて、現在時刻が表示されます。

徹夜退勤の検知の変更

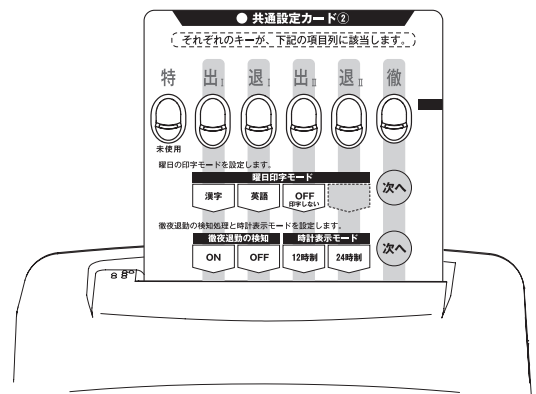
徹夜退勤の検知とは、前日の退勤打刻を忘れた場合に警告する機能です。この機能により打刻間違いを未然に防止することができます。打刻者は「徹」（前日の徹夜明け）もしくは「出I」（当日の出勤）ボタンを操作することで、正しい打刻操作が可能になります。

（徹夜退勤の詳細は 76 ページを参照）

メモ 初期値は「OFF」になっています。

1 「共通設定カード②」の見出しを「徹夜退勤の検知」に合わせます

- 「共通設定カード②」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを押します。



2 徹夜退勤の検知の設定を変更します

- [ON] (出I) ボタンを押すと、徹夜退勤の検知を行う (ON) に設定されます。
 - [OFF] (退I) ボタンを押すと、徹夜退勤の検知を行わない (OFF) に設定されます。
- 例：徹夜退勤の検知 (ON) に設定した場合



「時計表示モード」の設定に進む場合は、40 ページの **2** に進んでください。

3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- 設定が登録され、「出勤人数のカウント／ブザー」の設定に進みます。

4 終了する場合は、さらに[次へ] (徹) ボタンを押し、[完了] (徹) ボタンを押します

- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

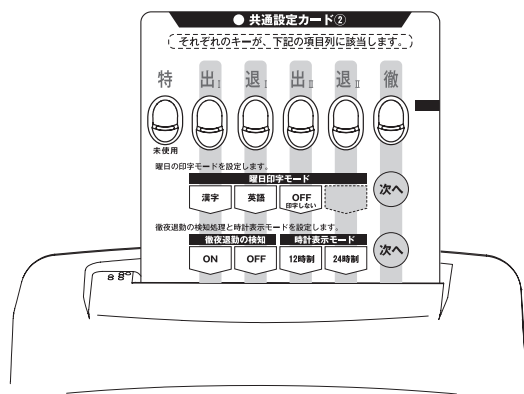
時計表示モードの変更

時計の表示を 12 時制か 24 時制に変更する方法です。

メモ 初期値は「24 時制」になっています。

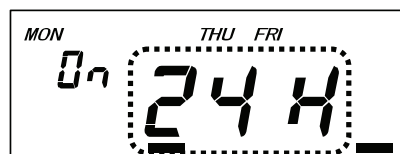
1 「共通設定カード②」の見出しを「時計表示モード」に合わせます

- ・「共通設定カード②」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを押します。



2 時計表示を変更します

- ・[12 時制] (出Ⅱ) ボタンを押すと、時計表示が 12 時制に変更されます。
 - ・[24 時制] (退Ⅱ) ボタンを押すと、時計表示が 24 時制に変更されます。
- 例：24 時制に設定した場合



3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「出勤人数のカウント／ブザー」の設定に進みます。

4 終了する場合は、さらに[次へ](徹)ボタンを押し、[完了](徹)ボタンを押します

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

※タイムカード(MX・MRX カード)への印字は、上の設定にかかわらず 24 時制で印字します。

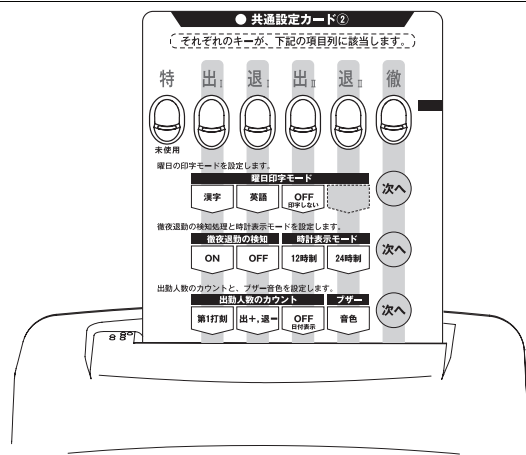
出勤人数のカウント設定の変更

出勤人数のカウントの設定を変更する方法です。

メモ 初期値は「OFF」になっています。

1 「共通設定カード②」の見出しを「出勤人数のカウント」に合わせます

- 「共通設定カード②」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを2回押します。



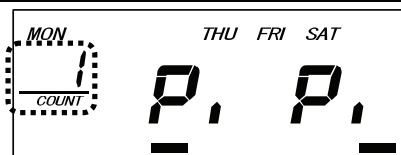
2 出勤人数のカウント設定を変更します

- [第1打刻] (出I) ボタンを押すと、出勤人数を一日の最初の打刻でカウントアップする設定に変更します。 1
COUNT
- [出+、退-] (退I) ボタンを押すと、出勤人数を出勤または戻りでカウントアップし、外出または退勤でカウントダウンするように変更します。 2
COUNT
- [OFF] (出II) ボタンを押すと、出勤人数をカウントしない(OFF)設定に変更します。
※OFF(出II)に設定した場合は日付を表示します。現在日付ではなく **12-31** と表示されます。 DATE

「ブザー」の変更に進む場合は、[次へ](徹)ボタンを押さずに 42 ページの **2** に進んでください。

3 [次へ](徹)ボタンを押します

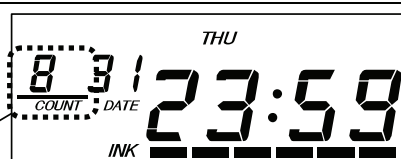
- 設定が登録され、「パスワード設定」に進みます。
例：第1打刻に設定した場合



4 終了する場合は、[完了](徹)ボタンを押します

- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。
例：出勤人数が8人の場合

カウント表示



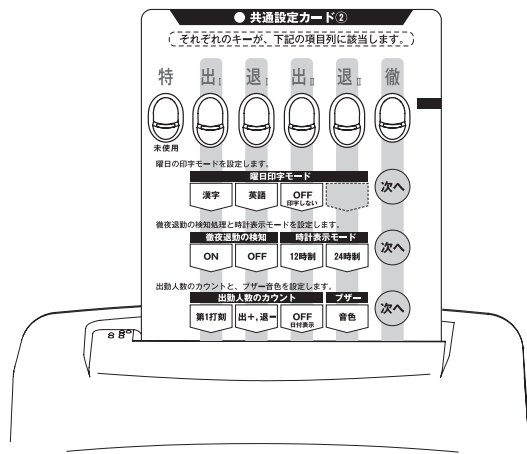
ブザーの変更

ブザーの音色を変更する方法です。

メモ 初期値は「ピッ」になっています。

1 「共通設定カード②」の見出しを「ブザー」に合わせます

- ・「共通設定カード②」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを2回押します。



2 ブザーの音色を変更します

- ・[音色] (退II) ボタンを押すたびに、ブザーの音色が「ピッ音」「ピピッ音」「OFF」に切り換わります。

※ ブザー音色が「ピピッ音」に設定された場合、通常打刻操作において各ボタンを押したときのブザー音は下表のようになります。

ボタン	ON (LED 点灯) するときのブザー音	OFF (LED 消灯) するときのブザー音
特別日	ピピピッ	ピポッ
出I	ピッ	ピポッ
退I	ピピッ	ピポッ
出II	ピッ	ピポッ
退II	ピピッ	ピポッ
徹夜	ピピピピッ	ピポッ

3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「パスワード設定」に進みます。
例：ブザー音を「ピピッ」に設定した場合



4 終了する場合は、[完了](徹)ボタンを押します

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

パスワードの設定

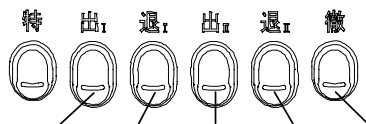
パスワードを設定する方法です。設定操作時にパスワード入力が必要ない場合は設定しないでください。※初期値はパスワードの設定はされていません。

パスワードを設定することで、設定操作開始時にパスワードの入力が必要になります。

下の表示は、パスワード設定がされている場合の設定操作開始時のパスワード要求表示です。



パスワードの入力は前面のボタンで4桁の数字を入力します。

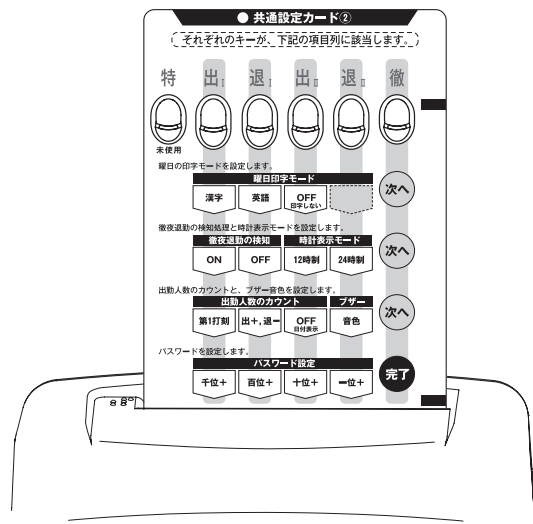


千位 百位 十位 一位 入力が終わったら押します。

メモ 不正防止のため、設定したパスワードはおお客様の責任において管理をお願いいたします。万が一、パスワードをお忘れになった場合、弊社技術員による操作が必要になります。弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡ください。(正規の管理担当者様からのご依頼であるか、確認させていただくことがあります)

1 「共通設定カード②」の見出しを「パスワード設定」に合わせます

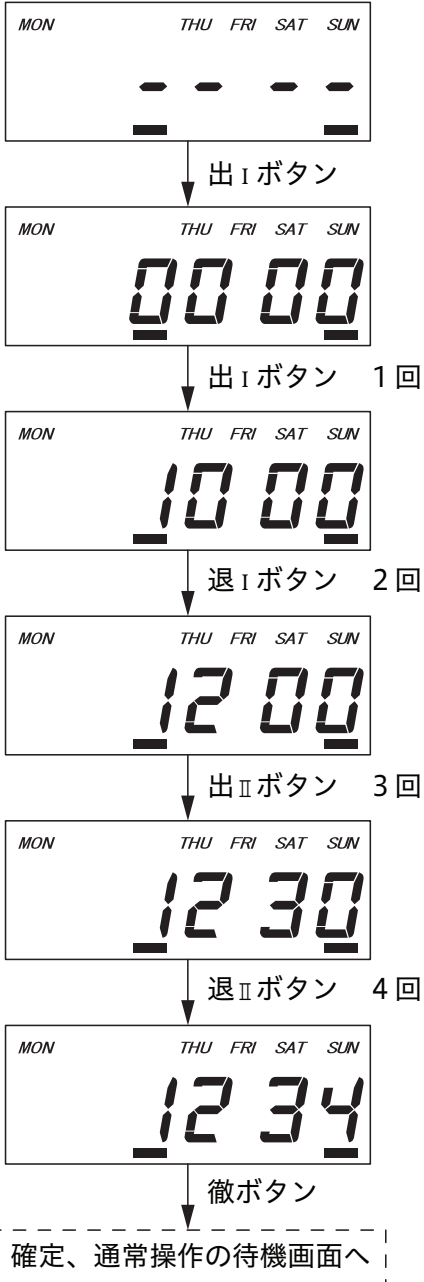
- ・「共通設定カード②」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを3回押します。



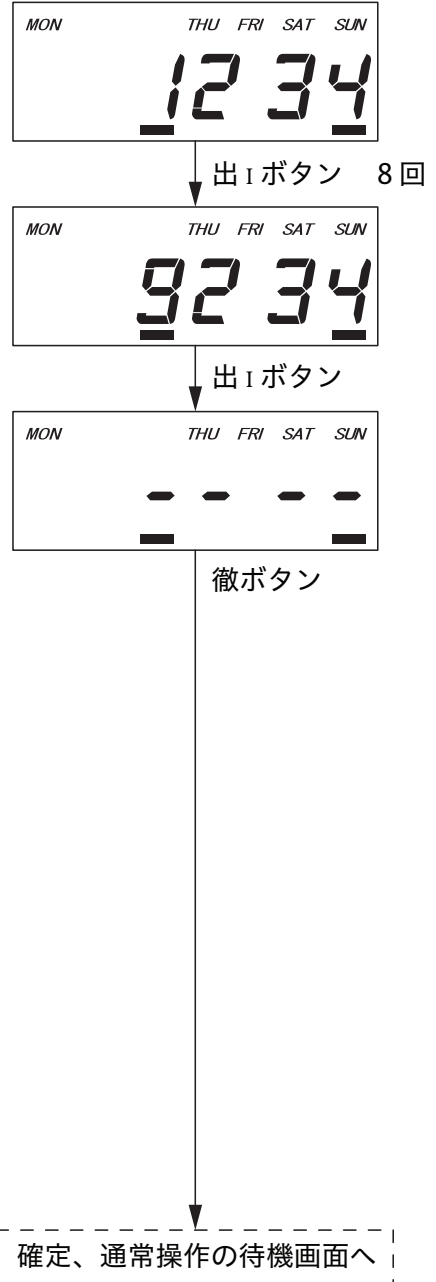
2

パスワードを設定します

例：パスワードを「1 2 3 4」に設定する場合



例：パスワードをなしに設定する場合



3

[完了] (徹)ボタンを押します

- ・パスワードが登録されます。
- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

共通設定カード③、時計設定カードでの設定 ……

「共通設定カード③、時計設定カード」を使用すると、以下の処理を行うことができます。

1日の時間数印字の設定

1日の時間数印字を設定します。

メモ 初期値は「ON」になっています。

設定が ON の場合： 社員モードでは、**1日の残業時間数** を退勤時に印字します。

	出	退	出	退
	IN	OUT	IN	OUT
1 木	8:30	17:00	0:30	0:30
2 木	9:00	16:00		0:30
3 金	9:10	16:00		0:30
4 土	9:00	20:00	3:00	3:30
5 日	9:00	18:00	8:00	11:30
6 月	9:01	17:00		11:30
7 火	9:00	23:00	6:00	17:30
8 水	17:00	22:00	5:00	22:30
9 木	18:00	23:00	5:00	27:30

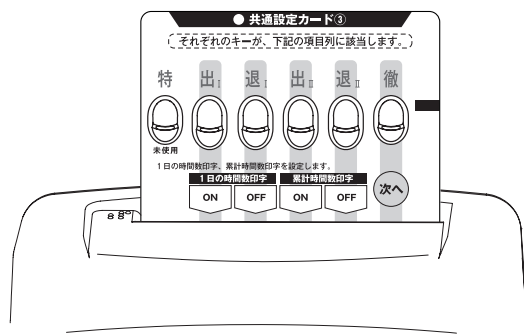
パートモードでは、**1日の実働時間数** を退勤時に印字します。

	出	退	出	退
	IN	OUT	IN	OUT
1 木	16:00	23:00	7:00	7:00
2 木	17:00	2:00	9:00	16:00
3 金	16:04	4:04	12:00	28:00
4 土	18:00	23:00	5:00	33:00
5 日	16:00	2:06	10:06	43:06
6 月	16:58	6:00	13:02	56:08
9 木	16:00	23:00	7:00	63:08

※設定が OFF の場合： 残業時間数や実働時間数は印字されません。

1 「共通設定カード③」を差し込みます

- ・「1 日の時間数印字」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



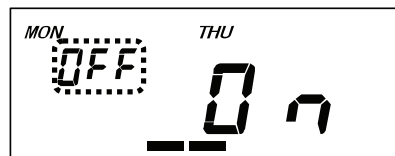
2 1 日の時間数印字を変更します

- ・ [ON] (出 I) ボタンを押すと、1 日の時間数印字 ON に設定されます。
- ・ [OFF] (退 I) ボタンを押すと、1 日の時間数印字 OFF に設定されます。

例：設定 ON の場合



設定 OFF の場合



「累計時間数印字」の設定に進む場合は、47 ページの **2** に進んでください。

3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「早出時間の計算/バックライト消灯時刻」に進みます。

4 設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを 2 回押し、最後に [完了] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

累計時間数印字の設定

累計時間数印字を設定します。

メモ 初期値は「ON」になっています。

設定が ON の場合： 社員モードでは、残業時間の累計時間数を退勤時に印字します。

パートモードでは、実働時間の累計時間数を退勤時に印字します。

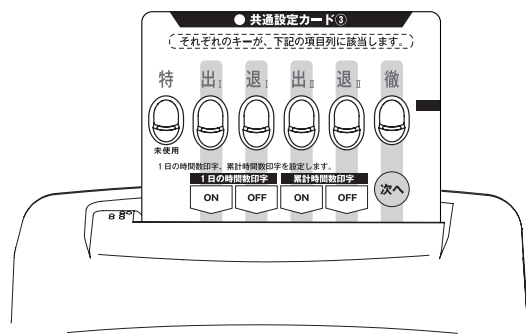
設定が OFF の場合： 残業累計時間数や実働累計時間数は印字されません。

※打ち忘れた日があった場合、翌日の累計時間数印字にはアンダーラインが印字されます。

(80 ページ参照)

1 「共通設定カード③」を差し込みます

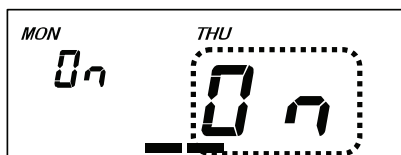
- 「累計時間数印字」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



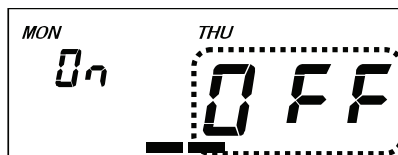
2 累計時間数印字を変更します

- [ON] (出II) ボタンを押すと、累計時間数印字 ON に設定されます。
- [OFF] (退II) ボタンを押すと、累計時間数印字 OFF に設定されます。

例：設定 ON の場合



例：設定 OFF の場合



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- 設定が登録され、「早出時間の計算／バックライト消灯時刻」に進みます。

4 設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを 2 回押し、最後に [完了] (徹) ボタンを押します

- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

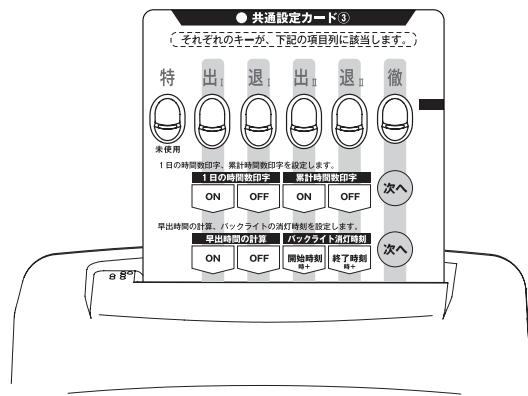
早出時間の計算の設定

早出時間の計算を設定します。(社員モードの場合のみ)

メモ 初期値は「ON」になっています。

1 「共通設定カード③」の見出しを「早出時間の計算」に合わせます

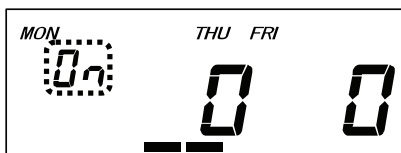
- ・「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを押します。



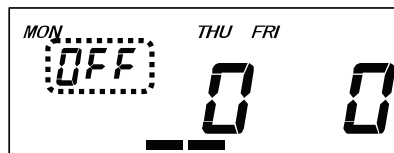
2 早出時間の計算を設定します

- ・ [ON] (出I) ボタンを押すと、早出時間の計算 ON に設定されます。
- ・ [OFF] (退I) ボタンを押すと、早出時間の計算 OFF に設定されます。

例：設定 ON の場合



設定 OFF の場合



※ 「バックライト消灯時刻」の設定に進む場合は、49 ページの **2** に進んでください。

3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「設定内容の印字／設定の初期化」に進みます。

4 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを押し、最後に[完了](徹)ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

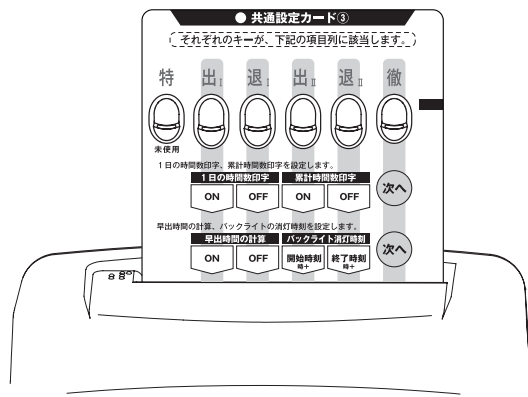
バックライト消灯時刻の設定

バックライト消灯時刻を設定します。

メモ 初期値は「 - -」(常時点灯)になっています。

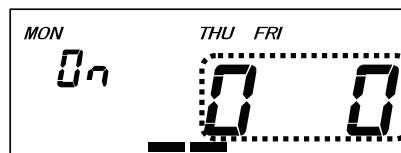
1 「共通設定カード③」の見出しを「バックライト消灯時刻」に合わせます

- ・「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを押します。

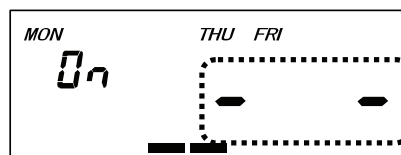


2 バックライト消灯時刻を設定します

- ・[開始時刻] (出II) ボタンを押すと、開始時刻が1時間進みます。
- ・[終了時刻] (退II) ボタンを押すと、終了時刻が1時間進みます。
- ・常時点灯の場合は[開始時刻] (出II) ボタンを押して、表示を「 0 0」にしてください。
※始業時刻と終了時刻を同時刻に設定した場合も常時点灯になります。



- ・常時点灯の場合は[開始時刻] (出II) ボタンを押して、表示を「 - -」にしてください。
※(出II) ボタンを押すと 0→1→2~23→ - - →0 と表示が変わります。



3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「設定内容の印字/設定の初期化」に進みます。

4 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを押し、最後に[完了](徹)ボタンを押します

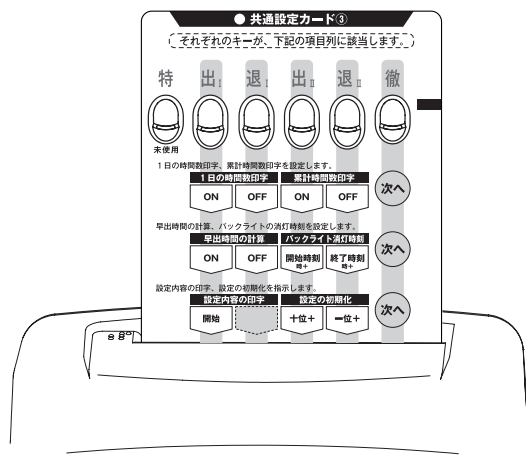
- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

設定内容の印字のしかた

設定内容をタイムカード(MX・MRX カード)に印字します。(印字例と設定内容は 114 ページ参照)

1 「共通設定カード③」の見出しを「設定内容の印字」に合わせます

- ・「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを 2 回押します。



2 [開始] (出 I) ボタンを押します

- ・[開始] (出 I) ボタンを押すと、共通設定カード③
が排出されます。



※設定内容の印字を中止したい場合

- ・共通設定カード③を差し込むと、共通設定カード③は排出され、
現在時刻が表示されます。
- ・いずれかのボタンを押すと、現在時刻が表示されます。

3 設定内容を印字します

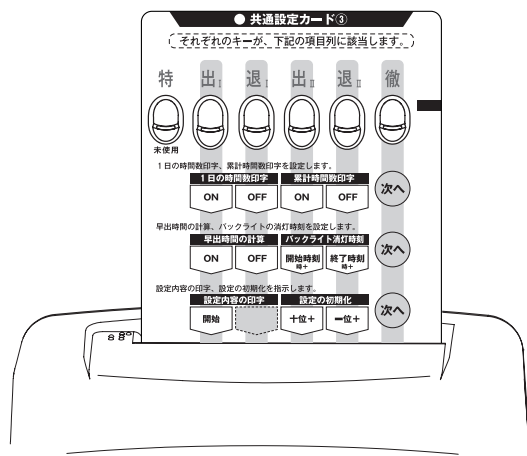
- ・新しいタイムカードを差し込むと、設定内容が印字されます。設定内容の印字例について
は、114 ページを参照してください。
- ・タイムカード(MX・MRX カード)／共通設定カード③以外を差し込むと、「E-07」となり
ます。その場合にはいずれかのボタンを押してください。
- ・印字が終わるとタイムカード(MX・MRX カード)は排出され、現在時刻が表示されます。

設定の初期化のしかた

設定内容を初期化する方法です。

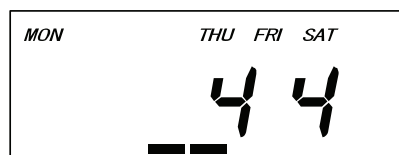
1 「共通設定カード③」の見出しを「設定の初期化」に合わせます

- ・「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを2回押します。



2 設定内容を初期化します

- ・設定内容を初期化する場合は、パスワード「44」と入力してください。
- ・[十位+] (出II) ボタンを押すと、十の位の数値が1進みます。
- ・[一位+] (退II) ボタンを押すと、一の位の数値が1進みます。



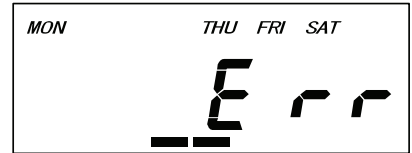
3

[次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定内容が初期化されます。
- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

※ パスワードが間違っていて初期化できなかった場合
ピコピコピコピコとエラー音が鳴り右図の表示に
なります。

(徹) ボタンを押すと、設定カードは排出され、現在
時刻が表示されます。もう一度 **1** からやり直
してください。



※初期化操作を中止したい場合

設定内容の初期化操作を途中で中止したい場合は、パスワードを
“00”または“99”に合わせ、(徹) ボタンを押してください。
次の設定操作に進みます。

初期値(工場出荷設定値)

	設定項目	初期値		設定項目	初期値
	締日 1 (未登録のカード用)	31(月末)		まるめ方式	1(時刻まるめ)
	締日 2 (登録したカード用)	20		まるめ単位	OFF(1分単位)
	印字段切換モード	0(当日)		始業時刻(定時開始)	9:00
	印字段切換時刻	5:00		終業時刻(定時終了)	17:00
	計算モード	OFF(打刻のみ)		深夜開始/B帯開始	22:00
	曜日印字モード	1(漢字)	深夜終了/C帯開始	5:00	
	徹夜退勤の検知	OFF	休憩1開始	---- 未設定	
	時計表示モード	24時制	休憩1終了	---- 未設定	
	出勤人数のカウント	OFF(日付表示)	休憩2開始	---- 未設定	
	ブザー	P i (ピッ)	休憩2終了	---- 未設定	
	パスワード	---- 未設定	休憩3開始	---- 未設定	
	1日の時間数印字	ON(印字する)	休憩3終了	---- 未設定	
	累計時間数印字	ON(印字する)	休憩4開始	---- 未設定	
	早出の計算	ON(計算する)	休憩4終了	---- 未設定	
	バックライト消灯時刻	---- (常時点灯)	休憩5開始	---- 未設定	
	サマータイムの開始日	---- 未設定	休憩5終了	---- 未設定	
	サマータイムの終了日	---- 未設定			

個人実績データの消去のしかた

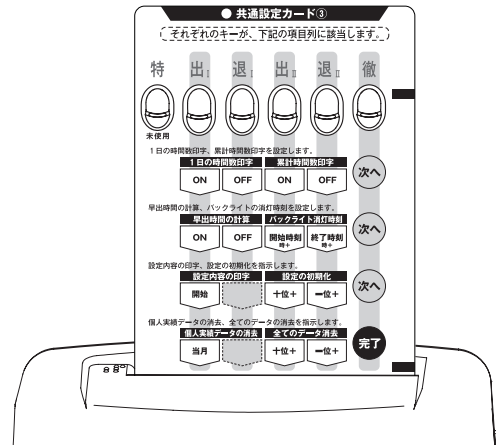
当月の個人実績データを消去する方法です。

登録数オーバー(E-22)等で、月の途中で個人単位でデータを消去するような場合に必要な操作です。

※個人データの削除を行う場合は必ず集計印字操作を行ってください。(86～90 ページ参照)

1 「共通設定カード③」の見出しを「個人実績データの消去」に合わせます

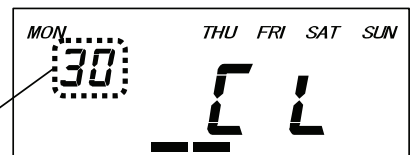
- 「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを3回押します。



2 [当月] (出I) ボタンを押します

- [当月] (出I) ボタンを押すと、共通設定カード③が排出されます。

現在登録されている人数を表示しています。



3 個人実績データを消去します

- データを消去したい当月のタイムカード(MX・MRXカード)のおもて面(青)を手前にして差し込みます。
- データを消去するとタイムカード(MX・MRXカード)には消去印字^{※1}を行いカードは排出されデータ件数が変わります。

※カードをうら面(赤)にして入れた場合は、E-01となります。

- 他のデータを消去する場合は、続けてタイムカード(MX・MRXカード)を差し込んでください。
- 当月以外のタイムカード(MX・MRXカード)が差し込まれた場合はエラーになります。
- 共通設定カード③を差し込むと、現在時刻が表示されます。
- いずれかのボタンを押すと、現在時刻が表示されます。

※1 消去印字例
消去印字



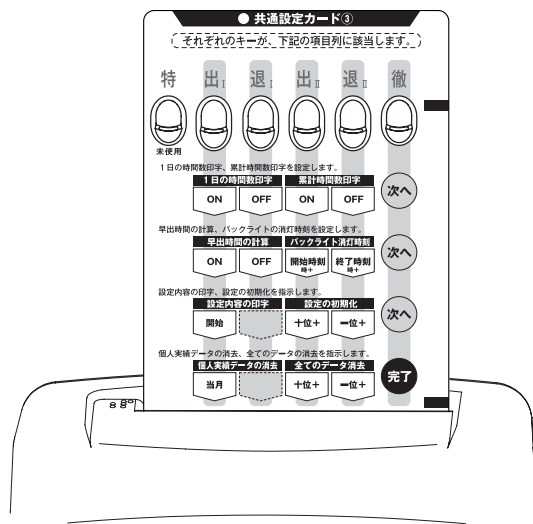
- タイムカードは折り曲げたり水に濡らしたりしないでください。
- カードの右端(バーコード部)を汚したり、書き込みをしないでください。

全データの消去のしかた

全データまたは締日2カードの登録データを消去する方法です。
パスワードによって消去したいデータを選択できます。

1 「共通設定カード③」の見出しを「全てのデータ消去」に合わせます

- 「共通設定カード③」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを3回押します。



2 データを消去します

- 全データを消去する場合は、パスワード「33」と入力してください。
- 締日2カードの登録データを全て消去する場合は、パスワード「55」と入力してください。
- [十位+] (出II)ボタンを押すと、十の位の数値が1進みます。
- [一位+] (退II)ボタンを押すと、一の位の数値が1進みます。

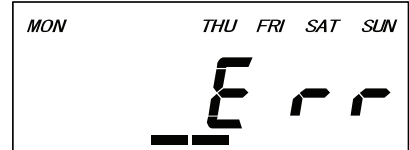


3 [完了](徹)ボタンを押します

- ・データが消去されます。
- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

※パスワードが間違っていて消去できなかった場合
ピコピコピコピコとエラー音が鳴り図1の表示になります。

図1



2秒後に図2の表示になりますので、もう一度

2 からやり直してください。

図2



※消去操作を中止したい場合

データの消去操作を途中で中止したい場合は、パスワードを“00”または“99”に合わせ、(徹)ボタンを押してください。
設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

時分（時計）の合わせかた

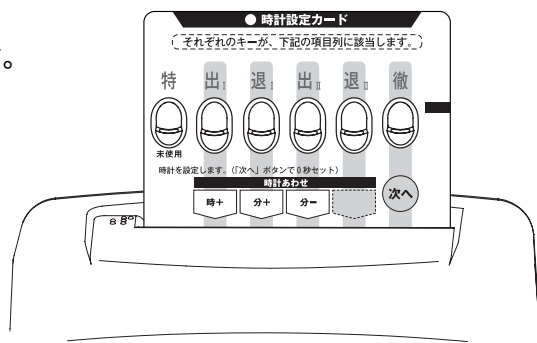
時計表示が遅れたり進んでしまったときに時計を合わせる方法です。

メモ

- ・ 現在時刻より時計を進めたり戻したりして打刻することはできません。
- ・ タイムカード(MX・MRX カード)に打刻した後で時計を戻し、再び同じタイムカード(MX・MRX カード)に打刻しようとした場合、時計逆進エラー（表示：E-17）となり、打刻できません。

1 「時計設定カード」を差し込みます

- ・ 「時計あわせ」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在時刻を表示します。

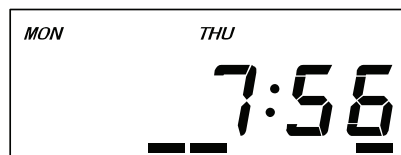


2 時刻を変更します

- ・ [時+] (出I) ボタンを押すと、1時間進みます。
- ・ [分+] (退I) ボタンを押すと、1分進みます。
- ・ [分-] (出II) ボタンを押すと、1分戻ります。

メモ

0秒調整しますので、分は現在時刻より1分進めておいてください。



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ [次へ] (徹) ボタンを押した瞬間から0秒スタートします。(分を変更した場合のみ)

メモ

分を変更しない（時のみの変更）で[次へ] (徹) ボタンを押した場合は、0秒調整されません。

4 設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを2回押し、最後に[完了] (徹) ボタンを押します

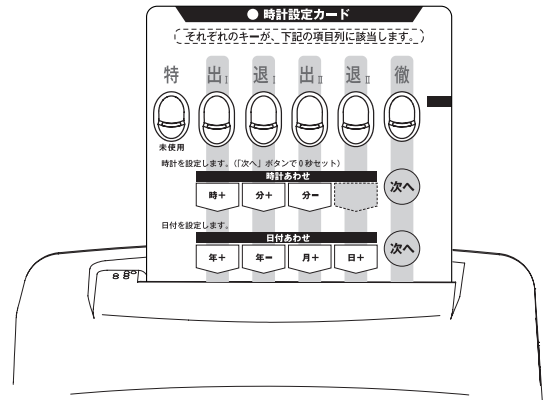
- ・ 設定カードは排出されて、修正した現在時刻が表示されます。

日付の合わせかた

日付があっていないときに日付を合わせる方法です。

1 「時計設定カード」の見出しを「日付あわせ」に合わせます

- ・「時計設定カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを押します。

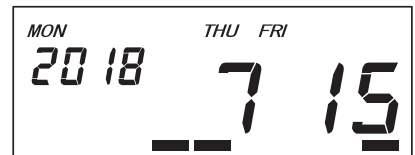


2 西暦年・月・日を変更します

- ・[年+] (出Ⅰ) ボタンを押すと、西暦年が1年進みます。
- ・[年-] (退Ⅰ) ボタンを押すと、西暦年が1年戻ります。
- ・[月+] (出Ⅱ) ボタンを押すと、月が1ヶ月進みます。(12の次は1に戻ります)
- ・[日+] (退Ⅱ) ボタンを押すと、日が1日進みます。(月最終日の次は1に戻ります)

メモ ボタンを押し続けると、数値を早送りします。

例：西暦 2018 年 7 月 15 日に変更した場合



3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「サマータイムの開始日」の設定に進みます。

4 終了する場合は、さらに[次へ](徹)ボタンを押し、[完了](徹)ボタンを押します。

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

サマータイムの設定（※サマータイム導入までは設定しません）

日本国内で、サマータイムが導入されたときに登録してください。

サマータイムを設定した場合、開始日の午前2：00に1時間、時刻が進み、終了日の午前2：00に1時間、時刻が戻ります。

サマータイム開始日の1：59の1分後は3：00となります。

（午前2：00に時計は自動的に1時間進みます）

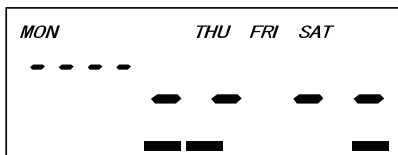
サマータイム終了日の1：59の1分後は1：00となります。

（午前2：00に時計は自動的に1時間戻ります）

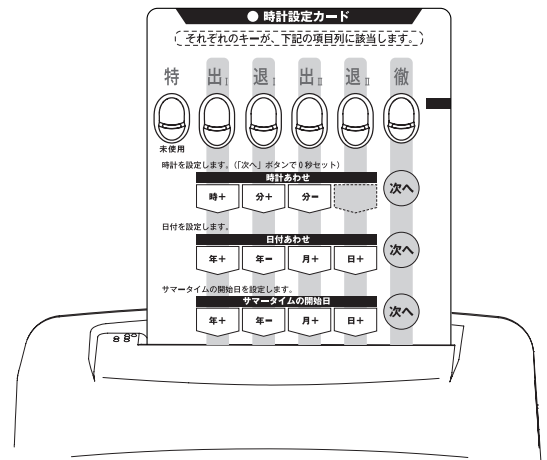
一度設定すると、翌年以降も変更がない限り設定（○月、第○週、○曜日）は継続されます。

1 「時計設定カード」の見出しを「サマータイムの開始日」に合わせます

- ・「時計設定カード」を差し込み、
[次へ]（徹）ボタンを1回押します。



初期値は設定なし（上図）



2 サマータイム開始日を設定します

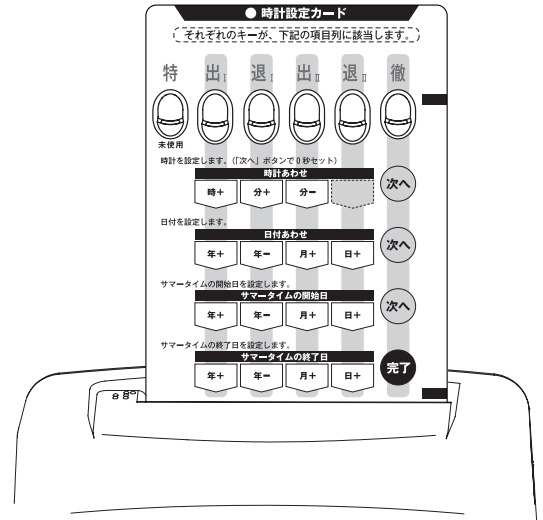
- ・ [年+]（出Ⅰ）ボタンを押すと、「昨年」→「当年」→「来年」→「設定なし」と進みます。
- ・ [年-]（退Ⅰ）ボタンを押すと、「来年」→「当年」→「昨年」→「設定なし」と進みます。
- ・ [月+]（出Ⅱ）ボタンを押すと、月が1ヶ月進みます。（12の次は1に戻ります）
- ・ [日+]（退Ⅱ）ボタンを押すと、日が1日進みます。（月最終日の次は1に戻ります）



3

[次へ] (徹) ボタンを押します

- 表示しているサマータイム開始日が登録され、「サマータイムの終了日」の設定に進みます。



4

サマータイム終了日を設定します

- [年+] (出Ⅰ) ボタンを押すと「開始年」→「開始年+1」→「設定なし」と進みます。
- [年-] (退Ⅰ) ボタンを押すと「開始年+1」→「開始年」→「設定なし」と進みます。
- [月+] (出Ⅱ) ボタンを押すと月が1ヶ月進みます。(12の次は1に戻ります)
- [日+] (退Ⅱ) ボタンを押すと日が1日進みます。(月最終日の次は1に戻ります)



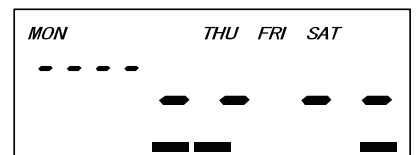
5

[次へ] (徹) ボタンを押し、[完了] (徹) ボタンを押します

- 表示したサマータイム終了日が登録されます。
- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

※設定を無効にしたい場合

出Ⅰもしくは退Ⅰボタンで設定なし(右図参照)にしてください。



メモ

サマータイム開始、終了日の午前 2:00 をまたいで勤務した場合、時間数は正しく集計されません。

時間計算設定カード①、②での設定……

「時間計算設定カード①、②」を使用すると、以下の処理を行うことができます。

まるめ方式／まるめ単位時間の設定

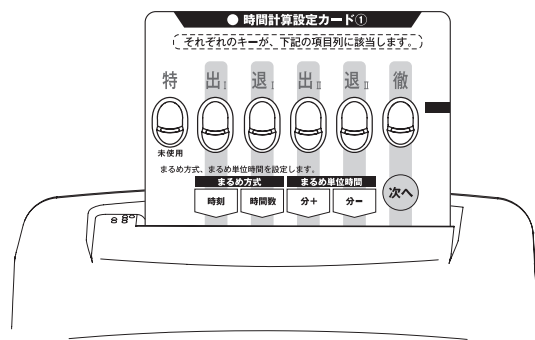
本機は以下の時間数計算時の端数処理(まるめ)を行う機能があります。

まるめ機能には、時刻まるめと時間数まるめの2種類があり、どちらかの処理方法を選択します。個人単位でこの処理機能を分けることはできません。

(時刻まるめと時間数まるめの詳細は 16、17 ページを参照)

1 「時間計算設定カード①」を差し込みます

- ・「まるめ方式」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



2 まるめ方式を設定します

- ・ [時刻] (出Ⅰ) ボタンを押すと、時刻まるめが設定できます。(表示は 1)
(時刻まるめの詳細は 16 ページを参照)

時刻まるめ



- ・ [時間数] (退Ⅰ) ボタンを押すと、時間数まるめが設定できます。(表示は 2)
(時間数まるめの詳細は 17 ページを参照)

時間数まるめ

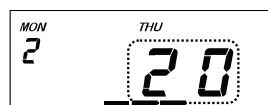


3 まるめ単位を設定します

- ・ [分+] (出Ⅱ) ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が進みます。
「OFF→5分→10分→15分→20分→30分→60分→OFF」
- ・ [分-] (退Ⅱ) ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が戻ります。
「OFF→60分→30分→20分→15分→10分→5分→OFF」

※上記以外の単位を設定することはできません。

※初期値は「OFF (1分単位)」になっています。



4

[次へ] (徹) ボタンを押します

- 設定が登録され、「始業時刻／終業時刻」に進みます。
※計算モードがパートの場合は「深夜帯の開始／終了時刻」に進みます。

5

設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを2回押し、最後に[完了] (徹) ボタンを押します

- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。
※計算モードがパートの場合は、[次へ] (徹) ボタンを1回押し、最後に[完了] (徹) ボタンを押します。

●時間計算設定カード①を使って設定を行なう場合の注意

計算モードがパートに設定されている場合、定時の始業時刻、終業時刻の設定項目はスキップし、次の深夜の開始、終了時刻 (B 帯、C 帯開始時刻) へ進みます。

●時間計算設定カード①

それぞれのキーが、下記の項目列に該当します。

特	出 _I	退 _I	出 _{II}	退 _{II}	徹
未使用					
まるめ方式、まるめ単位時間を設定します。					
まるめ方式		まるめ単位時間		次へ	
時刻	時間数	分+	分-		
始業時刻 (定時開始)		終業時刻 (定時終了)		次へ	
時+	分+	時+	分+		
深夜開始 / B 帯開始		深夜終了 / C 帯開始		次へ	
時+	分+	時+	分+		
休憩 1 開始		休憩 1 終了		完了	
時+	分+	時+	分+		

計算モードがパートの場合、この項目はスキップします。

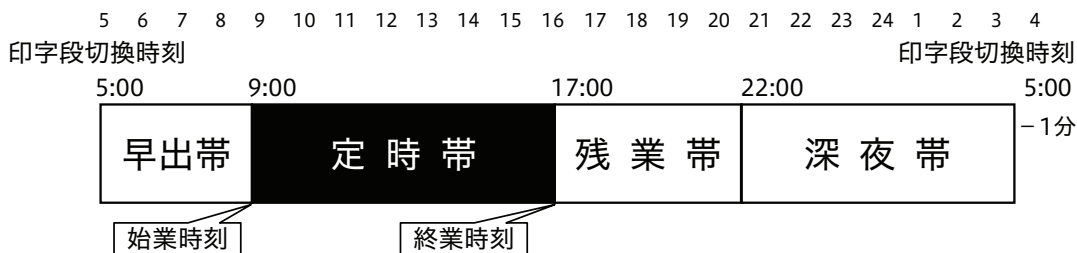
始業時刻・終業時刻の変更

始業時刻と終業時刻の間が社員の「定時帯」となります。

深夜残業帯の設定（22 ページを参照）がない場合、終業時刻から印字段切替時刻の1分前までが残業帯となり、この時間帯の就業を残業時間として集計します。

メモ 初期値は、始業時刻 = 9:00、終業時刻 = 17:00 に設定されています。

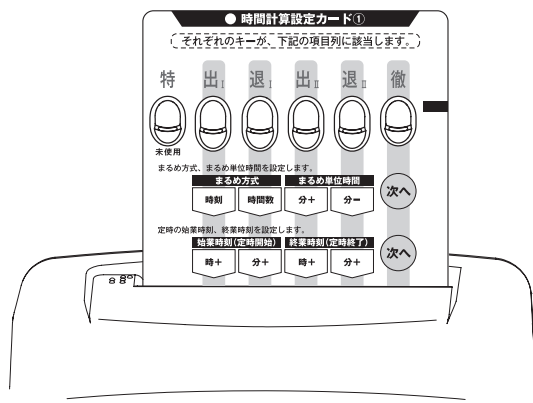
例) 初期値の場合



※月の集計では早出帯の時間数と残業帯の時間数は合計となります。

1 「時間計算設定カード①」の見出しを「始業時刻・終業時刻」に合わせます

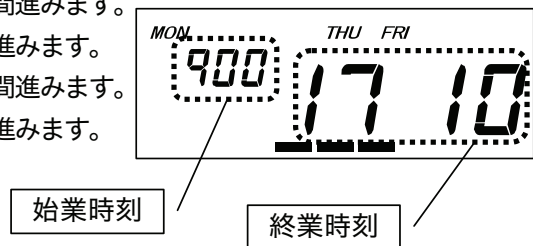
- ・「時間計算設定カード①」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを押します。



2 始業時刻・終業時刻を変更します

- ・ [始業時+] (出I) ボタンを押すと始業時が1時間進みます。
- ・ [始業分+] (退I) ボタンを押すと始業分が1分進みます。
- ・ [終業時+] (出II) ボタンを押すと終業時が1時間進みます。
- ・ [終業分+] (退II) ボタンを押すと終業分が1分進みます。

メモ それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。



3

[次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「深夜開始・深夜終了」に進みます。

4

設定を終了する場合はさらに[次へ] (徹) ボタンを押し、[完了] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

深夜残業帯 / B 帯、C 帯開始時刻の設定

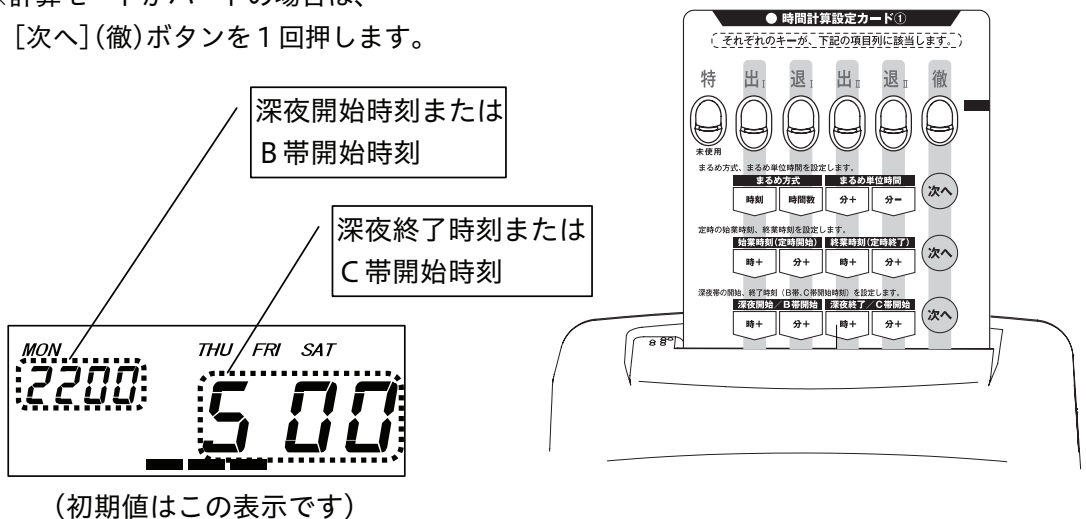
社員モードの深夜残業帯、またはパートモードの B 帯、C 帯の開始時刻を設定する方法です。

(社員モードの深夜残業帯の詳細は 22 ページ、パートモードの B 帯、C 帯の詳細は 28 ページを参照)

1 「時間計算設定カード①」の見出しを「深夜開始・深夜終了」に合わせます

- ・「時間計算設定カード①」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを 2 回押します。

※計算モードがパートの場合は、
[次へ](徹)ボタンを 1 回押します。



(初期値はこの表示です)

2 深夜開始時刻 / B 帯開始時刻、深夜終了時刻 / C 帯開始時刻をそれぞれ設定します

- ・ [深夜開始 / B 帯開始時+] (出Ⅰ) ボタンを押すと深夜開始時または B 帯開始時が 1 時間進みます。
- ・ [深夜開始 / B 帯開始分+] (退Ⅰ) ボタンを押すと深夜開始分または B 帯開始分が 1 分進みます。
- ・ [深夜終了 / C 帯開始時+] (出Ⅱ) ボタンを押すと深夜終了時または C 帯開始時が 1 時間進みます。
- ・ [深夜終了 / C 帯開始分+] (退Ⅱ) ボタンを押すと深夜終了分または C 帯開始分が 1 分進みます。

× モ 深夜残業帯を設定しない場合は“----”を選択してください。

× モ それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

3

[次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「休憩 1 開始・休憩 1 終了」に進みます。

4

設定を終了する場合は、[完了] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

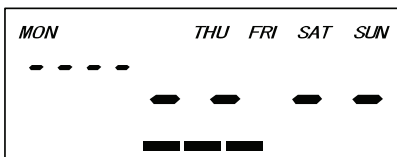
休憩 1 開始時間／終了時間の設定

休憩 1 の開始時間と終了時間を設定する方法です。

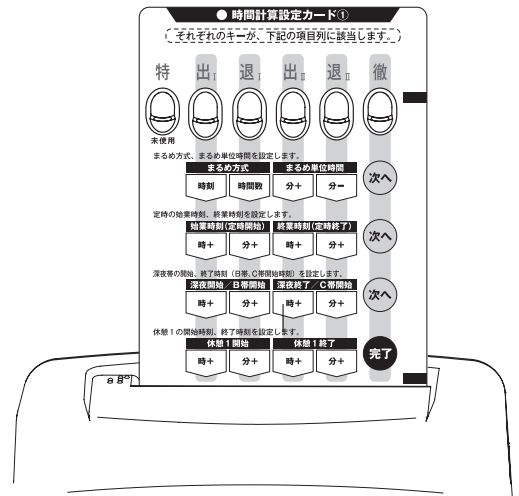
1 「時間計算設定カード①」の見出しを「休憩 1 開始・休憩 1 終了」に合わせます

- ・「時間計算設定カード①」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを 3 回押します。

※計算モードがパートの場合は、
[次へ] (徹) ボタンを 2 回押します。



休憩時間の設定が入っていない
場合の画面表示です



2 休憩 1 を設定します

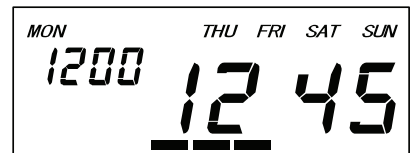
- ・休憩 1 開始の [時+] (出I) ボタンを押すと休憩開始時が 1 時間進みます。

×モ 休憩時間 1 を設定しない場合は “----” を選択してください。

- ・休憩 1 開始の [分+] (退I) ボタンを押すと休憩開始分が 1 分進みます。
- ・休憩 1 終了の [時+] (出II) ボタンを押すと休憩終了時が 1 時間進みます。
- ・休憩 1 終了の [分+] (退II) ボタンを押すと休憩終了分が 1 分進みます。

×モ それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

例：休憩 1 を 12 : 00 から 12 : 45 にした場合



3 [完了] (徹) ボタンを押します

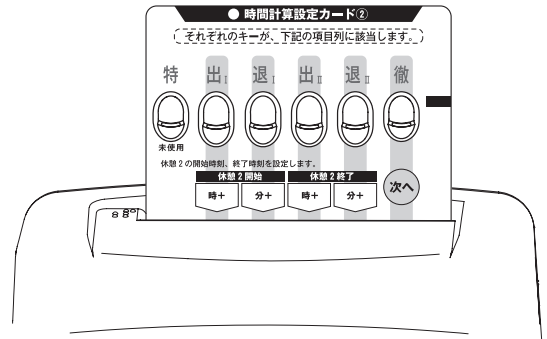
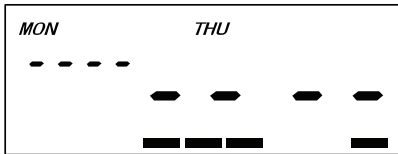
- ・設定が登録され、設定カードが排出されます。

休憩 2 ～ 5 開始時間／終了時間の設定

休憩 2～5 の開始時間と終了時間を設定する方法です。

1 「時間計算設定カード②」を差し込みます

- ・「休憩 2 開始／休憩 2 終了」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



2 休憩 2 を設定します

- ・ 休憩 2 開始の [時+] (出I) ボタンを押すと休憩開始時が 1 時間進みます。

メモ 休憩時間 2 を設定しない場合は “----” を選択してください。

- ・ 休憩 2 開始の [分+] (退I) ボタンを押すと休憩開始分が 1 分進みます。
- ・ 休憩 2 終了の [時+] (出II) ボタンを押すと休憩終了時が 1 時間進みます。
- ・ 休憩 2 終了の [分+] (退II) ボタンを押すと休憩終了分が 1 分進みます。

メモ それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

例：休憩 2 を 15 : 00 から 15 : 10 にした場合



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「休憩 3 開始／休憩 3 終了」に進みます。

《休憩時間帯を複数設定する場合》

4 休憩 3 から休憩 5 の設定は、手順 2、3 を繰り返します

- ・ 設定したい休憩（休憩 3、4、5）が見出しに来るまで[次へ](徹)ボタンを押し、手順 2 と同様の操作で開始・終了時刻を設定→手順 3 と同様に[次へ](徹)ボタン（休憩 5 の場合は[完了](徹)ボタン）を押して、設定を確定します。

5 見出しが「休憩 5」に来るまで[次へ](徹)ボタンを押し、[完了](徹)ボタンを押します

- ・ 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

設定内容エラー.....

こんな設定をするとエラーになります。

設定内容に矛盾があると、エラー音（ピコピコピコピコ）が鳴ります。

以下の例など、設定上の矛盾がないか確認して、矛盾した設定を修正してください。

(→パラメーターエラー一覧：98 ページ)

【 設定の決まり 】

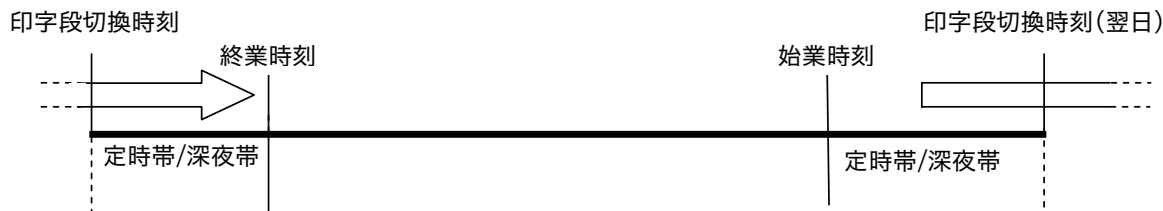
本機で『設定内容エラー』になる代表的な例を説明します。なお、ここで説明する以外でも設定エラーとなる場合があります。

■社員モードの場合

時間帯の設定

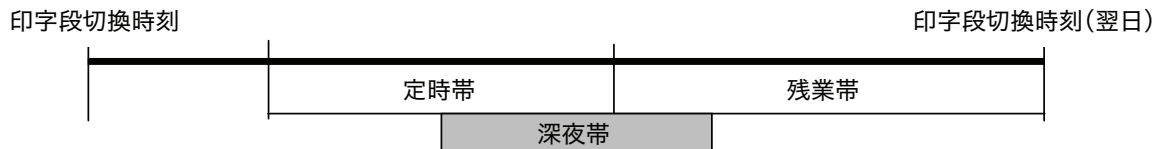
- ① 印字段切換時刻をまたいで定時帯/深夜帯の設定をした場合はエラーとなります。

(エラー表示：Err P-09)



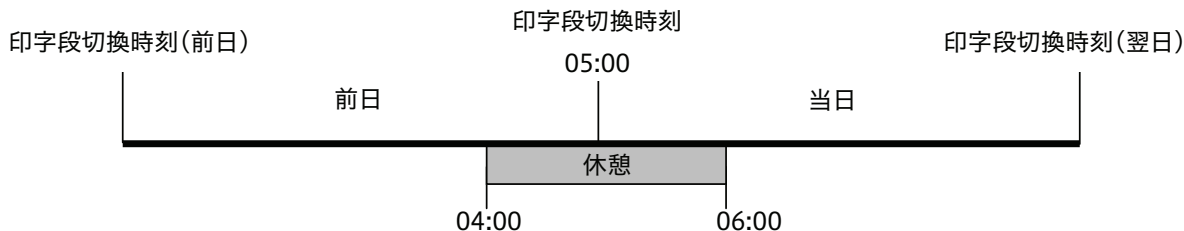
- ② 残業帯"以外"での深夜帯の設定はエラーとなります。残業帯の中で深夜帯を設定してください。

(エラー表示：Err P-06)

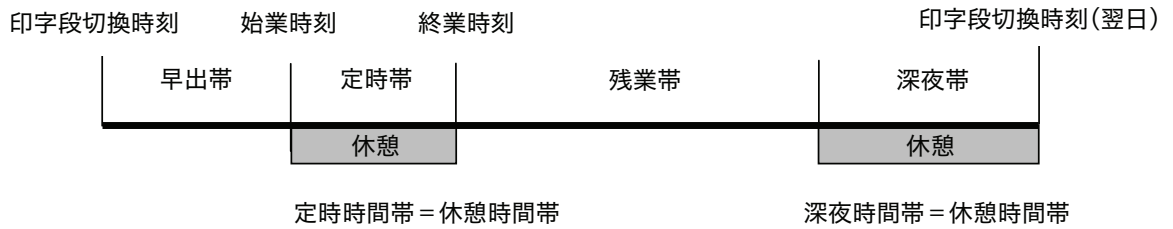


休憩帯の設定

- ① 印字段切換時刻をまたいだ休憩帯の設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-07)



- ② 定時帯／深夜帯と同じ休憩帯の設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-05：04)



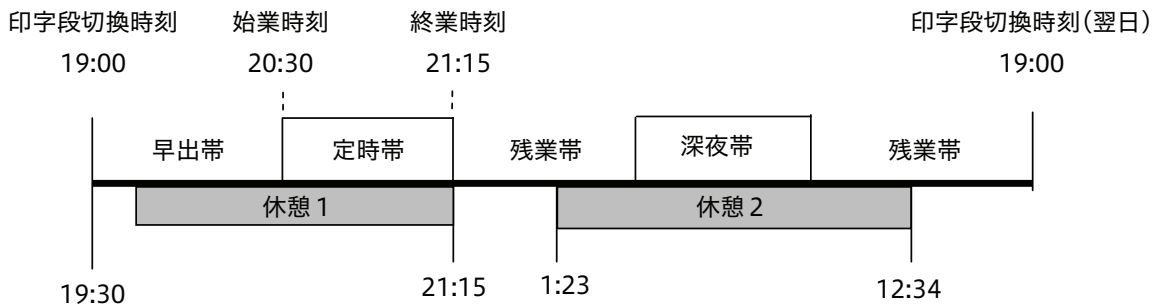
- ③ 休憩帯の連続設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-17)



- ④ 休憩帯の重複設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-17)



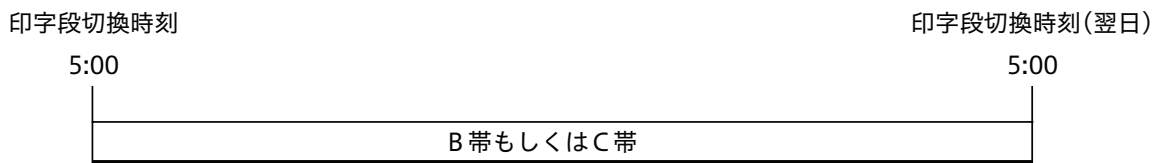
- ⑤ どのような時間帯であれ、定時帯／深夜帯が休憩帯に内包されるような設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-04)



※上記は、定時帯が休憩 1 に内包され、深夜帯が休憩 2 に内包した例です。(この例は設定できません)

■パートモードの場合

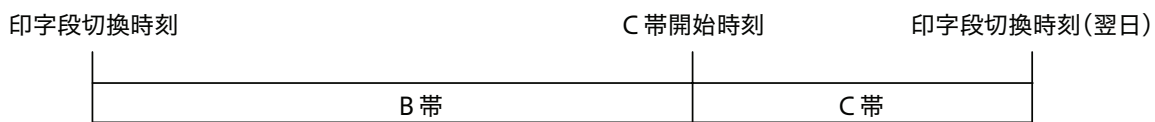
- ① B帯のみまたはC帯のみの設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-16)



※ B帯開始 5:00、C帯開始 5:00 を入力した場合はエラー音（ピッピッピッピッ）となり、登録できません。

※ B帯開始時刻を入れずに「----」のままC帯開始を入力することはできません。

- ② B帯とC帯のみの設定はエラーとなります。(エラー表示：Err P-16)



日常の操作

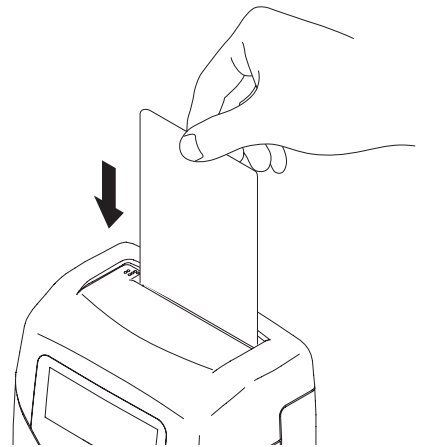
タイムカード(MX・MRX カード)、集計・設定カードの差し込み方や日常のメンテナンスについて説明します。

■カードの差し込みかた■

カードを「カード差し込み口」に2cm 前後差し込むようにして、カードから手を離します。
カードは自動的に引き込まれ、印字されて出てきます。

メモ

- ・カードはまっすぐに差し込んでください。
- ・無理に斜めに差し込んだりすると、印字がずれたり、カードの読み取り不良となります。(→96 ページ)
- ・タイムカードはMX・MRXカードを使用してください。



重要

故障の原因になりますので、次の注意を守ってください。

- ・折れ曲がったカードは使用しないでください。新しいカードに交換してお使いください。但し、それ以前のデータは継続することが出来ませんので、累計時間数を新しいカードに手計算で加算してください。
- ・カードは無理に押し込んだり、引き抜いたりしないでください。
- ・カードにクリップや付箋紙等を付けたまま入れないでください。
- ・指定のカード(MX・MRX カード)以外の物を入れしないでください。

■日常のお手入れ（電源プラグを抜いてから行ってください）■

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



スプレー禁止

可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

注意



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

日常のお手入れ

■普段のお手入れ

ケースの汚れは乾いた柔らかい布（綿・ネルなど）で軽く拭き取ってください。

※硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますのでご注意ください。

特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。

（表面は特殊加工されていますので、ご注意ください）

■汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿・ネルなど）を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。

※本体および電源コード類に有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

■電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れしてください。

（トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラグとの間にスパークが発生し、出火するという火災です）

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

■従業員の操作■

従業員が本機を操作する方法について説明します。

出勤・退勤の操作（計算モードの場合）

各従業員のタイムカード(MX・MRX カード)の打刻回数により、本機が印字欄を自動で判定します。従業員はタイムカード(MX・MRX カード)をカード差し込み口に差し込むだけで打刻できます。

((出Ⅰ)(退Ⅰ)(出Ⅱ)(退Ⅱ)ランプは点灯していません。)

■タイムカード(MX・MRX カード)を差し込みます。

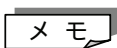
タイムカード(MX・MRX カード)を自動的に引き込み、
印字欄を判定して時刻を印字します。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT
1 木 8:30	17:00	0:30	0:30	
2 木 9:00	16:00		0:30	
3 金 9:10	16:00		0:30	
4 土 9:00	20:00	3:00	3:30	

※ただし、(出Ⅰ)(退Ⅰ)のいずれかのボタンを押して点灯させ、カードを差し込んだ場合は、点灯している欄に印字します。(1 打刻目が出勤欄(いちばん左側の欄)に印字されていて、2 打刻目に(退Ⅰ)ボタンを押した場合は、1 打刻目のすぐ右の欄に印字します)
(出Ⅱ)(退Ⅱ)のいずれかのボタンを押してカードを差し込んだ場合は、E-11 を表示してエラー音(ピー)が鳴り、印字されません。

印字欄自動判定は、1日(印字段切換時刻から次の日の印字段切換時刻の1分前まで)の1回目の打刻を出勤、2回目の打刻を退勤とみなして印字欄を移動します。そのため打刻忘れ等の場合、印字欄自動判定機能では正しい欄に印字されません。

打刻忘れ等で1日の打刻が1回の場合は集計エラーとなり、その日の時間計算はできません。

 ・タイムカード(MX・MRX カード)の表裏を誤ってカードを差し込んだ場合は、E-01 を表示してエラー音(ピコピコピコピコ)が鳴り、印字されません。
(表裏判定機能)

出勤・退勤の操作（打刻のみモードの場合）

「打刻のみモード」（94 ページ参照）に設定した場合も各従業員のタイムカードの打刻回数により、本機が自動的に印字欄を判断します。従業員はタイムカード（MX・MRX カード）をカード差し込み口に差し込むだけで打刻できます。

※タイムカード打刻動作中に該当の出退ランプが点灯します。

メモ （特）、（徹）ボタンは、ランプ点灯中のみ有効です。ボタンを押した後、10 秒間無操作状態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯し、無効となります。

※タイムカード（MX・MRX カード）に打刻時刻を印字するのみで、時間数の計算は行いません。

※使用人数 150 人まで。

1 タイムカード（MX・MRX カード）を差し込みます

タイムカード（MX・MRX カード）を自動的に引き込み、左詰めで印字します。

メモ ・タイムカード（MX・MRX カード）の表裏を誤ってカードを差し込んだ場合は、E-01 を表示してエラー音（ピコピコピコピコ）が鳴り、印字されません。

（表裏判定機能）

徹夜勤務時の操作（退勤打刻時）

本機では、翌日の印字段切換時刻を過ぎて勤務した場合でも、退勤時に(徹)ボタンを押して打刻することで、出勤と同じ日の段に印字し、集計することができます。

例) 印字段切換時刻 = 5:00 で、社員が1日の9:00に出勤し、2日の6:25に退勤した場合

(徹)ボタンを押さずに退勤打刻した場合

	出	退	出	退
	IN	OUT	IN	OUT
1	木 9:00			
2	木 6:25			

印字段切換時刻を過ぎてからの1回目の打刻は出勤打刻とみなされます。

印字段切換時刻までに退勤打刻がなかったため、集計できません。

(徹)ボタンを押して退勤打刻した場合

	出	退	出	退
	IN	OUT	IN	OUT
1	木 9:00	6:25	13:25	13:25

印字段切換時刻を過ぎていても、(徹)ボタンが押されていれば、出勤と同じ日の段に退勤打刻ができ、徹夜を示す“テ”マークが付加されます。

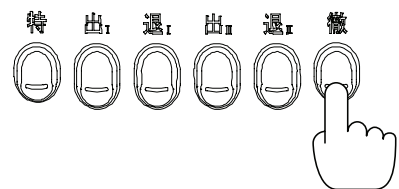
(徹)ボタンを押して退勤打刻した場合は、集計して残業時間(パートの場合、実働時間)の合計を印字します。(集計される時間は設定によって異なります。)

集計される時間 (→87、88 ページ参照)

- ・ **社員の場**合：徹夜分の各時間数は、出勤打刻を含む前日の処理日のデータにそれぞれ加算されます。
- ・ **パートの場**合：日ごとの集計では実働時間の合計を印字します。月ごとの集計では、時間帯ごとの実働時間の累計を印字します。

1 (徹)ボタンを押して点灯させます

社員モードまたはパートモードの場合は、退Ⅰのみ徹夜ボタンの指定が有効となります。出Ⅰで徹夜ボタンを押した場合には(E-10:ボタン無効エラー)となります。



「打刻のみモード」(94 ページ参照) に設定した場合は退Ⅰと退Ⅱで徹夜ボタンが有効となり印字できますが、時間数の計算はされません。

エラーの場合、無効状態で徹夜ボタンを押して、打刻した場合、エラーE-10:ボタン無効エラーとなります。

社員/パートモードでは退Ⅰの打刻時に有効となります。

打刻のみモードでは退Ⅰもしくは退Ⅱの打刻時に有効となります。

2 タイムカード(MX・MRXカード)を差し込みます

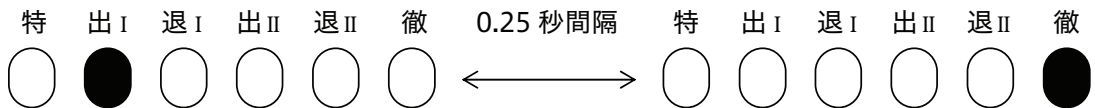
タイムカード(MX・MRXカード)を自動的に引き込み、出勤時と同じ日付段に打刻します。

(徹)ボタンを押さずにタイムカード(MX・MRXカード)を挿入した場合は、徹夜とはみなさ
ないで出Iとして打刻を行います。

メモ

- ・徹夜処理は(徹)ボタンを押して打刻した人にも有効です。(次の人に継続され
ません)
- ・(徹)ボタンはランプ点灯中のみ有効です。ボタンを押した後、10秒間無操作状
態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯し、無
効となります。
- ・1回の勤務で印字段切換時刻を2回またぐ処理(2連続徹夜)はできません。
- ・(徹)ボタンと(特)ボタンが同時に押されていた場合は、“ツ”を付加します。
※この場合、実際の日付にかかわらず、その勤務(出勤から退勤まで)がすべて
特別日の勤務として集計されます。

徹夜退勤の検知設定(39ページ参照)が「ON」に設定されている場合、以下の動きをします。
ブザー音をピーと鳴らしながらカードを排出し、LEDを10秒間、以下のように交互に点滅
させてユーザーにボタンの指定を促します。



※●は点灯を、○は消えていることを意味する。

※徹夜の場合には徹夜ボタンを押下してタイムカード(MX・MRXカード)を入れてください。

※LEDが交互点滅中に、出退ボタンを選択しないでタイムカード(MX・MRXカード)を再
び挿入すると、出Iに決定し印字をします。

※上記は「徹夜退勤の検知」がONに設定されている場合のみ機能します。

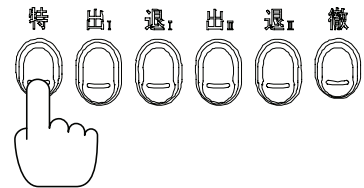
「特別日」勤務時の操作（出勤時）

休日・祝日等、特定の日の勤務を通常の勤務と区別して集計したい場合の操作です。

(特)ボタンを押して打刻した場合は、その日は特別日として集計されます。

(特別日の詳細は、社員モードの場合は 25 ページ、パートモードの場合は 29 ページ参照)

1 出勤または退勤打刻時に(特)ボタンを押して点灯させます



2 タイムカード(MX・MRX カード)を差し込みます

タイムカード(MX・MRX カード)を自動的に引き込み、時刻の右に「ト」を付加して印字します。

	出	退	出	
	IN	OUT	IN	
16				
17				
18	9:00ト	17:00ト	7:00	7:00
19	9:00ト	6:00ト	20:00	27:00
20	9:00ト	17:00	1:00	28:00

社員の場合、通常は残業合計時間を印字しますが、特別日に指定した場合は、実働時間を印字します。

“ト”マークを付加

日々の便利機能

日ごとの集計印字

本機では、日ごとに社員は残業時間、パートは実働時間を集計して印字します。

「打刻のみモード」(94 ページ参照) に設定した場合は集計されません。

■ 1日の打刻数が1回の場合は集計エラーとなり、集計されません。

印字例

社員の場合

年	月	分	0002009			
NO.	氏名					
所属						
タイムカード TIME CARD						
	出	退	出	退		
	IN	OUT	IN	OUT		
16	木 9:00	17:00		0:00		
17	金 9:03	17:00		0:00		
18	土 9:00	17:00	7:00	7:00		
19	日 9:00	6:00	20:00	27:00		
20	月 8:00	17:00	1:00	28:00		
21	火 9:00	18:01	1:01	29:01		
22	水 9:00	16:00				
23	木 9:00	6:00	13:00	42:01		
24	金 9:00	6:00	20:00	62:01		
26		X 6:00				
27	日 9:00	17:00		62:01	※1	
28	月 9:00	X 7:00				
29	火 9:00	17:00		62:01		

始業時刻後の出勤(遅刻)には“チ”の印字が付加されます。

(特) ボタンを押して退勤打刻した場合、その日の実働時間数を印字します。

残業時の退勤打刻では、退勤時刻に“ザ”の印字を付加し、集計欄に残業時間数を印字します。

(徹) ボタンと(特) ボタンの両方を押して打刻すると、“ツ”の印字が付加されます。

終業時間前の退勤(早退)には“ソ”の印字が付加されます。

出勤を打ち忘れて、退勤時に退勤I ボタン押下にて打刻することで退勤時刻の前に×印字し、その後の日次時間数印字および月次の累計印字(4 欄)には全てアンダーライン^{※1}が印字されます。

(徹) ボタンを押して退勤打刻すると、“テ”の印字を付加して集計し、残業時間数を集計欄に印字します。

1日の早出・残業時間数を印字します。

累計時間数を印字します。

《パートの場合》

出勤を打ち忘れて、退勤時に退勤Iボタン押下にて打刻することで退勤時刻の前に×印字し、その後の日次時間数印字および月次の累計印字(4欄)には全てアンダーライン^{※1}が印字されます。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT		
15木	9:00	18:00	8:00	8:00		
		× 6:00				
18土	9:00	18:00	8:00	<u>16:00</u>	※1	
19日	9:00	18:00	8:00	<u>24:00</u>		
20月	9:00	7:01	21:01	<u>45:01</u>		
21火	9:00	6:00	20:00	<u>65:01</u>		
22水	9:00	6:00	20:00	<u>85:01</u>		

日ごとの実働時間数を印字します。

累計時間数を印字します。

時刻が改ざんされた場合の印字

設定操作〔時計設定カードの時計あわせの操作(56ページ)〕で時刻を5分以上変更(改ざん)した場合、変更直後の1回目の打刻のみ、印字された時刻の“時”の数字の大きさを小さくし、アンダーラインを付加して印字します。(ただし、変更前の正しい時刻に時計の設定を戻した場合は改ざんを示す印字はされず、通常どおりの印字となります。)

通常の時刻印字

8:12

改ざんされた場合の印字

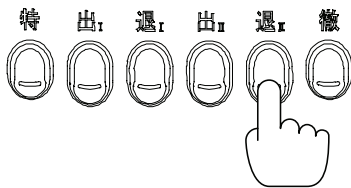
8:12

社員総残業時間・パート総労働時間の表示 (表示のみ)

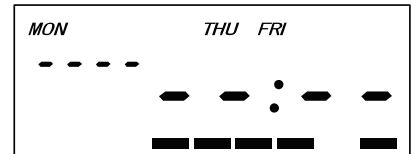
前日、当日それぞれの、打刻した社員全員の残業時間の合計、打刻したパート全員の労働時間の合計を表示することができます。(印字はされません)

この表示機能を頻繁にお使いになる場合は、次の設定カードを使用しない操作方法での運用をお奨めします。

1 (退Ⅱ)ボタンを3秒間押します



3秒経過して指を離すと液晶表示はこのようになります。

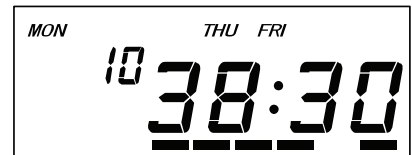


2 表示したい内容のボタンを押します

社員モードまたはパートモードの場合：

- ・(出Ⅰ)ボタンを押すと、前日打刻した社員の残業時間またはパートの総労働時間の合計を表示します。
- ・(退Ⅰ)ボタンを押すと、当日打刻した社員の残業時間またはパートの総労働時間の合計を表示します。

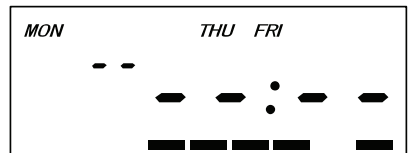
例：1038 時間 30 分の場合



※(特)ボタンを押して打刻した社員またはパートがいる場合は、1日の実働時間が合計に含まれます。

打刻のみモードの場合：

時間は表示されません。



メモ

- ・当日、退勤していない従業員がいる場合、当日の実績時間は正しく表示されません。
- ・当日、設定を変更した場合、正しく表示されない場合があります。
- ・また、時計を過去や未来の日時に変更して打刻した場合、上記の時間数は0になることがあります。

3 設定を終了する場合は、(徹)ボタンを押します

- ・設定が終了し、現在時刻が表示されます。

《設定カードを使って設定する場合》

1 「締日2登録カード／実績確認カード」の見出しを「総時間数表示」に合わせます

- ・「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを押します。

2 表示したい内容のボタンを押します

社員モードまたはパートモードの場合：

- ・[総時間数表示 前日] (出I)ボタンを押すと、前日打刻した社員の残業時間またはパートの総労働時間の合計を表示します。
- ・[総時間数表示 当日] (退I)ボタンを押すと、当日打刻した社員の残業時間またはパートの総労働時間の合計を表示します。

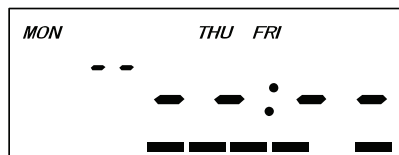
例：1038時間30分の場合



※(特)ボタンを押して打刻した社員またはパートがいる場合は、その社員またはパートの1日の実働時間が合計に含まれます。

打刻のみモードの場合：

時間は表示されません。



メモ

- ・当日、退勤していない従業員がいる場合、当日の実績時間は正しく表示されません。
- ・当日、設定を変更した場合、正しく表示されない場合があります。
- ・また、時計を過去や未来の日時に変更して打刻した場合、上記の時間数は0になることがあります。

3 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを押し、最後に[完了](徹)ボタンを押します

- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

毎月の操作

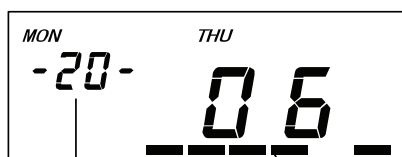
締日2のカード登録のしかた

タイムカード(MX・MRXカード)を締日2に登録する方法です。

締日1だけでご使用になる場合には締日2のカード登録の操作は必要ありません。

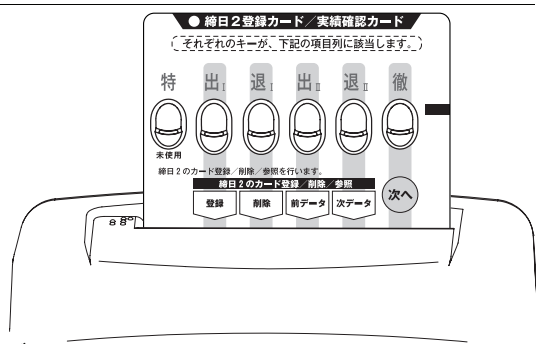
1 「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込みます

- ・「締日2のカード登録／削除／参照」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



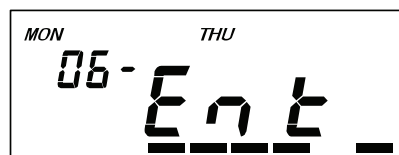
締日2の日付が表示されます。

締日2登録済カード枚数が表示されます。

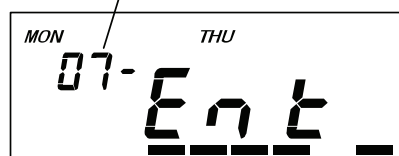


2 カードを登録します

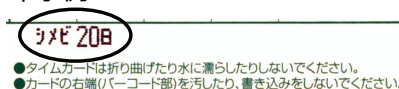
- ・[登録] (出I) ボタンを押すと「締日2登録カード／実績確認カード」が排出されます。
- ・新しいタイムカード(MX・MRXカード)のおもて面(青)を手前にして差し込みます。
- ・締日2に登録され、タイムカード(MX・MRXカード)が排出されます。登録されると、タイムカード(MX・MRXカード)には締日2の登録内容が印字されます。
- ・他のタイムカード(MX・MRXカード)に登録をする場合は、続けて新しいタイムカード(MX・MRXカード)を差し込みます。



登録されるとカウントが1つ上がります。



印字例



※登録済みのタイムカード(MX・MRXカード)を差し込むとエラーになります。

※最大登録枚数は社員モードまたはパートモードの場合は120枚、打刻のみモードの場合は150枚までです。この枚数以上の登録を行おうとするとエラー(E-22)となります。

3 操作を終了します

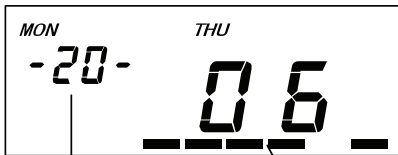
- ・いずれかのボタンを押すか、「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込むと操作を終了し、現在時刻を表示します。

締日2のカード削除のしかた

締日2に登録したタイムカード(MX・MRXカード)の登録を削除する方法です。
締日1だけでご使用になる場合には締日2のカード登録の操作は必要ありません。

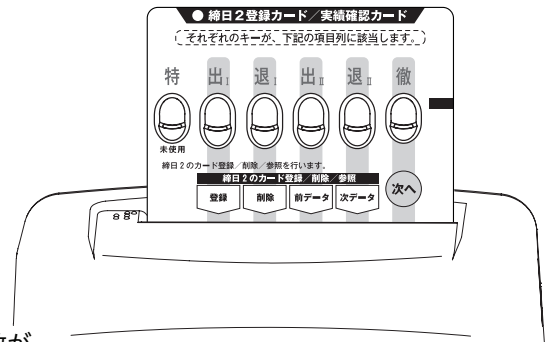
1 「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込みます

- ・「締日2のカード登録／削除／参照」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



締日2の日付が表示されます。

締日2登録済カード枚数が表示されます。



2 登録を削除します

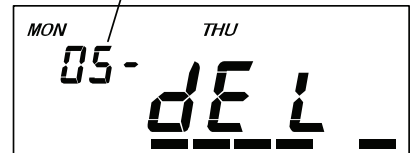
- ・[削除] (退1) ボタンを押すと「締日2登録カード／実績確認カード」が排出されます。



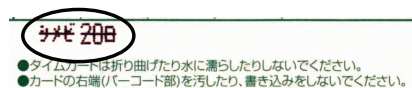
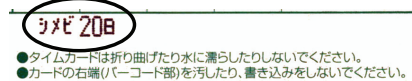
削除されるとカウントが1つ減ります。

- ・登録済みのタイムカード(MX・MRXカード)を差し込みます。
- ・差し込まれたタイムカード(MX・MRXカード)のカードナンバーがメモリーから削除されます。
- ・タイムカード(MX・MRXカード)の締日2の印字箇所*1に一線が引かれます。
- ・タイムカード(MX・MRXカード)が排出されます。
- ・他のタイムカード(MX・MRXカード)の登録を削除する場合は、続けて登録済みのタイムカード(MX・MRXカード)を差し込みます。

※未登録のタイムカード(MX・MRXカード)を差し込むとエラーになります。



印字例



3 操作を終了します

- ・いずれかのボタンを押すか、「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込むと操作を終了し、現在時刻を表示します。

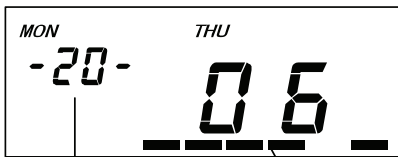
締日2のカード参照のしかた

締日2に登録したタイムカード(MX・MRXカード)のカードナンバー(右上に印字されている数字7桁の番号)です。詳細は108ページを参照)を表示で確認する方法です。

締日1だけでご使用になる場合には締日2のカード登録の操作は必要ありません。

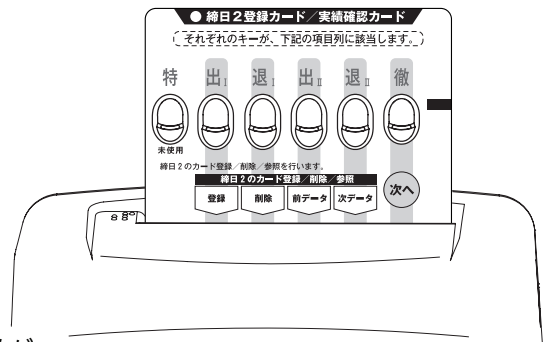
1 「締日2登録カード/実績確認カード」を差し込みます

- 「締日2のカード登録/削除/参照」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



締日2の日付が表示されます。

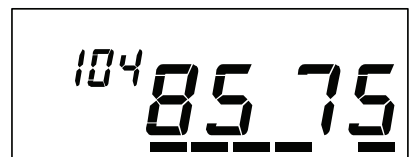
締日2登録済カード枚数が表示されます。



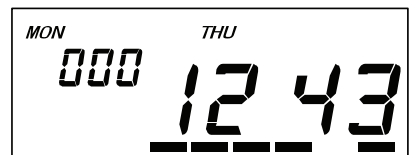
2 登録を確認します

- [前データ] (出II) ボタンを押すたびに、締日2登録済みのカードナンバーが大きいものから順に表示されます。

※右図はカード No1048575 の表示例です。

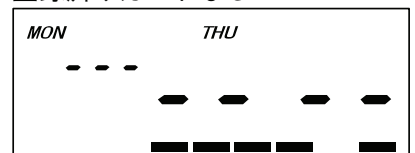


- [次データ] (退II) ボタンを押すたびに、締日2登録済みのカードナンバーが小さいものから順に表示されます。



- 締日2登録済みのカードがない場合は、右の表示になります。

登録済みカードなし



3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- 「総時間数表示」に進みます。

4 終了する場合は、[次へ] (徹)ボタンを押し、最後に[完了] (徹)ボタンを押します

- 設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

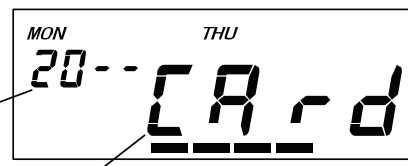
前月集計印字のしかた

※打刻したタイムカード(MX・MRXカード)を紛失した場合は、集計できません。
 打刻したタイムカード(MX・MRXカード)を折り曲げたり、汚したりすると集計できない場合があります。(108ページ参照)

1 「前月集計用カード」を差し込みます

- ・「前月集計用カード」を差し込むと、カードを排出し、右の表示になります。
- ・「前月集計用カード」を抜き取ってください。

前月の打刻(登録)カード枚数



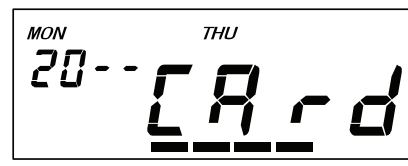
表示が点滅します。

2 前月使用したタイムカード(MX・MRXカード)を差し込み、集計印字します。

- ・前月のタイムカード(MX・MRXカード)のうら面(オレンジ色の印刷面)を手前にして差し込むと、集計結果を印字して排出します。(連続して次のカードの集計印字ができます)

3 操作を終了します

- ・右の表示のときにいずれかのボタンを押すか、「前月集計用カード」を差し込むと操作を終了し、現在時刻が表示されます。カードは自動排出されます。



メモ 打刻忘れ等で、日ごとの集計ができなかった日がある場合、集計欄に印字される数字にはすべてアンダーラインが付加されます。

	出	退	出	退		
	IN	OUT	IN	OUT		
1本	9:00	18:30	1:30	1:30		
2本	9:00					

退勤打刻が無いまま集計

	シフト	07.03	10:37	ピンダウ
就業	7:00	2	1:30	1
退勤	0:00	0	0:00	0
深夜	0:00	0	0:00	0

0:00のように全項目の数字の下部にアンダーラインが印字されます。

集計結果はここに印字されます。

集計結果の印字例

《計算モードを社員で設定したタイムカード(MX・MRXカード)の集計欄》

集計欄	集計項目	説明
①テヅ (H)	所定内時間数	平日の定時間帯に働いた時間数
②ハヤガ (H)	早出残業時間数	平日の早出と普通残業の合計時間数
③ソヤ (H)	深夜残業時間数	平日の深夜残業時間数
④トクビ (H)	休出時間数	休出に働いた時間数
⑤トクソ (H)	休日深夜時間数	休日深夜に働いた時間数
⑥チソウ (H)	遅刻／早退時間数	遅刻と早退の合計時間数
⑦テヅ (日)	平日就業日数	平日に働いた日数 ※翌日に徹夜退勤している場合には、退勤した日はカウントしないで、出勤した方の日だけを1日とカウントします。
⑧ハヤガ (日)	早出残業日数	早出残業時間数が算出された平日の日数 ※その当日に早出残業と深夜残業の両方も計算されている場合は、深夜残業にカウントされます。
⑨ソヤ (回)	深夜残業日数	平日の深夜に残業した日数
⑩トクビ (回)	休日出勤日数	休日に働いた日数 ※翌日に徹夜退勤している場合には、退勤した日はカウントしないで、出勤した方の日だけを1日とカウントします。
⑪トクソ (日)	休日深夜日数	休日深夜時間に働いた日数
⑫チソウ (日)	遅刻／早退日数	遅刻と早退の合計日数 ※同じ日に遅刻と早退をした場合は、2日となります。
⑬	計算モードが社員ならソヤと印字されます。	
⑭	集計印字した月日時分が印字されます。	
⑮	集計月の区分が前月ならゼツ、当月ならトクと印字します。	

《計算モードをパートで設定したタイムカード(MX・MRX カード)の集計欄》

①	⑭	⑦	⑮	⑯	②	⑬	⑧
①		②		③		④	
就業 A	32:58	6	早残 B	20:04	6	深夜 /C	H 日
③	⑤	⑨	⑪	④	⑥	⑫	⑩
③	⑤	⑨	⑪	④	⑥	⑫	⑩
遅早 C	0:00	0	休出 A	6:00	1	休深 /休B	H 日
私外 B	4:06	1	徹夜 C	0:00	0		月

集計欄	集計項目	説明
①A(H)	平日A帯時間数	平日のA帯に働いた時間数
②B(H)	平日B帯時間数	平日のB帯に働いた時間数
③C(H)	平日C帯時間数	平日のC帯に働いた時間数
④トA(H)	休日A帯時間数	休日のA帯に働いた時間数
⑤トB(H)	休日B帯時間数	休日のB帯に働いた時間数
⑥トC(H)	休日C帯時間数	休日のC帯に働いた時間数
⑦A(日)	平日A帯日数	平日のA帯に働いた日数
⑧B(日)	平日B帯日数	平日のB帯に働いた日数
⑨C(回)	平日C帯日数	平日のC帯に働いた日数
⑩トA(日)	休日A帯日数	休日のA帯に働いた日数
⑪トB(回)	休日B帯日数	休日のB帯に働いた日数
⑫トC(日)	休日C帯日数	休日のC帯に働いた日数
⑬デ(日)	出勤日数	平日と特別日に働いた日数
⑭計算モードがパートならパートと印字されます。		
⑮集計印字した月日時分が印字されます。		
⑯集計月の区分が前月ならゼン、当月ならトと印字します。		

当月集計印字のしかた

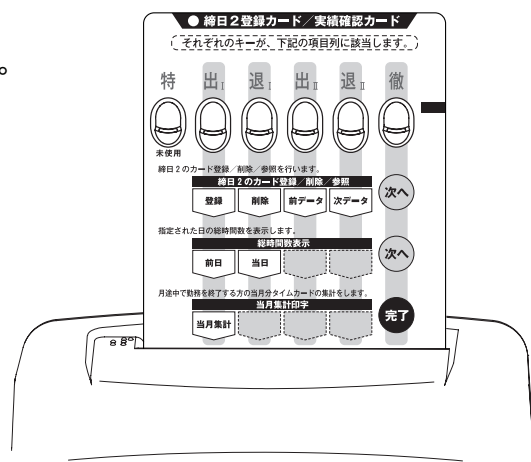
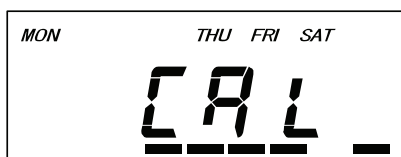
月の途中で勤務を終了する従業員がいる場合等の当月分の集計印字を行います。

- メモ** 締日の当日までは当月集計の操作を行います。
締日が過ぎてからは前月集計の操作を行います。

※打刻したタイムカード(MX・MRXカード)を紛失した場合は、集計できません。
打刻したタイムカード(MX・MRXカード)を折り曲げたり、汚したりすると集計できない場合があります。(108 ページ参照)

1 「締日2登録カード／実績確認カード」の見出しを「当月集計印字」に合わせます

- 「締日2登録カード／実績確認カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを2回押します。

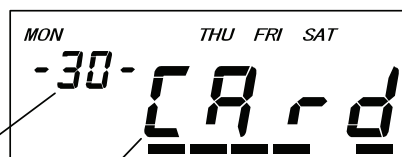


2 [当月集計](出I)ボタンを押します

- 「締日2登録カード／実績確認カード」が排出されますので、抜き取ってください。
この時、右図の表示となります。

当月の打刻(登録)カード枚数

表示が点滅します。

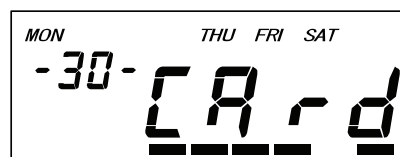


3 当月使用中のタイムカード(MX・MRXカード)を差し込み、集計印字します

- 当月のタイムカード(MX・MRXカード)を差し込むと、集計結果を印字して排出します。
(連続して次のカードの集計印字ができます)

4 操作を終了します

- ・右の表示のときにいずれかのボタンを押すか、「縮日2登録カード／実績確認カード」を差し込むと、操作を終了し、現在時刻を表示します。カードは自動排出されます。



メモ

- ・当月中に何らかの設定変更をした場合、正しく集計されない場合があります。
- ・印字欄は、前ページの「前月集計印字のしかた」と同じです。

※「集計対象月」部分には下の様な印字となります。

- ・社員モードの場合は“トウゲツ”
- ・パートモードの場合は“トウ”

集計カードを紛失した場合.....

万一、前月集計用カード、締日2登録カード/実績確認カードをなくした場合でも、以下の操作ができます。

・前月集計操作.....	1	→	A	→	2
・当月集計操作.....	1	→	B	→	2
・締日2のカード登録操作.....	1	→	C	→	2
・締日2のカード削除操作.....	1	→	D	→	2
・締日2のカード参照操作.....	1	→	E	→	2

の手順に従ってください。



注意!

・緊急の際の操作方法です。集計カードがある場合は、必ずカードを使用して操作を行なってください。

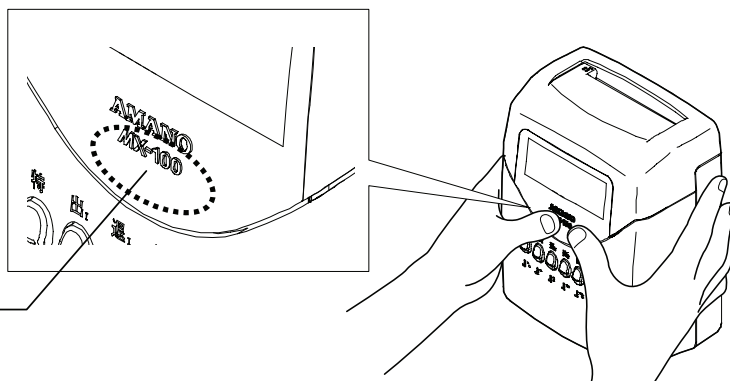
1 電源が入った状態で本体上部の上ケースを開けます

お願い

上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、机などの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取り除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

- ・ 図のようにケース中央部を親指で少し強めに押し上げるようにします。

ここを親指で押します。



- ・ 上ケースを開けると右の表示 (open) が点滅します。



A 前月集計操作

- ① (出 I) ボタンを 2 秒以上押します。
- ② 前月集計操作の設定画面を表示します。
- ③ 上ケースを閉めます。
- ④ 前月集計操作をします。(86 ページの手順 2 参照)

→手順 **2** へ

B 当月集計操作

- ① (退 I) ボタンを 2 秒以上押します。
- ② 当月集計操作の設定画面を表示します。
- ③ 上ケースを閉めます。
- ④ 当月集計操作をします。(89 ページの手順 2、3 参照)

→手順 **2** へ

C 締日 2 のカード登録操作

- ① (出Ⅱ) ボタンを 2 秒以上押します。
- ② 締日 2 のカード登録操作の設定画面を表示します。
- ③ 上ケースを閉めます。
- ④ 締日 2 のカード登録操作をします。(84 ページの手順 2 参照)

→手順 **2** へ

D 締日 2 のカード削除操作

- ① (退Ⅱ) ボタンを 2 秒以上押します。
- ② 締日 2 のカード削除操作の設定画面を表示します。
- ③ 上ケースを閉めます。
- ④ 締日 2 のカード削除操作をします。(85 ページの手順 2 参照)

→手順 **2** へ

E 締日 2 のカード参照操作

- ① (出Ⅱ) と (退Ⅱ) ボタンを 2 秒以上押します。
- ② 締日 2 のカード参照操作の設定画面を表示します。
- ③ 締日 2 のカード参照操作をします。(86 ページの手順 2、3 参照)

→手順 **2** へ

2 操作を終了します

- ・ いずれかのボタンを押すと操作を終了し、現在時刻を表示します。

こんな使い方もできます.....

打刻のみモードの設定のしかた

タイムカード(MX・MRXカード)に打刻時刻を印字するのみで、就業時間の集計は行いません。打刻回数によってタイムカード(MX・MRXカード)の印字欄は自動で移動します。

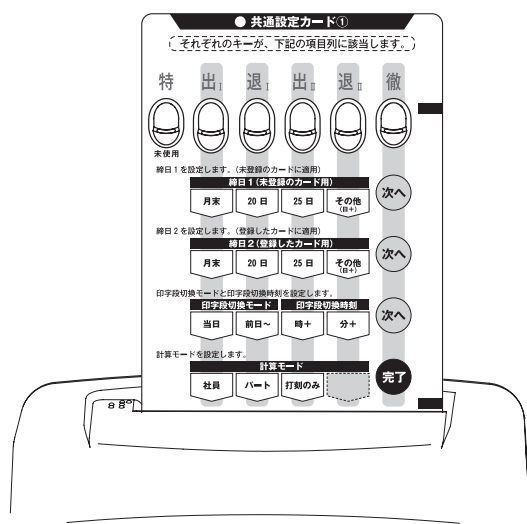
全従業員が打刻の都度、印字欄を確認してください。

※「打刻のみモード ON」に設定すると、社員モード、パートモードの設定はすべて無効となります。

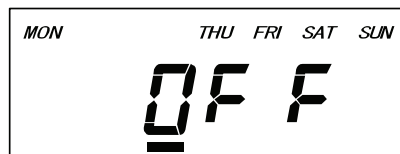
※使用人数 150人まで。

1 「共通設定カード①」の見出しを「計算モード」に合わせます

- ・「共通設定カード①」を差し込み、[次へ] (徹) ボタンを3回押します。



2 [打刻のみ] (出II) ボタンを押します



3 [完了] (徹) ボタンを押します

- ・打刻のみモードに設定されます。
- ・設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

こんなときには.....

故障かな?と思ったときにご覧ください。

現象	原因と処置
カードが入らない	停電中。→復電するまでお待ちください。 電源プラグが抜けている。→電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。
印字しないで排出する	カードの表裏を間違えて差し込んだ。→反対の面のタイムカード(MX・MRXカード)を差し込んでください。 カード差し込みの失敗。→軽く押し気味にカード差し込み口にタイムカード(MX・MRXカード)を差し込んでください。
時計が進んでいる (時計が遅れている)	時計合わせの間違い。→時計を合わせてください(56ページ)
日付が違う	日付合わせの間違い。→日付を合わせてください(57ページ)
印字が薄い	リボンカセットの寿命。→リボンカセットを交換してください。(99ページ)
印字が欠ける	リボンカセットの装着ミス。正しくリボンカセットをセットしてください。(99ページ)
印字する段が異なる	締日設定の間違い。→締日を設定し直してください。(32ページ) 印字段切換時刻の合わせ間違い。→印字段切換時刻を合わせてください。(36ページ)
数字の印字が流れる	使い方の誤り。→印字中にカードを引き抜くと故障の原因になります。
時の印字が小さい	出勤打刻にマーク(“ト”“チ”など)が付加されている。 →故障ではありません。 時刻を修正した。→時刻を修正すると印字が小さくなります。故障ではありません。
表示器にエラーコード (E-XX)を表示する	96ページをご覧ください。
表示器にエラーコード (P-XX)を表示する	98ページをご覧ください。

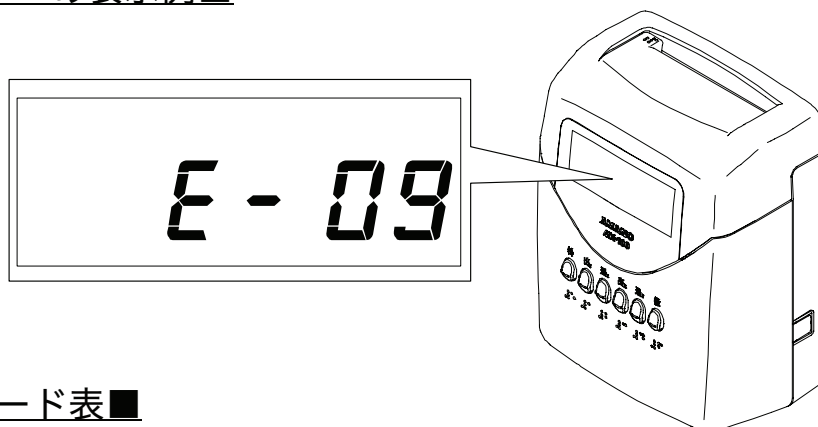
エラー表示と対処のしかた

本機にエラーが発生するとエラー音（ピコピコピコ音またはピーピーピー音）が鳴ります。エラーの内容によっては表示器にエラーコード（E-XX）を表示します。

また、設定時に設定値（パラメータ）に矛盾がある場合は、パラメータエラーとなり、エラーコード（P-XX）を表示するとともに、エラー音（ピー）が鳴ります。

この場合、各エラーコード表を参照し、エラー原因を確認してください。

■E-09 エラーの表示例■



■エラーコード表■

- * 特定タイムカード(MX・MRX カード)のみでエラー表示する場合は、新しいカードと取り替えてください。
- * また、どのタイムカード(MX・MRX カード)でも、同じエラーコードが表示される場合は、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。(表紙を参照してください)
- * 機械に起因すると思われるエラーが発生した場合、いったん電源コンセントから電源プラグを抜いて、10秒程度してから、再度、電源プラグを差し込むと復帰する場合があります。復帰しない場合はエラーコードを確認のうえ、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。(表紙を参照してください)

エラーコード	エラー内容 および 対処のしかた
E-02 E-03 E-04 (機械動作Iエラー)	機械動作エラー（メモリエラー、プリンターエラー等）です。電源コンセントから電源プラグを抜き、10秒程度してから再度、電源プラグを差し込んでください。 復帰しない場合はエラーコードを確認のうえ、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。
E-01 E-05 E-06 E-07 E-08 E-09 (タイムカードIエラー)	カードの表裏を確認し、まっすぐにカード差し込み口にもう1度さし込んでください。 タイムカード(MX・MRXカード)に傷や破れなどがある場合は、タイムカード(MX・MRXカード)を新しいものと取り換えてください。
E-10 (ホタル未選択Iエラー)	出勤Ⅰ・退勤Ⅰ・出勤Ⅱ・退勤Ⅱボタンのいずれかを選択してから、タイムカード(MX・MRXカード)を再度差し込んでください。

エラーコード	エラー内容 および 対処のしかた
E-11 (ボタンの無効エラー)	出勤Ⅱ・退勤Ⅱボタン無効エラーです。社員モード、パートモード時に使用できない出勤Ⅱ・退勤Ⅱボタンを押した場合に出ます。ボタンを押さずにタイムカード(MX・MRXカード)を再度差し込んでください。
E-12 (無効カードエラー)	無効のカードを差し込みました。正しいタイムカード(MX・MRXカード)を差し込んでください。
E-13 (カード引抜きエラー)	カードの引き抜き方に問題があります。タイムカード(MX・MRXカード)を再度、差し込み直してください。カードが上昇するまで引き抜かないでください。
E-14 (カード取り損ねエラー)	打刻した後、5秒以内に同じタイムカード(MX・MRXカード)を差し込みました。5秒たってから、タイムカード(MX・MRXカード)を差し込んでください。
E-15 (打刻数エラー)	社員・パートモードで2打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。打刻のみモードで4打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。
E-16 (重打ち防止エラー)	出勤打刻済みカードで、再度出勤ボタンを押してカードに印字しようとした。既に印字済みの欄に重ね打ちはできません。他のボタンを押してください。退勤Ⅰ・出勤Ⅱ・退勤Ⅱ打刻済みの場合も同様です。
E-17 (時計逆進エラー)	時計を戻して打刻しようとした。時計を正しい時刻に合せなおしてください。
E-18 (計算モード相違)	計算モード相違エラーです。月の途中で計算モードを変更した場合に発生します。新しいタイムカード(MX・MRXカード)に換えてご使用ください。
E-19 (徹夜処理エラー)	既に今日の出勤等の打刻をしてしまった場合、前日の徹夜打刻はできません。なお、退勤の場合のみ徹夜打刻ができます。
E-20 (再登録エラー)	登録済みのカードを再登録しようとした。
E-21 (該当データなしエラー)	該当するデータがありません。
E-22 (登録件数エラー)	登録件数が上限を超えました。 通常打刻にて社員・パートモードは61枚以上、打刻のみモードは151枚以上の打刻はできません。 締日2登録にて、社員・パートモードは121枚以上、打刻のみモードは151枚以上の登録はできません。
E-23 (同一カードNo.エラー)	締日の設定変更により、同じカードNo.の2件の異なるデータが発生しました。新しいタイムカード(MX・MRXカード)を使ってください。
E-71 E-72 (タイムカードエラー)	カードの表裏を確認し、まっすぐにカード差し込み口にもう1度差し込んでください。タイムカード(MX・MRXカード)に傷や破れなどがある場合は、タイムカード(MX・MRXカード)を新しいものと取り換えてください。

*設定操作において、入力する設定値（パラメータ）に矛盾があると、以下のパラメータエラーとなります。

エラーコード	パラメータエラー内容 および 対処のしかた
P-01	1) 残業帯をまたいで休憩 1~5 開始時刻と休憩 1~5 終了時刻を設定しようとした。
P-02	1) 早出帯をまたいで休憩 1~5 開始時刻と休憩 1~5 終了時刻を設定しようとした。
P-03	1) 早出帯に深夜開始時刻と深夜終了時刻を設定しようとした。
P-04	1) 深夜開始時刻と休憩 1~5 開始時刻を同じ設定にしようとした。 2) 深夜終了時刻と休憩 1~5 終了時刻を同じ設定にしようとした。
P-05	1) 始業時刻と休憩 1~5 開始時刻を同じ設定にしようとした。 2) 終業時刻と休憩 1~5 終了時刻を同じ設定にしようとした。
P-06	1) 始業時刻と深夜開始時刻を同じ設定にしようとした。 2) 終業時刻と深夜終了時刻を同じ設定にしようとした。
P-07	1) 印字段切換時刻をまたいだ休憩帯の設定にしようとした。
P-08	1) 印字段切換時刻と深夜開始時刻を同じ設定にしようとした。
P-09	1) 印字段切換時刻と終業時刻を同じ設定にしようとした。
P-15	1) 日付切換時刻をまたいで固定休憩を設定しようとした。
P-16	1) A 帯開始時刻と B 帯開始時刻を同じ設定にしようとした。
P-17	1) 休憩 1~休憩 5 の休憩帯を重複して設定しようとした。

※ 1) かつ 2) がエラー発生条件になります。

パラメータが原因で出るエラーP-**については、69~71 ページをご参照ください。

印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換).....



警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



注意



プラグを持って抜く

電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意



高温注意

高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因となることがあります。

タイムカード(MX・MRX カード)の印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

お願い

上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、机などの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取り除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

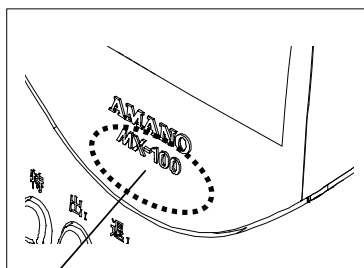
メモ

リボンカセットの品名は「CE-320050」とご用命ください。

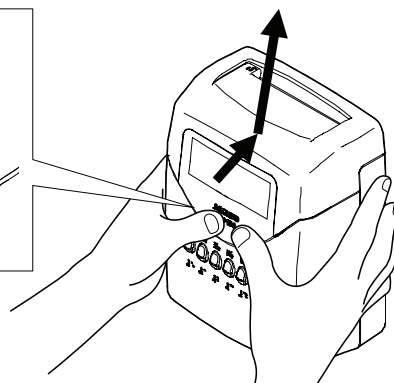
1

電源が入った状態で本体上部の上ケースを開けます

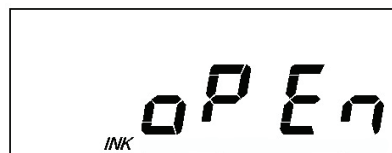
- ・ 図のようにケース中央部を親指で少し強めに押し上げます。



ここを親指で押します。



- ・ 上ケースを外すと、図の表示 (Open) が点滅します。



2 インク残量表示データのクリアを行ないます（電源が入ったままで行ないます）

- ・ 上ケースが開いている状態で、特別日ボタンと徹夜ボタンを同時に2秒以上押します。



「ピッ」と音がしてインジケータが下の図のようになります。



3 電源プラグを電源コンセントから抜きます

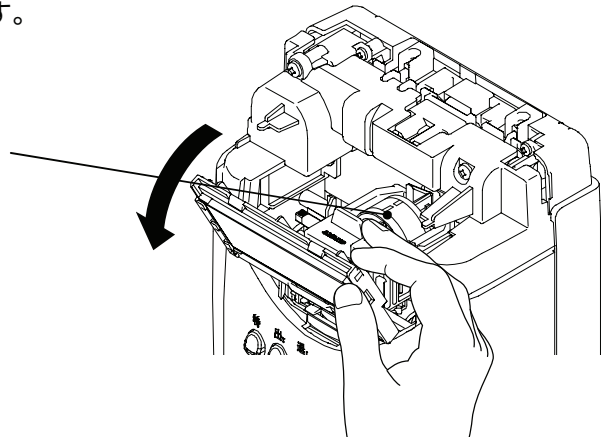
4 表示器を倒します

- ・ 図のように表示器を手前に倒します。



印字動作により
高温になる部分

高温注意



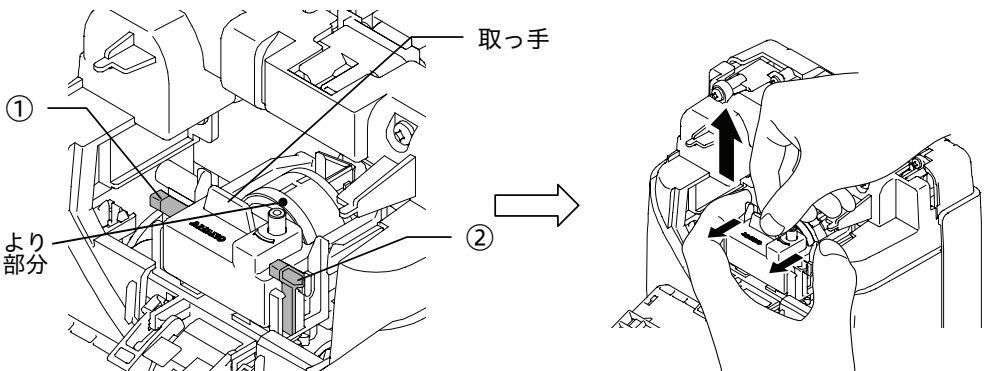
5 古いリボンカセットを取り外します

- ・ リボン押さえ（下図①②）を手前に引いたまま、リボンカセットの取っ手を持って矢印の方向に取り外します。



印字動作により
高温になる部分

高温注意





注意

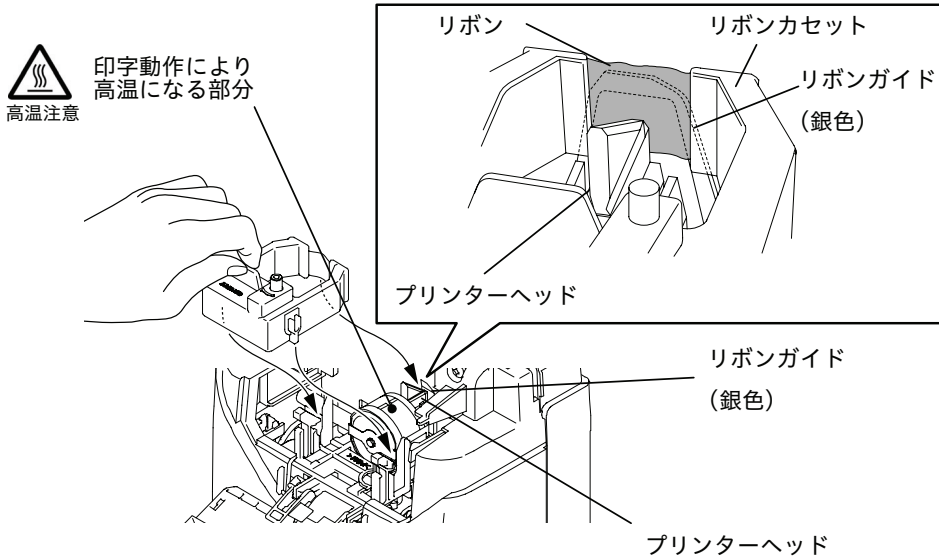


高温注意

高温注意シールのところは触れない。
やけどの原因となることがあります。

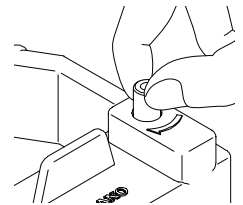
6 新しいリボンカセット (品名: CE-320050) を取り付けます

- ・リボンをリボンガイドとプリンターヘッドの間に入れます。
リボンカセットを「パチッ」と音がするまで押して取り付けます。



7 リボンのたるみを取ります

- ・つまみを時計方向に回し、たるみを取ります。



8 表示器をもとに戻し、上ケースを閉めます

9 電源プラグを電源コンセントに差し込みます

- ・現在時刻を表示します。

設置のしかた

設置場所のご注意



注意 故障の原因となりますので次のような場所に設置しないでください。



直射日光、熱源のそばには設置しない。

禁止



雨水のかかる場所には設置しない。

水ぬれ禁止



強い振動、衝撃を機器に与えない。

禁止



腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。

禁止



調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴミブリなどがいる場所に置かない。

禁止

設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。



注意



ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。

禁止



本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

固定用具使用

落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

■壁掛けのしかた■

木ネジ2本を用意してから壁に取りつけてください。また、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を用意してください。

重要

- ・取り付けが不十分だと、落下して本機の破損やケガの原因となりますのでご注意ください。
- ・コンクリートなど特殊な壁に取り付ける場合は、専用のネジを用意してください。
- ・機械内部に取り付けネジ等が落下することにより火災・故障の原因となることがあります。



注意



固定用具使用

- ・壁掛けは本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。
落下して、ケガの原因となることがあります。



注意



固定用具使用

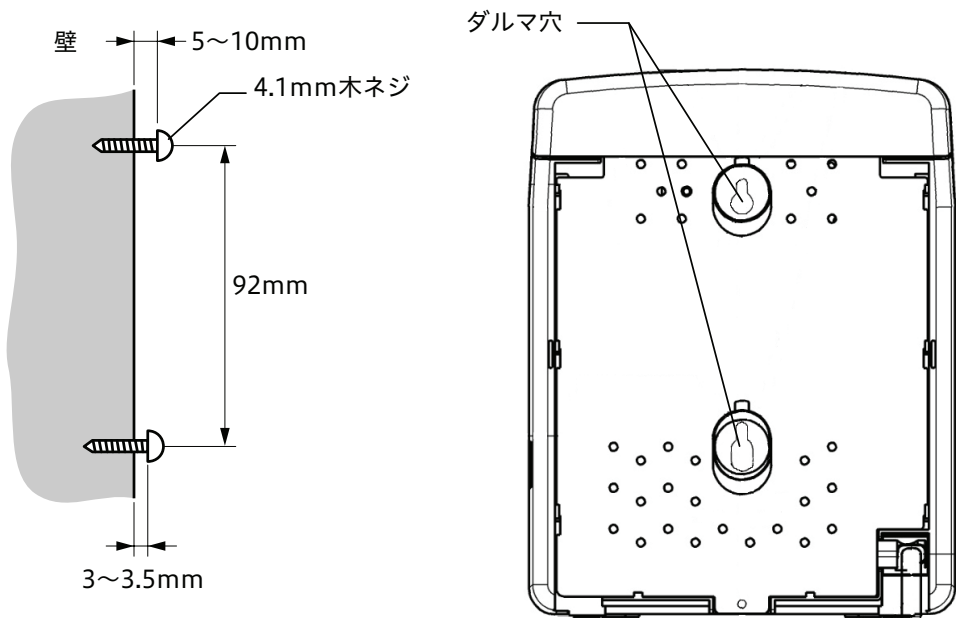
壁掛けは本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

落下して、けがの原因となることがあります。

呼び径 4.1mm の木ネジ(丸頭)3 本とドライバー、キリ等が必要です。

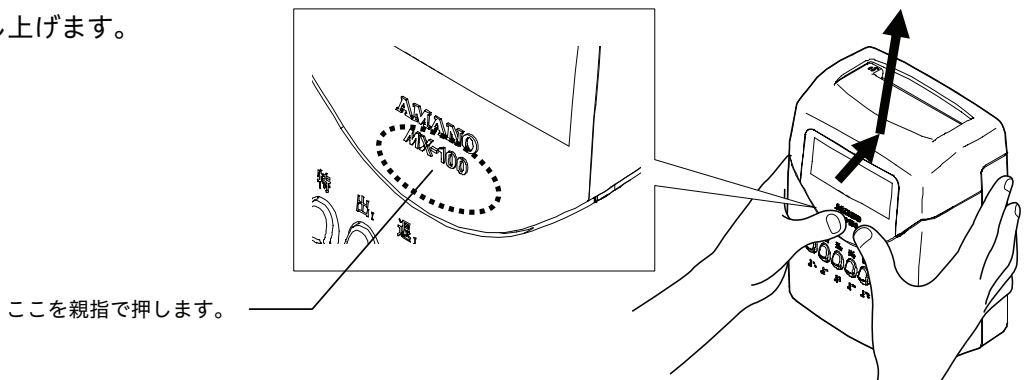
1 あらかじめ木ネジを壁に取り付けます

- 本体のダルマ穴に引っ掛けるため、あらかじめ木ネジを壁に取り付けます。
- 94~124 cm 程度のところに木ネジを取り付けると使いやすい高さになります。



2 本体上部の上ケースを開けます

- 図のようにケース中央部を親指で少し強めに押し上げます。



3 本体を固定します

- ・あらかじめ壁に付けた木ネジに本体のダルマ穴を引っ掛けます。(図1参照)

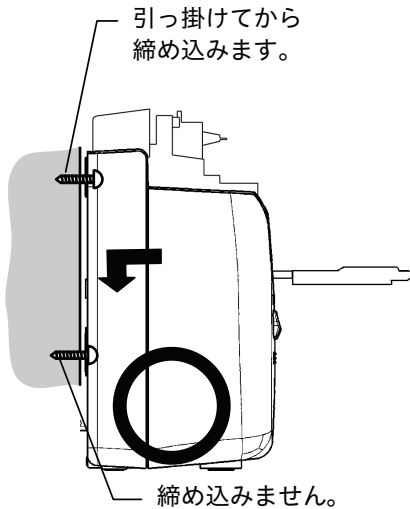


図2

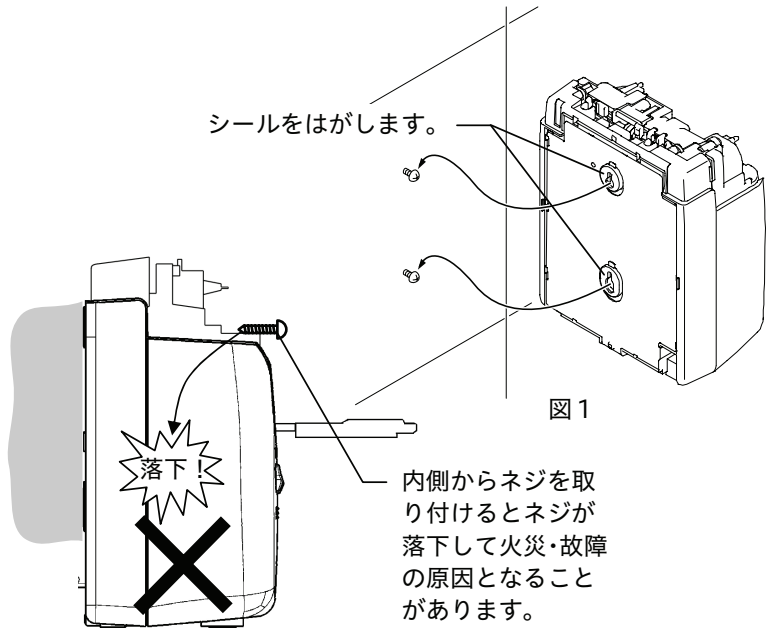


図3

- ・引っ掛けた上の木ネジを内側から確認してプラスドライバーで締め込み固定します。(図4参照) (下の木ネジを締め込む必要はありません)

壁に取付けた木ネジに本体を引っ掛けて、内側から木ネジを確認して締め込みします。

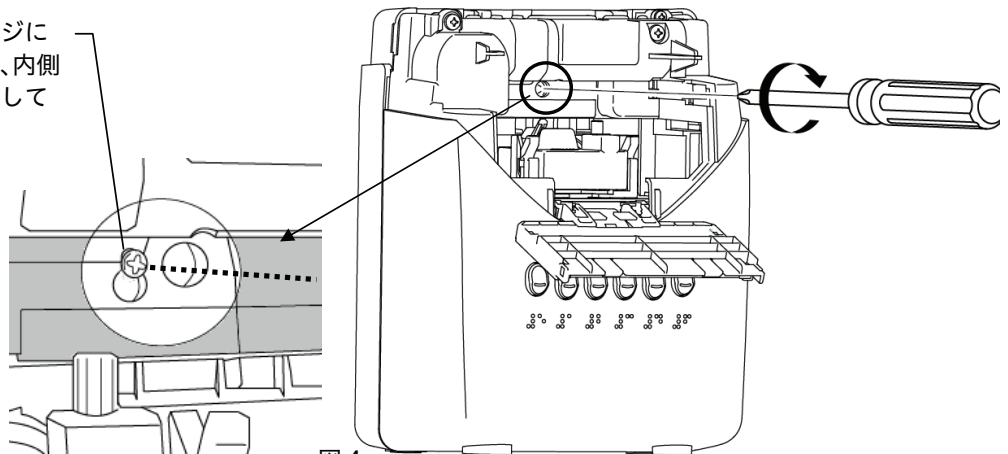


図4



禁止

タイムレコーダーの内側から木ネジを壁に取付けないでください。(図3参照)
壁に取付けたネジにタイムレコーダーを引っ掛けてからネジを締めて固定します。
機械内部にネジが落下することにより火災・故障の原因となることがあります。

4 最後に上ケースを閉めます

電源について

警告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。また、タコ足配線をしない。
火災、感電の原因となります。



改造禁止

- ・ 本機を改造しない。
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。
また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本機の上ケース以外は外さない。
内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

注意



プラグを抜く

- ・ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

- ・ 本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ 本機を不安定な場所に置かない。
落下して、けがの原因になることがあります。



固定用具使用

- ・ 壁に掛けて使用する場合、本機の本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。
落下して、けがの原因になることがあります。



禁止

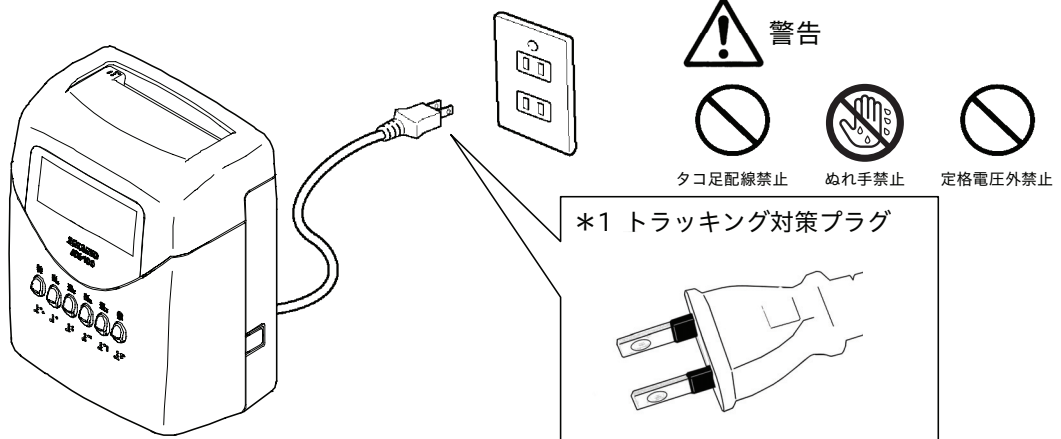
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。
火災、感電の原因となることがあります。

時計は工場出荷時に現在時刻に合わせています。

電源プラグは電源コンセント（AC100V）に差し込んでください。

時計表示が現在時刻になります。

初期値に変更がなければ、すぐに使用できる状態になっています。



※本機電源プラグにはトラッキング対策プラグ*1を使用しています。

※定期的に電源プラグ付近にはほこりがたまらないように掃除することをおすすめします。

■電源について■

安定した電源・電圧でご使用ください。

電源は、終夜電源（24時間通電）にして他の機器と独立させてください。

■メモリー保持機能■

リチウム電池を内蔵していますので、停電になっても内部時計は動いています。停電時や本体の移動などで、電源プラグを電源コンセントから抜いても、リチウム電池により工場出荷時から停電累計時間で3年間は、データ及び諸設定は保護されます。

電源は終夜電源（24時間通電）にしてください。停電時は打刻等の操作は出来ません。

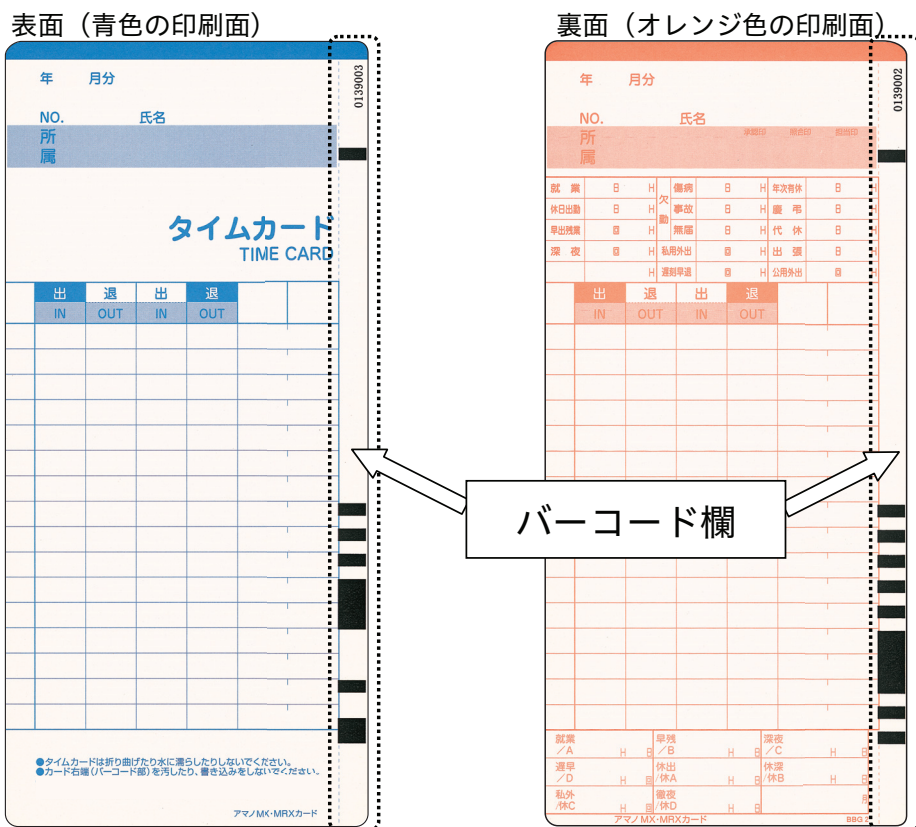
使用するカード

本機で使用するカードには「タイムカード(MX・MRXカード)」と「設定カード」、「前月集計用／締日2登録実績確認カード」があります。

■タイムカード(MX・MRXカード)■

従業員(社員、パート、アルバイト)が使用するカードが「タイムカード(MX・MRXカード)」です。

なお、締日2で打刻をする場合は事前登録が必要です。締日2の登録方法は83ページをご覧ください。



タイムカードは、MX・MRXカードをご購入ください。(JANコード：4946267100540)
※デザイン・仕様は予告無しに変更する場合がございます。

重要

バーコード欄について

この部分を汚すと機械で読みとれなくなり、集計ができなくなる場合があります。

- ・付箋を貼ったり、ペンや修正液等で塗らないでください。
- ・折り曲げたり、切ったりしないでください。

■設定カード、実績確認・集計／登録カード■

時計あわせをするときや、設定内容を変更するときに必要なカードが「設定カード」です。

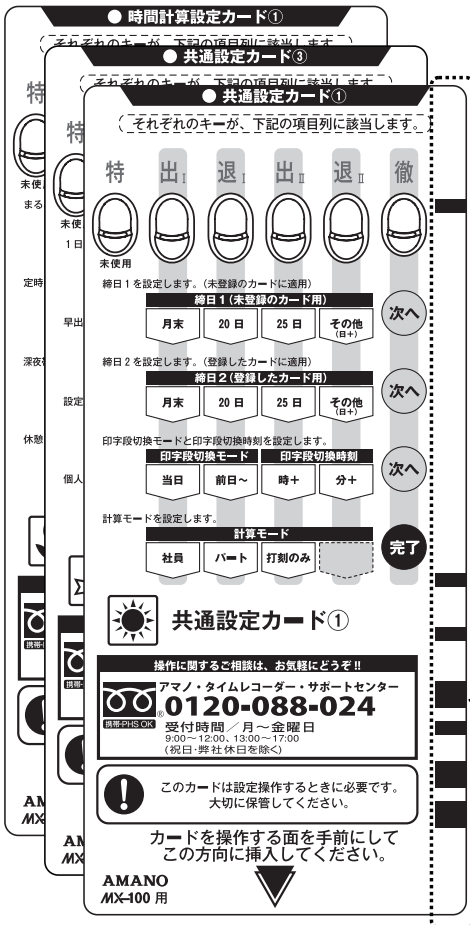
設定カードは4種類あります。各設定カードに印刷してある項目の設定内容を変更する場合に使用します。

設定カードの使いかたは37～68ページをご覧ください。

就業時間を集計したり、縮日2を登録するときに必要なカードが「前月集計用カード、縮日2登録カード/実績確認カード」です。

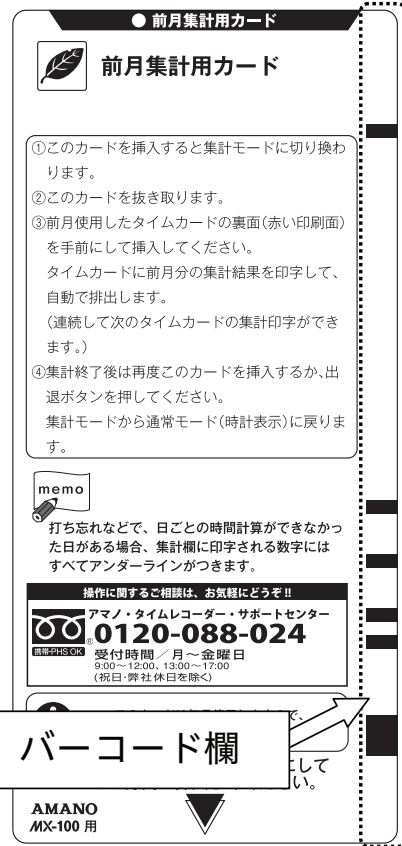
前月集計用カード、縮日2登録カード/実績確認カードの使い方は81～90ページをご覧ください。

設定カード



前月集計用カード

(裏は縮日2登録/実績確認カード)



※カードの詳細は8～11ページを参照してください。

MX-100 設定シート

■ 共通設定 ■

共通設定カード ①

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-11	締日 1 (未登録のカード用)	日	31 (月末)	1~31 (日)
P-12	締日 2 (登録したカード用)	日	20	1~31 (日)
P-13	印字段切換モード		0 (当日)	0 (当日) / 1 (前日から)
	印字段切換時刻		5 : 00	00 : 00~23 : 59
P-14	計算モード		OFF (打刻のみ)	1 (社員) / 2 (パート) / 3 (打刻のみ)

共通設定カード ②

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-21	曜日印字モード		1 (漢字)	1 (漢字) / 2 (英語) / 3 (印字しない)
P-22	徹夜退勤の検知		OFF	ON (検知する) / OFF (検知しない)
	時計表示モード		24 時制	12H (12 時制) / 24H (24 時制)
P-23	出勤人数のカウント		OFF (日付表示)	1 (第 1 打刻) / 2 (出勤+, 退勤-) / OFF (日付表示)
	ブザー音色		Pi (ピッ)	Pi (ピッ) / PiPi (ピピッ) / OFF (音なし)
P-24	パスワード設定		---- (未設定)	0000~9999

共通設定カード ③

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-31	1日の時間数印字		ON (印字する)	ON (印字する) / OFF (印字しない)
	累計時間数印字		ON (印字する)	ON (印字する) / OFF (印字しない)
P-32	早出時間の計算		ON (計算する)	ON (計算する) / OFF (計算しない)
P-33	バックライト消灯開始時刻		-- (常時点灯)	0~23 / -- (常時点灯)
	バックライト消灯終了時刻		-- (常時点灯)	0~23 / -- (常時点灯)

■時計設定■

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-43	サマータイム	開始	年 月 日	-----
P-44		終了	年 月 日	-----

■時間計算設定■

時間計算設定カード ①

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-51	まるめ方式		1 (時刻まるめ)	1 (時刻まるめ) / 2 (時間数まるめ)
	まるめ単位	分	OFF (1分単位)	OFF (1分) / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分
P-52	始業時刻 (定時開始)		9 : 00	0 : 00 ~ 23 : 59
	終業時刻 (定時終了)		17 : 00	0 : 00 ~ 23 : 59
P-54	休憩 1 開始		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
	休憩 1 終了		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --

時間計算設定カード ②

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-61	休憩 2 開始		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
	休憩 2 終了		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
P-62	休憩 3 開始		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
	休憩 3 終了		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
P-63	休憩 4 開始		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
	休憩 4 終了		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
P-64	休憩 5 開始		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --
	休憩 5 終了		-- : -- (未設定)	0 : 00 ~ 23 : 59 / -- : --

マーク印字一覧

例外勤務時等のマーク印字一覧

印字例	マーク	マークの意味
	チ	遅刻（社員の始業時刻以降の出勤打刻に付加）
	ソ	早退（社員の終業時刻以前の退勤打刻に付加）
	ザ	残業（社員の残業開始時刻以降の退勤打刻に付加）
	テ	徹夜（印字段切替時刻を過ぎての退勤時に（徹）ボタンを押して打刻した場合に付加）
	ト	特別日（（特）ボタンを押して打刻した場合に付加）
	ツ	徹夜+特別日（（徹）ボタンと（特）ボタンの両方を押して打刻した場合に付加）
	X	日の時間数未集計（集計できない打刻パターンで、ボタンを押して印字欄を指定した場合に付加。このマークが付加された日は集計されません）計算モードが「打刻のみ」でお使いの場合には印字しません。
	ハ	早出（社員の始業時刻以前の出勤打刻に付加）

設定内容の印字

- ・タイムカード(MX・MRX カード)に印字された設定内容は、項目の番号と設定された値で構成されています。
- ・設定されていない値は、“**”で印字されます。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT	
CPU 部番 6 桁	206200	09	7. 1	8:23	最後に設定変更した時の年月日・時分
印字段切換時刻 (36)					曜日印字モード (38)
締日 1 (32)	31		31		徹夜退勤の検知 (39)
締日 2 (34)	20		OFF	24H	時計表示モード (40)
印字段切換モード (36)	0	5:00	OFF	Pi	ブザー音色 (42)
計算モード (37)	1		****		出勤人数のカウント (41)
累積時間計算 (47)					パスワード (****と印字されます) (43)
1 日の時間集計 (45)	MON	ON	****	**	サマータイム開始日 (58)
早出時間計算 (48)	MON		****	**	サマータイム終了日 (58)
バックライト消灯開始・終了 (49)	****	**:**			
まるめ単位 (分) (60)					休憩 2 開始・終了時刻 (67)
まるめ方式 (60)	1	OFF	****	**:**	
始業・終業時刻 (62)	9:00	17:00	****	**:**	休憩 3 開始・終了時刻 (67)
深夜開始・終了時刻 (64)	22:00	5:00	****	**:**	休憩 4 開始・終了時刻 (67)
休憩 1 開始・終了時刻 (66)	12:00	13:00	****	**:**	休憩 5 開始・終了時刻 (67)

※ () 内の数字は各項目の参照ページです。

用語集

この取扱説明書で使われる専門用語

- 締日：** 締日設定により、タイムカード(MX・MRX カード)最上段(青色の印刷面の一番上)が設定した日の翌日となるように印字されます。
- 印字段切換時刻：** タイムレコーダー上の1日の開始時刻です。設定したこの時刻を境に、印字段が切り換わります。(初期値は午前5:00です。)なお、この時刻をまたいで勤務しても、退勤時に徹夜ボタンを押してタイムカード(MX・MRX カード)を差し込むと、前日と同じ段に印字します。
- サマータイム：** 将来のサマータイム(夏時間)に備え、本機の設定項目に追加されています。開始日と終了日を同じ日付にすると「サマータイムなし」となります。サマータイムを設定した場合、開始日の午前2:00に1時間、時計時刻が進みます。また、終了日の午前2:00に1時間、時計時刻が戻ります。
- 計算モード：** 本機は社員モードでの計算の他に、パートモード、打刻のみモードが選択できます。おのおの実働時間の計算方法が違います。タイムカード(MX・MRX カード)には退勤時に(休憩時間をさし引いた)1日の実働時間数を集計して印字します。
- パートモード：** 時間帯別に時給が違うパート、アルバイトの管理に適したモードです。1日を最大4つの時間帯に区分でき、おのおの時間帯毎に集計ができます。
- 打刻のみモード：** このモードを指定した場合、集計機能は働きません。タイムカード(MX・MRX カード)には打刻時刻のみ印字します。欄は自動で移動します。なお、徹夜(徹)ボタンと特別日(特)ボタンは有効です。“打刻のみモード”を指定した場合は、社員設定/パート設定項目の設定は不要です。
- まるめ単位時間：** 日ごとの就業時間を計算する際の切上げ、切捨て(まるめ)の単位となる時間数です。まるめ単位時間を15分とした場合、15分単位で計算結果がまるめられます。
- 徹夜勤務：** 退勤時に(徹)ボタンを押してタイムカード(MX・MRX カード)を差し込むと、印字段切換時刻を過ぎていても、出勤と同じ日の段に退勤時刻と“テ”マークを印字します。なお、特別日の徹夜は“ツ”マークを印字します。
- 特別日：** 出勤時に(特)ボタンを押してタイムカード(MX・MRX カード)を差し込むと、出勤時刻と“ト”マークを印字して、平日勤務時と別集計されます。

仕様

使用タイムカード	: タイムカード (MX・MRX カード)
表示器	: デジタル液晶表示器
プリンター部	: 9ピンドットインパクトプリンター
時計方式	: 水晶発振方式 週差±3秒以内 (25°C±5°C 通電時)
メモリー保持機能	: 時計および設定データに対し、 工場出荷時より停電累計時間で3年間保持 (リチウム電池内蔵)
集計データ	: (社員、パートどちらか) 最大60人
設置方式	: 台置き (壁掛け可能)
周囲環境条件	: 温度 -10°C~40°C
(屋内設置)	: 湿度 10%RH~90%RH (結露のないこと)
電源	: AC100V±10% (50/60Hz)
外形寸法	: 幅 156mm×奥行 100mm×高さ 200mm
定格電流 (電力)	: 動作時 0.2A (6W) 待機時 0.1A (2W)
質量 (重量)	: 1.4kg